消防年報

令和6年度版



情報収集活動用ハイスペックドローン「Hayate V1」

香 川 県 三観広域行政組合消防本部 令和7年刊行

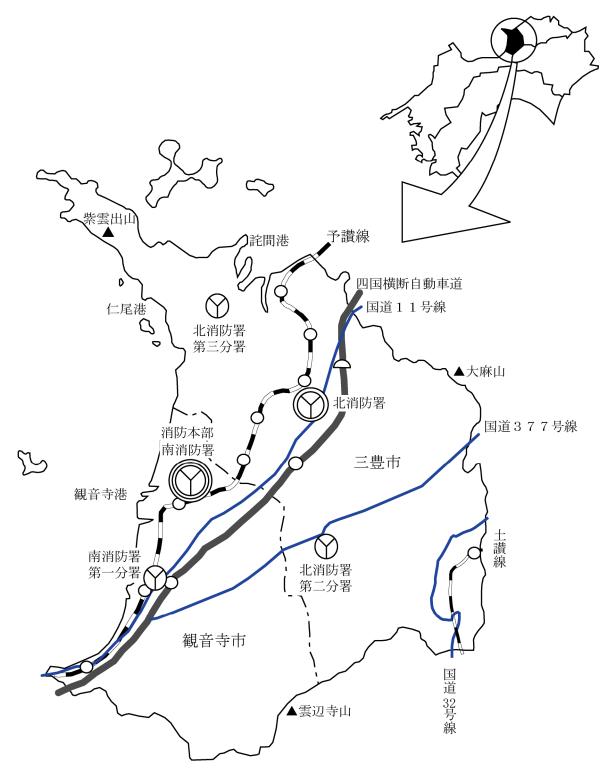
はじめに

この年報は、三観広域行政組合消防行政をひろく一般に紹介するとともに近年ますます複雑多様化する災害に対処するための資料として、本広域消防の現勢及び令和6年中の消防業務の内容、火災、救急統計等を収録編さんしたものであります。

三観広域行政組合消防本部

三観広域の位置及び管内図

三観広域行政組合は香川県の西端に位置し、総面積は約340 k㎡、人口は約116,050人で、 県全域面積の約18%、人口では約12%を占めています。圏域の西は燧灘に、北は備讃瀬戸に面し、東は大麻山(616.3m)系を境に中讃広域圏に接し、南は讃岐山脈を境に徳島県と 愛媛県に接しています。そしてこれらの山系と、北西部で瀬戸内海に突出した荘内半島(紫雲出山352.4m)に連なる七宝山系(最高444.2m)に囲まれるようにして、中央部に三豊 平野が広がっています。また気候は温暖で、山紫水明の恵まれた自然環境に包まれています。



三観広域行政組合消防本部の沿革

```
昭和44年 8月 1日 広域市町村圏設定の認可
昭和44年 8月12日
           三豊地区広域市町村圏振興協議会の設立
昭和46年 3月20日
           一部事務組合規約の許可
昭和46年 3月22日
           三豊地区広域市町村圏振興事務組合の設立
昭和47年 3月14日
           |組合規約変更(消防事務加入)許可(昭和47年4月1日施行)
昭和47年 4月 1日
           |消防本部、南消防署設置 観音寺市消防職員35名派遣〈職員定数92名〉
           消防本部業務全域開始(9名)南消防署観音寺市域業務開始(26名)
            (消防ポンプ車5台 救急車1台 指令車1台配置)
昭和47年 4月15日
           |政令指定告示(昭和48年4月1日効力発生)
昭和47年 9月 1日
            三豐広域消防連絡協議会設置
昭和47年12月 1日
           |北消防署設置 業務開始(16名)(消防ポンプ車1台 救急車1台配置)
昭和47年12月 1日
           |消防本部と1市9町消防団との協定
昭和48年 4月 1日
           南署第一分署、第二分署及び北署第三分署仁尾分駐所設置(消防本部2名増員、南
            署1名增員、南署第一分署15名、第二分署15名、北署2名增員、第三分署20
            名の配置)〈職員定数108名〉
            (南署第一分署、第二分署、北署第三分署にそれぞれ消防ポンプ車1台、救急車1
            台を配置)
昭和48年 4月 1日
           |三豊広域全域消防業務開始 本部消防救急指令装置設置
昭和49年 4月 1日
            〈職員定数117名〉
           本部指令車1台及び広報車1台配置 本部指令車1台北署へ配置替
昭和50年 3月31日
昭和50年 4月 1日
            〈職員定数122名〉
昭和51年 3月28日
           | 県共済農協連より救急自動車1台寄贈(共済号)
           南署配置
昭和51年 3月31日
           本部消防救急無線指令装置附加設置
昭和51年 4月 1日
            〈職員定数127名〉
昭和51年 9月14日
           |水槽付消防ポンプ車1台日本損保協会より寄贈
            北署へ配置
昭和51年10月21日
           |はしご付消防ポンプ車(24m級)1台南署へ配置
            消防ポンプ車1台北署へ配置
昭和52年 4月 1日
           本部に課制をしき総務課に庶務係、経理係、警防課に予防係、保安係、警防係、通
           信係となる。
昭和52年 4月 1日
            〈職員定数134名〉
           消防音楽隊(同好会)発足
昭和52年 4月 1日
           | 救助工作車1台、化学車1台南署へ配置 化学車1台北署第三分署配置
昭和52年12月21日
昭和53年 3月16日
           県共済農協連より救急車1台寄贈 北署へ配置
昭和53年 4月 1日
            〈職員定数140名 発足時基本計画数充足〉
           消防ポンプ車1台南署へ配置
昭和54年 1月19日
            搬送車1台北署第三分署へ配置
昭和54年 1月24日
           日本損保協会より救急車1台寄贈、南署へ配置
昭和54年 7月31日
           |査察広報車1台(更新) 北署へ配置
           |搬送車南署第一分署、第二分署へ各1台配置
昭和54年10月25日
昭和55年 9月18日
           軽四バン(査察・広報用)本部へ配置
昭和55年 9月22日
           搬送車、南・北署へ各1台配置
           屈折はしご付消防ポンプ車(15m級)北署へ配置
昭和55年12月15日
昭和56年 2月28日
           県共済農協連より救急車1台寄贈、南署第二分署へ配置
昭和56年 3月19日 | 仁尾太陽博覧会々場救急業務用として救急車1台、北署第三分署仁尾分駐所へ配置
```

```
昭和57年 1月27日 軽四バン(査察用)南・北署へ各1台配置
昭和57年10月 4日
           軽四バン(査察用)本部へ配置
昭和57年10月28日
           |軽四バン(査察・広報用)南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和57年10月30日 指令車本部へ配置
昭和58年11月21日
            (財) 日本防火協会より広報車1台寄贈(婦人防火クラブ連合会)
昭和59年 3月 6日
           | 救急車1台(更新) 南署へ配置
昭和59年 3月 9日
           消防庁長官竿頭綬受賞
           |消防ポンプ車(高圧ポンプ積載) (更新) 北署へ配置
昭和59年 3月23日
           指令車(更新)南署へ配置
昭和59年 3月28日
昭和59年 7月20日
           |テレホンサービス業務(25-5000)を10回線で開始
昭和59年12月21日 | 消防ポンプ車(更新)南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和60年 3月30日
           3県境を接点とする3組合2市7町1村間において広域消防相互応援協定締結
昭和60年10月25日
           林野火災工作車南署第二分署へ配置
昭和61年 9月29日
           |軽四査察車1台(更新) 本部へ配置
           香川県消防相互応援協定締結(5市38町6組合)
昭和61年12月 1日
昭和62年 4月 1日
            〈職員定数148名〉
           南署に特別救助隊、北署に救助隊を設置
昭和62年 4月 1日
昭和62年 9月14日
           (財) 日本消防協会より救急車1台寄贈
昭和62年12月 1日
           香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結(善通寺市)
昭和62年12月 1日
           |広域消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結(宇摩広域組合)
昭和62年12月16日
           高速自動車道救急業務開始
           高松、松山自動車道(善通寺~土居)における火災及び救急業務に関する覚書締結
昭和62年12月16日
            (字摩広域組合、善通寺市、日本道路公団高松建設局)
昭和63年 3月 9日
           消防庁長官表彰旗受賞
昭和63年 4月 1日
           消防本部に予防課増設3課となる
           指令車(更新)北署へ配置
平成 元 年 2月
        1 日
平成元年 4月27日
           三豊広域防災センター開設
平成 元 年 8月18日
           (財) 日本消防協会より指令広報車1台寄贈、本部へ配置
平成元年 9月 3日
           北署第三分署新築移転落成式
平成元年 9月21日
           □日本損保協会より消防ポンプ車(BD−1)1台寄贈北署へ配置
平成 2年 9月28日
           離島対策用防災車両(三輪動力運搬車)伊吹島へ配置
           軽四査察車(更新)南署へ配置
平成 2年10月 5日
平成 2年10月 6日
           離島対策用防災車両(軽四輪可搬ポンプ積載車)粟島へ配置
平成 2年10月31日
           軽四査察広報車(更新)北署第三分署へ配置
平成 3年 2月 5日
           |安田生命保険相互会社より救急車1台寄贈、北署第三分署へ配置
平成 3年 3月27日
           救急車(更新)北署へ配置
           軽四査察車1台(更新)本部へ配置
平成 3年 8月19日
平成 3年 8月20日
           (財)日本消防協会より救急車1台寄贈 南署第二分署へ配置
           軽四査察車(更新)南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成 3年 8月30日
平成 4年 1月 3日
           |高速自動車道(高知自動車道)に関する覚書締結(宇摩広域組合)
           高知自動車道(川之江JCT〜大豊)における火災及び救急業務等に関する覚書締
           結(宇摩広域組合、日本道路公団高松建設局)
平成 4年 1月22日
           軽四搬送車4WD1台(更新)北署第三分署へ配置
平成 4年 3月31日
           本部 消防緊急通信指令施設Ⅱ型配置
平成 4年 6月 1日
            〈職員定数175名〉
           クレーン付搬送車 南署へ配置
平成 4年 7月28日
平成 4年 8月24日
           軽四査察車1台(更新) 北署へ配置
平成 4年 8月30日 軽四搬送車4WD (更新) 南署第一分署・第二分署へ各1台配置
           |日本自動車工業会より救急自動車1台寄贈 南署第一分署へ配置
平成 5年 2月 6日
```

```
平成 5年 3月 9日
           集団災害時の医師出動に係る協定締結
平成 5年12月 9日
           |消防ポンプ車(更新)南署へ配置
平成 6年 1月20日
           「香川県防災へリコプター派遣職員に関する協定締結1月20日より1名派遣
平成 6年 2月 1日
           |香川県防災行政無線に関する協定締結
平成 6年 3月 7日
           |香川県防災へリコプター応援協定締結
平成 6年 4月 1日
           警防課に救急救助係増設
平成 6年10月31日
           南消防署第一分署改築工事
平成 6年11月21日 | 救助工作車(更新) 南署へ配置
平成 6年12月20日
           消防ポンプ車(更新)南署へ配置
平成 7年 9月 9日
           救急医療情報システム運用開始(県設置)
平成 7年11月10日
           |水槽付消防ポンプ自動車(更新)南署へ配置
            消防ポンプ自動車(更新)北署へ配置
平成 7年12月26日
           指令車(更新)消防本部へ配置
平成 8年 1月31日
           北消防署改修工事
           南消防署第二分署改築工事
平成 8年 3月 1日
           テレホンサービス業務10回線増設し20回線で運用
平成 8年 3月25日
           日本損害保険協会より高規格救急車1台寄贈
           高度救急資機材整備積載南署へ配置
平成 8年10月23日
           |はしご付消防自動車(40m)(更新)南署へ配置
           南署一部改修工事
平成 8年12月27日
平成 9年 4月 1日 三豊広域消防計画制定
平成 9年10月30日
           高度救助資機材整備南署へ配置
平成 9年12月12日 消防ポンプ自動車(更新)北署第三分署へ配置
平成 9年12月24日
           高規格救急車(更新)北署へ配置
平成10年 3月25日 軽四査察車(更新) 北署第三分署へ配置
平成10年11月 1日
           |携帯電話等による119番の受信開始
平成10年12月 8日
           消防ポンプ自動車(更新)南署第一分署・第二分署へ配置
平成11年 3月10日
           |軽四査察車(更新)南署へ配置
平成11年 8月 2日
           |化学車(更新)北署第三分署へ配置
           軽四査察車(更新)南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成11年 8月 5日
平成12年 2月 1日 指令車(更新)南署へ配置
平成12年 6月 1日
           |香川県防災情報システム端末装置の設置及び管理運営に関する協定締結
           |軽四査察車(更新)消防本部・北署へ各1台配置
平成12年10月12日
平成12年10月27日
           広報車(更新)消防本部へ配置
平成13年 1月23日 指令車(更新) 北署へ配置
平成13年 3月29日
           香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道等に関する覚書締結
            高松自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書締結
平成13年 6月12日
           |高圧送水装置(ウィック375)を南署第二分署(林野工作車)へ配置
           高規格救急車 (更新) 北署第三分署へ配置
平成13年12月
         6 目
平成14年 3月
           総務省消防庁よりテロ対策資機材(Bセット)の貸与あり南署へ配置
         1 目
平成14年 4月
           |香川県消防学校派遣職員に関する協定締結1名派遣
         1 日
平成14年 4月
           三豊地区消防連合会事務委託協定締結 受託業務開始
         1日
平成14年11月
           E-mail運用開始
         1 日
           高規格救急車(更新)南署第一分署へ配置
平成14年12月25日
平成15年 4月 1日 | HP (ホームページ) 開設
平成15年 4月 1日
           香川県メディカルコントロール協議会救急活動事後検証開始
平成15年 8月20日
           指令車(更新)消防本部へ配置
平成15年11月 1日
           |各課・署へE-mail運用開設
平成15年12月 1日
           鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結(四国旅客鉄道株式会社)
```

```
平成15年12月24日 | 高規格救急車(更新) 南署第二分署へ配置(高規格救急車更新整備完了)
平成16年 1月 1日
           火災報告等オンライン処理システム運用
平成16年 3月30日
           |火災調査協力員に関する協定書締結(独立行政法人消防研究所)
平成16年 4月 1日
           緊急消防援助隊 救助小隊 登録
平成16年10月 1日
           指令施設連携地図等検索装置賃貸契約
平成16年12月14日
           梯子車(15m級)更新 北消防署へ配置
平成17年 4月 1日
           消防本部に情報指令課増設4課となる
平成17年 4月 1日
           緊急消防援助隊 救急小隊 登録
平成17年10月11日
           組合構成市町合併 観音寺市(観音寺市・大野原町・豊浜町)
平成17年11月 1日
           携帯電話119番通報直接受信・転送等回線受付装置を指令台に併設設置
平成17年11月24日
           |救助工作車(Ⅱ型) 南消防署・北消防署へ配置
            I P電話119番受信開始
平成17年12月 9日
平成17年12月17日
           高規格救急車(更新)南消防署へ配置
平成18年 1月 1日
           |組合構成町7町合併 三豊市
            (高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町)
            組合構成市町合併により、南消防署第二分署が北消防署第二分署へ名称変更。
平成18年 4月 1日
           |構成市町の合併により消防本部名称変更
            (三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防本部から三観広域行政組合消防本部へ)
平成18年 4月 1日
           緊急消防援助隊 消火小隊・毒劇物等対応小隊 登録
平成18年 8月28日
           |軽四搬送車4WD(更新)南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成18年10月 1日 予防技術資格者認定開始
平成18年11月20日 | エアーテント (SAT-453) 消防本部へ配置
平成19年 1月23日 |消防〇Aシステム (NEFOAP) 運用開始
平成19年 1月23日 小型動力ポンプ付水槽車〔10t〕(更新)南消防署第一分署へ配置
平成19年 2月20日 軽四査察車(更新)消防本部へ配置
           軽四査察車(更新)北消防署第三分署へ配置
平成19年 3月19日
平成20年 1月16日
           消防ポンプ自動車(更新)南消防署へ配置
平成20年 1月31日 水槽付消防ポンプ自動車(更新) 北消防署へ配置
平成20年11月28日
           人員搬送用マイクロバス消防本部へ配置
平成20年12月 8日
           |はしご付消防自動車(40m)オーバーホール実施
平成21年 2月16日
           高規格救急車(更新)北消防署へ配置
平成21年11月 9日
           査察車(更新)消防本部へ配置
平成21年12月 1日
           |消防緊急通信指令施設部分改修整備(指令伝送・順次指令・音声合成装置整備)
平成22年 1月22日
           電動アシストホースカーを北消防署第三分署へ配置
平成22年 2月24日 消防ポンプ自動車(更新) 南消防署へ配置
平成22年 4月22日
           位置情報通知システム〔統合型〕運用開始
平成23年 1月27日
           消防ポンプ自動車(更新)北消防署へ配置
平成23年10月31日 | 南消防署第一分署耐震大規模改修工事
           北消防署第二分署耐震大規模改修工事
平成23年10月31日
平成24年 2月 1日
           消防OAシステム更新整備
平成24年 3月14日
           |高規格救急車(更新)北消防署第三分署へ配置
平成24年 3月24日
           全国瞬時警防システム(J-ALERT)運用開始
平成25年 3月 1日
           救助工作車(更新)北消防署へ配置
平成26年 1月31日
           水槽付消防ポンプ自動車(更新)南消防署へ配置
平成26年 2月18日 |軽四査察車(更新)南消防署第一分署へ配置
平成26年 2月18日
           |軽四査察車(更新)北消防署第三分署へ配置
平成26年 9月29日
           |はしご付消防自動車(15m級) オーバーホール実施
平成26年12月26日 | 消防本部・南消防署新庁舎建設工事(Ⅰ期) 竣工
平成27年 2月 9日 消防本部・南消防署新庁舎(事務所棟)業務開始
```

```
平成27年 2月 9日 消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター運用開始
平成27年 2月24日
           高規格救急車(更新)南消防署第一分署へ配置
平成27年 4月 1日
           緊急消防援助隊 救急小隊 1 隊増隊登録
平成27年 9月10日
           |軽四査察車(更新)消防本部・北消防署へ各1台配置
           広報車(更新)北消防署へ配置
平成27年10月 9日
平成27年11月19日
           |資機材搬送車(更新)|南消防署へ配置
           指揮車(更新)南消防署へ配置
平成28年 1月 5日
平成28年 2月23日 消防ポンプ自動車(更新) 北消防署第三分署へ配置
平成28年 3月18日
           消防本部・南消防署新庁舎建設工事(Ⅱ期)竣工
平成28年 3月26日
           消防本部・南消防署(車庫棟・訓練塔)業務開始
平成28年 3月30日 北消防署新庁舎建設工事竣工
平成28年 4月 1日
           緊急消防援助隊 指揮隊1隊・消火小隊1隊増隊登録
平成28年 4月27日
           北消防署新庁舎業務開始
平成28年10月20日
           北消防署第三分署庁舎一部改修
平成28年10月27日 はしご付消防自動車(30m級・更新) 南消防署へ配置
           高規格救急車(更新)南消防署へ配置
平成28年11月24日
           高規格救急車(更新)北消防署へ配置
平成29年 1月17日
平成29年 4月 1日 緊急消防援助隊(その他の特殊装備小隊【梯子車】) に登録
平成29年 6月27日
           査察車(更新)消防本部へ配置
平成29年10月23日
           |高規格救急車(更新)北消防署第二分署へ配置
平成29年12月26日 指揮車(更新) 北消防署へ配置
平成30年 1月15日
           資機材搬送車(更新)南消防署へ配置
平成30年 2月20日
           |消防ポンプ自動車(更新)北消防署第二分署へ配置
平成30年 3月 5日
            三観広域防災センター一部改修
平成30年 4月 1日
           緊急消防援助隊 後方支援小隊1隊登録
           |消防ポンプ自動車(更新)南消防署第一分署へ配置
平成30年11月15日
平成30年11月29日
           査察車(更新)南消防署へ配置
平成30年12月 6日
           高規格救急自動車(更新)北消防署第三分署へ配置
平成31年 3月19日
           |大規模災害時における消防用水等の確保に関する協定書締結
            (香川県内9消防(局)本部、香川県生コンクリート協同組合連合会)
平成31年 4月 1日
           〈職員定数190名〉
令和 元 年 6月 4日 │はしご付き消防自動車(15m級)オーバーホール実施
令和元年 7月 1日
           119番通報等多言語電話通訳 運用開始
令和 元 年 9月13日
           |査察車(更新)消防本部へ配置
令和 元 年 9月30日 三観広域防災センター一部改修
令和 3 年 1月20日 南消防署第一分署非常用発電設備設置
令和 3 年 1月20日 北消防署第二分署非常用発電設備設置
令和 3 年 1月20日 | 高規格救急自動車(更新) 南消防署へ配置
           北消防署第三分署非常用発電設備設置
令和 3 年 2月25日
令和 3 年 2月25日 北消防署第三分署重機及び重機搬送車車庫新築工事竣工
令和 3 年 2月26日 |軽四搬送車(更新)北消防署第三分署へ配置
令和 3 年 3月 5日
           |重機(5 t) 及び重機搬送車(国有財産等の無償使用として)消防本部へ配置
令和 3 年 3月12日
           | 救助工作車(更新) 南消防署へ配置
令和 3 年 3月18日
           |化学消防ポンプ自動車(更新)北消防署へ配置
令和 3 年 7月 1日 Net 1 1 9 運用開始
           |救急搬送用アイソレーター消防本部へ配置
令和 3 年 9月17日
令和 3 年11月22日
           |無人航空機(三観ドローン)運用開始
令和 3 年12月28日 高機能消防指令センター部分更新完了
令和 4 年 2月 7日 災害対応特殊救急自動車(更新) 北消防署へ配置
```

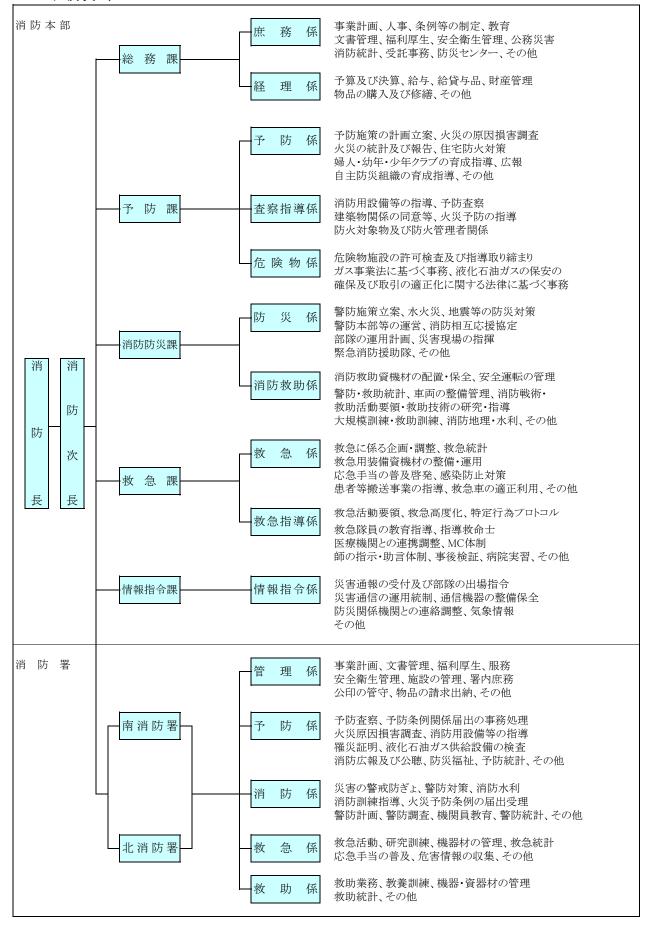
5	年	2月	6日	消防ポンプ自動車(更新)北消防署へ配置
5	年	2月2	1日	災害対応特殊救急自動車(更新)南消防署第一分署へ配置
5	年	3月1	3日	ハイスペックドローン及び映像伝送装置 (国有財産等の無償使用として) 消防本部へ
				配置
5	年1	2月	8日	消防ポンプ自動車(更新)南消防署へ配置
6	年	1月	4日	はしご付き消防自動車 (30m級) オーバーホール実施
6	年	3月2	8日	查察広報車(更新)北消防署第三分署へ配置
6	年	4月	1日	消防本部に救急課を増設し5課となる
6	年	4月	1日	救急課に救急係と救急指導係を設置し、消防防災課救急救助係を消防救助係に改称
				する
6	年1	2月1	8日	高規格救急自動車(更新)北消防署へ配置
7	年	2月1	8日	13mブーム付多目的消防ポンプ自動車(更新)北消防署へ配置
7	年	3月2	4日	北消防署新車庫新築工事竣工
	5 5 6 6 6 6 7	5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 7 F F F F F F F F F F F F F	5 年 2月2 5 年 3月1 5 年1 2月 6 年 1月 6 年 4月 6 年 4月 6 年 4月 7 年 2月1	5 年 2月21日 5 年 3月13日 5 年12月 8日 6 年 1月 4日 6 年 3月28日 6 年 4月 1日



令和6年度女性消防職員募集リーフレットより

消防本部名		三観広域行政約	組合消防本部	
消防本部所在地	〒 768−0067	季川県観音寺市坂本町-	一丁目1番7号	
		— 総務課(課長) —	課長補佐	- 庶務係 - 経理係
		—予防課(課長) —	課長補佐 ——	-予防係 -査察指導係 -危険物係
		— 消防防災課(課長)	課長補佐[-防災係 -消防救助係
		— 救急課(課長) <i>—</i>	課長補佐	- 救急係 - 救急指導係
		—情報指令課(課長)	課長補佐	-情報指令係
消防本部 署所・組織図	消防長 — 消防次長 —	— 南消防署(署長)	副署長 署長補佐	世界 一
			第一分署 (分署長)	- 予防係 - 消防係 - 救急係
		━-北消防署(署長)	一 副署長 —— 署長補佐	──管理係 ──予防係 ── ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
			第二分署 (分署長)	
			第三分署 (分署長)	
消防職員定員数	1 9	0人	消防職員実員数	181名
	0875-24-0119 0875-23-3970 0875-23-3972 0875-23-3973	(代 表) (総 務 課) (予 防 課) (消防防災課)	FAX番号 0875-23-3975 (
電話番号	0875-23-3976 0875-24-0119 0875-24-2119 0875-52-2119	(救 急 課)(情報指令課)(南消防署)(南署第一分署)	(総務課・予防課・消防 0875-24-2109 (i 0875-56-3371 (i 0875-56-2780 (:	南 消 防 署) 可署第一分署) 北 消 防 署)
	0875-72-2119 0875-63-2119 0875-83-2119	(北消防署)(北署第二分署)(北署第三分署)		比署第二分署) 比署第三分署)

■事務分掌



■ 三観広域行政組合消防機関の名称、位置等

名 称	位置	敷地面積(m²)	構 造	延面積(m²)	建築年月
三観広域行政組合消防本部		市有地使用	鉄骨造 (制振構造) 一部免震床構造	3F消防本部 2F情報指令課 1F南消防署	
三観広域行政組合南消防署	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	3,159.48	3階建 (一部中2階)	3,021.77	H28年 3月
救助訓練施設 (訓練塔)			鉄筋コンクリート 5階建	155.67	
三観広域行政組合南消防署第一分署	観音寺市大野原町 大野原4929番地1	1,200.71	鉄筋 コンクリート 平屋建	397.86	S48年 3月 (増築) S62年 3月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署	- th labelerna	市有地使用	鉄骨造 (制振構造) 2階建	1752.91	H28年 3月
救助訓練施設 (訓練塔A·B·C)	三豊市高瀬町 下勝間2344番地1	3,812.97	鉄筋コンクリート 5階建	409.78	
北消防署新車庫			鉄骨造 2階建	338.07	(新築) R7年 3月
三観広域行政組合北消防署第二分署	三豊市山本町 財田西1051番地1	1,103.80	鉄筋 コンクリート 平屋建	319.00	S48年 3月 (増築) S60年10月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署 第三分署	三豊市詫間町 詫間7042番地27	3,765.07	鉄筋コンクリー ト平屋建	628.48	H元年 8月 (一部改修) H28年10月 R2年 8月
重機及び重機搬送車車庫			鉄骨造平屋建	96.00	(新築) R3年 2月
三観広域防災センター	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	市有地使用 534.60	鉄筋 コンクリート 2階建	806.53	H元年 3月

■三観広域管内面積・人口状況

令和7年4月1日 現在

市町別	面積(㎞)	人口				
		男	女	計	世帯数	
観音寺市	117.83	26,985	28,972	55,957	25,799	
三豊市	222.69	29,011	31,082	60,093	26,422	
計	340.52	55,996	60,054	116,050	52,221	

■消防力の現状

令和7年4月1日 現在

車数 急 車 たり 一台あたり ㎡) 面積(k㎡) 人) 人口(人)
ni)面積(kni)
42.57
14,506
39.28
1 18,652
55.67
5 15,023
7

■消防力の整備指針と現勢

令和7年4月1日 現在

	×	分	消防力の整備指針	現有消防力					
		消防署所数	5	5					
		消防ポンプ自動車	9	11					
	消防車等	防車	はしご自動車	2	1				
施			防車	防車	化学消防車	1	1		
⇒ n .					救急自動車	7	8		
設							救助工作車	2	2
						指揮車	2	3	
		合 計	28	31					

消防職員の現況

■消防職員の現員及び配置状況 令和7年4月1日 現在 消防 消防 消防 消防 消防 合 消防監 消防士 課署別 司令補 司令長 副士長 20 計 181 7 45 56 16 36 防 消 1 1 防 次 消 長 1 1 計 2 5 6 小 15 1 長 1 1 長 補 佐 2 2 務 務 係 3 2 1 課 経 理 係 1 1 出向・入校中 8 2 6 計 6 3 小 1 1 1 課 長 1 1 予 長 補 佐 課 1 1 防 予 係 課長補佐兼務 防 1 1 課 査 察 指 導 係 消防本部 1 1 危 係 2 2 小 計 3 2 消 防防 課 長 消防次長兼務 佐 課 補 1 災 課長補佐兼務 防 係 課 消防救助係 2 2 2 計 4 1 1 課 長 1 1 救 補 急 課 長 佐 1 1 課 救 係 2 2 救 急指導係 課長補佐兼務 情 小 計 13 4 2 5 1 報 課 長 1 1 指 長 補 課 佐 4 4 情報指令係 課 8 2 5 1 5 12 22 計 60 6 14 小 1 15 計 42 4 8 5 9 1 署 長 1 1 副 署 長 2 2 署 佐 2 2 係 管 2 南消防 署 係 防 2 消 防 係 15 2 5 2 6 救 急 係 8 2 5 1 助 係 2 3 救 10 2 3 7 計 18 4 1 5 1 長 分 署 1 1 予 防 係 1 1 分署 消 防 係 10 2 5 3 救 急 係 6 2 2 78 19 28 16 小 計 6 8 計 13 42 1 4 10 4 10 長 署 1 1 副 署 長 2 2 署 長 補 佐 2 2 本署 管 理 係 3 3 防 係 2 予 1 1 消 防 係 16 2 4 3 7 救 急 係 8 2 5 北消防 1 係 救 助 8 2 3 3 2 計 8 18 4 3 分 署 長 1 1 係 防 1 1 消 防 係 12 2 6 3 1 署 救 急 係 2 4 1 1 計 18 1 5 7 2 3 分 署 長 1 1 予 防 係 一分署 消 防 係 12 2 5 2 3 係 救 急 4 2 2

■消防職員の年齢

令和7年4月1日 現在

階級	消防監	消防	消防	消防	消防	消防	消防士	計
年齢	111152 III.	司令長	司 令	司令補	士長	副士長	11100 -	μι
合 計	1	7	20	45	56	16	36	181
18才~20才							7	7
21才~25才							23	23
26才~30才					8	15	6	29
31才~35才					27	1		28
36才~40才				14	21			35
41才~45才				21				21
46才~50才			14	4				18
51才~55才	1	6	4	1				12
56才~60才		1	2					3
再任用(61才~)				5				5
平 均 年 齢	55.0	53.4	50.3	44.5	34.1	28.5	22.8	36.6

■消防職員勤続年数(消防歴)

令和7年4月1日 現在

階級	消防監	消防	消防	消防	消防	消防	消防士	計
年齢	111671	司令長	司令	司令補	士長	副士長	1月197 工	HI.
合 計	1	7	20	45	56	16	36	181
1 年 未 満							6	6
1 年 ~ 5 年							29	29
6年~10年					8	11	1	20
11年~15年				1	32	5		38
16年~20年				19	16			35
21年~25年			4	15				19
26年~30年		1	6	5				12
31年~35年	1	5	8					14
36年~40年		1	2	3				6
41年以上				2				2
平均勤続年数	33.0	33.1	29.7	22.8	13.8	9.2	2.7	16.0

1 職員特殊技能資格一覧

令和7年4月1日現在

1 職員特殊技能	能資格一覧							月1日 明	見在
	氏名		消	消	消	消	消	消	消
		計	防	防司	防	防司	防	防	防
	ĒΙ		令	司	令	±	副士		
資格別			監	長	令	補	長	長	±
1.到点私士	特殊	3	0	1	1	0	1	0	0
大型自動車	第1種	145	1	6	17	40	54	17	10
中型自	 動車	3	0	0	0	0	0	0	3
準中型自		39	0	0	0	0	5	7	27
普通自動車(98	1	7	20	44	26	0	0
1/21/3/1 (大型	14	0	2	1	3	2	4	2
自動二輪	普通	56	1	1	9	23	16	3	3
		0	0		0			0	0
小型移動式				0		0	0	_	_
		90	1	4	12	29	40	4	0
玉掛け		89	1	3	12	28	40	5	0
巻上に 伐木等(チェ		62	1	0	1	17	39	12	10
		88	0	3	6	23	34	12	10
フルハー		102	0	3	11	26	40	12	10
潜水		63	1	5	7	28	17	5	0
潜水技術		7	1	2	1	3	0	0	0
小型船舶:	操縦士	48	0	1	7	19	19	2	0
	防火査察	84	1	2	9	20	38	9	5
予防技術資格者	消防用設備等	40	1	2	6	14	11	6	0
	危険物	27	0	1	3	9	11	3	0
危険物取扱者	甲	1	0	0	1	0	0	0	0
心灰彻取奴有	Z	96	0	1	3	32	36	6	18
NV 0-4	甲	4	0	0	1	2	1	0	0
消防設備士	Z	7	0	0	0	5	2	0	0
応急手当:	指導員	160	1	6	20	43	55	15	20
救急救	命士	57	0	3	10	23	16	2	3
	気管挿管	40	0	3	8	21	6	2	0
認定救命士	薬剤投与	53	0	3	10	21	15	2	2
10,000	心肺停止前静脈路確保	50	0	2	9	20	15	2	2
	血糖測定・プドウ糖投与	8	0	2	3	3	0	0	0
電気工		11	0	1	1	5	2	1	1
アセチレンカ		13	0	2	2	6	1	2	0
酸素欠乏危険作業主任者 特定化学物質等作業主任者		120	1	3	14	38	52	10	2
		3	0	1	0	1	0	1	0
陸上特殊無線技士 アマチュア無線技士		43	1	2	9	14	4	0	13
		6	1	0	0	3	2	0	0
衛生管理者		9	0	0	2	6	0	1	0
防災士		2	0	1	0	1	0	0	0
防災へリコプター地上支援隊員		64	1	3	11	30	19	0	0
県照明車	操作員	69	0	4	16	30	19	0	0
地震体験車	操作員	149	0	6	19	43	54	15	12
車両系建	設機械	34	0	2	2	6	20	4	0
ドローン	操作員	50	0	2	7	9	17	9	6
l-									

消防決算等状況

■過去5年間組合会計決算と消防関係費の割合

(単位千円)

年度別 区 別	一般会計決算額	消防関係費決算額	割合	
令和2年度	2,461,571	2,142,791	87.05%	
令和3年度	2,451,770	2,111,962	86.14%	
令和4年度	2,216,040	1,923,599	86.80%	
令和5年度	2,250,125	1,979,775	87.99%	
令和6年度	2,521,864	2,213,454	87.77%	

■令和6年度 消防関係費性質別決算見込内訳

(単位千円)

区分	決 算 額	割合
人 件 費	1,371,584	61.97%
物件費	162,170	6.76%
維持補修費	0	0.00%
扶 助 費	24,940	1.13%
補 助 費 等	15,495	0.70%
普通建設事業費	272,764	12.32%
公 債 費	366,501	16.56%
合 計	2,213,454	100.00%

■令和6年度の構成市の消防費基準財政需要額と組合消防に対する負担金 (単位千円)

市別		区別	基準財政需要額	消防関係市負担金
観	音 寺	市	894,652	837,833
三	豊	市	1,194,136	1,111,915
	合 計		2,088,788	1,949,748

■三観広域防災センター

【概要】

平成元年4月に開設された三観広域防災センターは、住民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災研修会議室は、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの地域住民の方々に防災意識を高めて頂くよう、利用の促進に努めていきたいと考えております。

開館時間

午前9時~午後5時まで

休館日

日曜日及び土曜日

国民の祝日

年末年始(12月29日~1月3日)

※臨時に開館又は閉館することがあります。

場所

〒768-0067 観音寺市坂本町一丁目1番7号

雷 話

TEL(0875)24-0119(内線410)

入館無料です

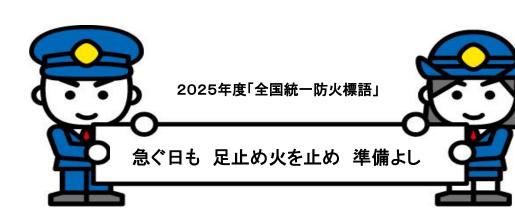
※団体でのご来館あるいは研修ご希望の方は、最寄りの消防 署・分署を通じて、あらかじめ人数、研修内容等をご連絡下さい。



■令和6年度 防災センター等利用状況

		保育園	小中学校	自主防災	消防関係	行政団体	他都市	一般団体	個人	2階研修	合計
		幼稚園	高等学校	組織	団体	门政団件	視察	州又凹下	個八	会議室	
4月	件数					2		1	4	5	12
4/1	人員					68		16	13	92	189
5月	件数					1			2	4	7
0/1	人員					11			8	57	76
6月	件数	1	1						2	14	18
0),	人員	15	26						9	285	335
7月	件数		1					2	6	4	13
	人員		6					33	24	101	164
8月	件数							2	11	10	23
07,	人員							26	25	192	243
9月	件数		8					3	5	7	23
07,	人員		93					29	10	99	231
10月	件数	1	4						4	3	12
1071	人員	28	56						10	31	125
11月	件数		12						3	10	25
	人員		222						8	254	484
12月	件数		3					1	4	7	15
	人員		65					11	10	195	281
1月	件数	1	1						3	5	10
	人員	23	25						5	117	170
2月	件数	1	5					1	3	8	18
	人員	25	92					6	10	167	300
3月	件数								3	3	6
- / •	人員								6	65	71
合計	件数	4		0		3	0	10	50	80	182
нн	人員	91	585	0	0	79	0	121	138	1,655	2,669

予 防



	■ MJ.	火对象物				1						Ī		2月31日現在
		署所別	南消	防署	管内			北消	的署	管内			合	防選す
`			本署	第一	分署	7.	k	野	第二	分署	第三	分署		火任る
	\	∖ 市	観	音寺	市			三	豊	市				管を火火
		別	観	大	豊	高	三	豊	Ш	財	詫	仁		理必要
太	 	勿別	音	野							"-	,		者要象のと物
			寺	原	浜	瀬	野	中	本	田	間	尾	計	V) C 1/2
1	イ	劇 場 館	4			1							5	4
	口	公会堂集会場キャバレー	27	10	6	12	6	9	7	2	10	2	91	77
	1	ナイトクラブ 遊 技 場												_
2	口	ダンスホール 性風俗関連	4		1	1	1	1					8	6
	ハ	店舗等 カラオケボックス	0											
	二 ,	個室ビデオ等 合	2								-		2	2
3	1	料理店	F 4	C		0	9	7	2	4	1	2	101	71
	<u> </u>	飲 食 店	54 116	6 12	5 17	9 31	2 8	7 13	3 8	4	8 12	3	101 222	71 120
		店 舗 旅 館	116 26	12	5	31	8	2	8	1	7	3	48	120
5	イロロ	ホ テ ル 寄 宿 舎	86	11	27	35	14	12	8	2	26	4	225	46
	イ	共同住宅 病院	26	6	1	15	3	9	4		8	2	74	37
	口口	<u>診療所</u> 特養ホーム	16	4	6	8	6	6	2	1	5	5	59	54
6	ハ	グループホーム ディサービス	40	6	3	12	9	7	9	1	8	1	96	60
	=	保育所 幼稚園	6		Ü	6	3	1	1	1	3	1	22	15
,	7	小 学 校 中 学 校 等	37	6	5	31	9	22	8	3	28	7	156	49
8	8	図書館	3	1	2		1	1	1	1	6		16	13
	イ	蒸気浴場熱気浴場												
9	口	イに掲げる以外の 公衆浴場								1		1	2	
1	.0	車両の停車場発 着場		2									2	2
1	.1	神 社 寺 院	27	3	7	3	7	1	3	8	1	3	63	15
12	イ	工 場 作 業 場	249	101	69	92	54	103	55	26	140	47	936	87
12	口	スタジオ												
13	イ	自動車車庫格納庫	22	5	4	4	3	5	2				45	
	口	航空機の格納庫												
	4	倉 庫 前各号に該当し	207	68	45	46	53	53	31	26	91	35	655	15
1	.5	制合号に該当し ない事業所 複 合 用 途	160	31	22	54	22	17	23	20	37	24	410	84
16	1	(特定)	114	13	8	16	4	8	7	5	23	9	207	89
1.0	<u>D</u>	(非特定)	34	5	3	4	1	5	8	3	9	3	75	26
	$\frac{\mathcal{O}2}{\mathcal{O}3}$	地下街												
	7	重要文化財	1					2				2	5	
	. 8	延長50m以上の	1										3	
	.9	アーケード 市町村長の												
	20	指定する山林 総務省令で												
		定める舟車	1,261	291	236	383	206	284	180	106	423	156	3,526	892
													, – -	1

署所別	FAT	- 	<u> </u>	NUL	1		南洋	的署	管内							1											北	消防	方署管	內														14 114 0)+12			1.1.2.
市			本	署							第一	分署									本		署								二分	置				第三	分署						^		⇒ 1			
別	ı						観	音き	市																	Ξ	:		豊		市												合		計			
階			観音	寺			大	野原				Ę	豊浜						高潮	ĺ			三	野		豊	中		Д	本		財田	1		詫間	ij		仁	尾									
対象物別	3	4	5 6	7 8	9	10	3 4	5	6 3	4	5	6 7	8	9 1	0 11	12	3	4	5 6	7	8	9 3	4	5 6	3	4	5	6	3 4	5	6 3	4	5 6	3	4 5	6	7 3	4	5	6	3	4	5	6 7	8	9 1	.0 11	. 12
イ劇 = #	易 3																																								3				Ħ		1	
1 公会堂	6			1					4	2												1			1																10			1	ı			П
イ キャバレー ナイトクラブ	•																																															
2 遊技場グンスホール	H9 /																																															
ハ 店舗等																																																
ニ カラオケボック: 個室ビデオ等	学																																												Ш			
3 イ 特 合料理店	ì H																																												Ш	_		
口飲食店										1												1			1							1		2							9	1			Ш	4		
4 百貨店舗		1			\perp		1	\sqcup	1	1	Ш	_ _	\perp	_	$\downarrow \downarrow$	_				Ш		\perp	Щ			1			\perp		_			1	_				Щ	_	15	2			$\downarrow \downarrow$	4	\bot	$\downarrow \downarrow$
5 イ 旅 館 ホ テ ル	4		4	1	1	4			4							4		_											-					1			-				5	1	4	1	. 1	4	_	
日 寄 宿 舎 共同住宅	65 E		.3 3	+		1	1	2	17	7 2	3					1		-	3			6	1		3	+		-	4		1			H	4 4	\vdash	1	2	2	_	127	38	_	3 5	+-+	4	1	1
イ 病 院 療 所			3 2		1	_		2	-	1		_	1		\perp	_		1				+			2			-	_		-				1	1	-			_	13	5		3	2	+	+	\vdash
6 ロ 特美ホーム グループホーム ディサービス	3	3	1	\vdash	\perp					1 2		_	\perp	_		_	1					1			1	. 1			1						2 1		-			1	8	8	2	1	₩	_	+	\vdash
保育所			1		+	_	-	+	-	-			+			_		-	-	-	_	+			+	-			+		-		-	\vdash			-	-		_		_		-	₩	+	+	+
	į 1Ε	4			+	-	0			1 1			+			-	9	3	1			4			8	3 1			1		2			5	C		3	,			50	15		1	\vdash	_	+	\vdash
7 小学校等 8 図書 節 第 物節	15 15	4			+	+	1	+	+	1 1		-	+	-	+	-	9	3	1			4			_ c) 1		+	1		1			Э	0		13				3	10		1	\forall	+	+	+
博物館				H	+	-	1	+	+			-	+			-			-		-	+	H	+	+			+	+	H	1					H	+				3	_	1		\forall	+	+	+
9 熱気浴場 イに掲げる以外の公衆浴場	易				+	+		+	+				+			-									+			+			-			\vdash			+					_			\forall	+	+	\forall
10 車両の停車場		1				-	+	1	\blacksquare			-		-								+							+		-						+					2		+	++	+	+	\vdash
10 発着場 11 神 社 寺 院	1			Ħ	+	1	\dagger	H	t				+			1				H	1	t		1		H	H		+	H	1	H				H	t				2			t	Ħ	+	+	Ħ
イエッ場	23	10	1			1	5			2 1												2			3	3			2					10	1		2	2 1			41	10	1		Ħ	\top	\top	Ħ
12 作 莱 堀口 スタジオ																																				Ħ									Ħ	T	\top	
イ 自動車車庫格 納 庫	1									1																															2				Ħ	\top		
13																T																													П		T	
14 倉 庫	11	3					2 1	1		1							3												1												18	4						
15 前各号に該当 しない事業所		11	2 1	. 2		1	4 1	1	;	3 1							6	4	1 1			2			1	. 2			5					3	6 1		3	3			51	25	4	2 2	2		1	
16 イ 複合用 道 (特 定)	^金 38	12	5 3			1	1					1					2	3					1	1		1	2	_	2					5							48	17	8	4			1	
口 複合用 遊 (非 特定)	金 9	3	1 1					1										2				1				1			2					5			1				18	6	2	1				
16の2 地下街											Ш				$oxed{oxed}$								igsqcup																						Ш	\perp		
16の3 準地下街											Ш			_																															\sqcup	\perp	\perp	Ш
17 重要文化財					\perp			Ш			Ш		\perp							Ш			Ш			Ш										Ш									\sqcup	_	\perp	Ш
18 アーケード					\perp				┸		Ш		\perp		$\perp \downarrow$	_							Щ					_		Ш		Ш		Ш					Щ						\sqcup	\perp	\perp	Ш
併用住宅	55	18	5		Ш	\perp	6		4	1	Ш	_	Ш	_	\perp	_	28					1	Щ		11	+		_	4		6			11	1		8	3	Щ	—⊩	134	19	5	\perp	\sqcup	4	\bot	Ш
専用住宅	66	5			Ш		3			3 1		_	Ш	_		4		1		Ш		1	Ш		3	-		_	2		1			1			2	2	Щ	—⊩	101	7			\sqcup	4	\bot	Ш
合 計	349	98 3	5 11	. 8 :	2	3 2	26 3	3 5	38	8	3	1	1			1	93 1	7	4 2			20	2	1	34	10	2	2	4		12	1		51 2	0 7	1	1 19	3	2	1	666	162	59	16	3	丄	3	1

■防火対象物定期点検該当数及び報告状況

令和6年12月31日現在

本書 日 日 日 日 日 日 日 日 日			<u> </u>	/ \ /	对象物定 。 区			么 項	25.7.		「 体」 項	יעי ב		 項		5項		6	 項		QI百	16項	16項
表	毀.	#	· -	<u></u>		台計			1			1			4項		1			_			
本書	有	111	, <i>,</i> ,		西				1		/ \	1	1	Д				Ц		1	1		V)Z
南海湾防害管 方 点検報告数 16 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1		本		観辛												3	1		1				
 報告表別 要対象物数 力 要対象物数 力 要対象物数 力 支持所限定 点検報告数 力 支持所限定 方 支持所限定 方 支持所限定 方 支持所限定 力 支持所限定 力 支持限定 方 支持限定 方 支持限定 力 力<td></td><td>署</td><td></td><td>寺</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td>		署		寺				1															
大きの	南		紐							1						2							
大きの	防		断音	大野				2											1				
大きの	署答		寺市	原				_							_								
 表検報告数 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	内	分置	113															-	1			1	
下		者		豊						1					2								
本書 -				浜						1					1			1					
本著 - 表								1		1													
本著 - 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表				高													1						
本署 - 三野 () () () () () () () () () (瀬																		1	
本署								1						1	5							0	
上 上 上 上 上 上 上 上 上 上		本						1															
 北消防署管内 豊中 一方時例認定 8 1 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		著		野				1						1								1	
世															5					1		1	
上				豊																			
世 世 世 大 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	ء الــــ		=	十	点検報告数			1															
古	北消																1			1			
The part of the first and	防翼		豊	山木	うち特例認定										1							1	
The part of the first and	者管			4	点検報告数										1		1					1	
計画	内	分署	市		要対象物数																		
三分署 点検報告数 1 2 1 3 三分署 要対象物数 7 1 2 1 3 点検報告数 3 2 1 3 点検報告数 3 2 1 1 方均例認定 1 1 1 1 点検報告数 83 3 10 4 1 36 3 7 1 2 1 15 計 方均衡認定 51 3 5 3 1 21 5 1 1 11					うち特例認定																		
三分署 記書 1 2 1 3 点検報告数 3 2 1 3 正程 要対象物数 1 1 1 点検報告数 1 1 1 点検報告数 1 1 1 合計 要対象物数 83 3 10 4 1 36 3 7 1 2 1 15 方5特例認定 51 3 5 3 1 21 5 1 11 1				ш	点検報告数																		
三分署 記載 うち特例認定 7 1 2 1 3 点検報告数 3 2 1 1 要対象物数 1 1 1 1 点検報告数 1 1 1 1 合計 要対象物数 83 3 10 4 1 36 3 7 1 2 1 15 合計 うち特例認定 51 3 5 3 1 21 5 1 1 11					要対象物数	7		1							2		1					3	
三分署 点検報告数 3 2 1 要対象物数 1 1 点検報告数 3 1 1 点検報告数 4 1 36 3 7 1 2 1 高検報告数 5 1 1 36 3 7 1 2 1 15 計 5 1 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 計 5 1 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 計 5 1 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1 計 5 1 3 3 3 3 3 3 3 1 <td></td> <td></td> <td></td> <td>詫間</td> <td>うち特例認定</td> <td></td>				詫間	うち特例認定																		
「記 うち特例認定 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		三八		11-1	点検報告数																		
「記 うち特例認定 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		万署		,	要対象物数																	1	
点検報告数 要対象物数 83 3 10 4 1 36 3 7 1 2 1 15 合計 うち特例認定 51 3 5 3 1 21 5 1 1 11				仁屋	うち特例認定																		
合計 うち特例認定 51 3 5 3 1 21 5 1 1 11				/	点検報告数																		
合 計 うち特例認定 51 3 5 3 1 21 5 1 1 11			`		要対象物数	83	3	10		4				1	36	3	7	1	2	1		15	
1.16 (m.e) 397			}		うち特例認定													1					
		ц	1		点検報告数	42	3	3		2					20	2	4		2	1		5	

建築同意

■用途別•市別建築同意事務処理状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

	- - \ 11 \	<u>走別•叩为</u>		肖防署管		= <u>}=1</u> \\	<u> </u>		肖防署領	410年17 李内	1 T. FI	14 11.0	<u> </u>
	$\overline{}$	署所別	本署		分署		本署			分署	第二	分署	合
		市	<u> </u>	見音寺市	j		, 10	三	豊	市	/14 —	-/ y 🗗	
		別	観	大	豊	高	11	豊	Щ	財	詫	仁	
対	象物	7別 ()	音	野									計
			寺	原	浜	瀬	野	中	本	田	間	尾	
_	1	劇 場 映 画 館											
1	П	公 会 堂	2										2
	1	キャバレー											_
	-	ナイトクラブ 遊 技 場											
2	口	ダンスホール 性風俗関連											
	ハ	店 舗 等											
	=	カラオケボックス 個室ビデオ等											
	1	待 合 料 理 店											
3	口	飲食店											
		百 貨 店	1			3		1					5
	>	店 舗 旅 館				3		1				1	-
5	1	ホ テ ル 寄 宿 舎	3									1	4
	口	共 同 住 宅					1						1
	1	病 院 診療所	1			1							2
	口	特養ホーム グループホーム											
6	ハ	テ゛イサーヒ゛ス			1				1		1		3
		保育所 幼稚園			1								<u> </u>
		小学校						0					
7		中 学 校 等 図 書 館						2					2
8		博 物 館											
9	1	蒸気浴場熱気浴場											
9	口	イに掲げる以外の 公衆浴場											
1	0	車両の停車場発 着場											
1		神 社											
		寺 院 工 場	4	4		1	0				1		10
12	イ	作業場	4	4		1	2				1		12
	口	スタジオ											
13	1	自動車車庫 格 納 庫	4			3							7
10	口	航空機の 格納庫											
1	4	倉 庫	2	3	2		1	2			2	1	13
1		前各号に該当し	9		1	2	1	4		2		1	20
	イ	ない事業所 複 合 用 途	2		1	1	1	1			1	2	6
16		(特 定) 複 合 用 途	4			1					1		├
	口	(非特定)											
160	$\mathcal{D}2$	地下街											
160	$\mathcal{D}3$	準 地 下 街											
1	8	アーケード											
	併月	住宅											
		1住宅	14			4	2	7	1		1	1	30
<i>⇒/</i> ⊤							۷		1			1	5
市十		認定申請	1			1	_	2	_		1		
	合	計	43	7	4	16	7	18	2	2	7	6	112

建築同意

■用途別·月別建築同意事務処理状況 今和6年1月1日~令和6年12月31日

	用迓	別・月別角	學问	息事!	勞处型	里次次	1		-	ŕ	介和6 年	-1月1	日~守	和6年	12月31日
		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合
対	象物	別	1	4	ა	4	υ	O	1	0	9	10	11	12	計
1	イ	劇 場 映 画 公 会				1						-			
	口	集会場				1						1			2
	イロ	ナイトクラブ 遊 技 場													
2	ハ	ダンスホール 性風俗関連													
	-	店舗等 カラオケボックス 個室ビデオ等													
	イ	作 合 料 理 店													
3	口	飲食店													
4	4	百 貨 店 店 舗						1	2		2				5
5	イ	旅館ホテル			1		2						1		4
	口	寄宿舎											1		1
	イ	病 院 診 療 所 特養ホーム							1		1				2
6	口	が後がる グループポーム デイサービス		0											
	ハニ	保育所		2					1						3
	<u>ー</u> 7	幼稚園 小 学 校								1		1			2
	8	中学校等図書館								1		1			2
	イ	博物館蒸気浴場熱気浴場													
9		が、気俗場 イに掲げる以外 の公衆浴場													
1	0	車両の停車場発 着場													
1	.1	神													
12	1	工 場 作 業 場		1		1	1	2		1	3	2	1		12
12	口	スタジオ													
13	イ	自動車車庫 格 納 庫 航 空 機 の			1		1		3		1	1			7
	口	格納庫	_					_							
-	4	倉 庫 前各号に該当し	3	-	1	-	1	2	3		1	-1	0	2	13
	.5	ない事業所 複 合 用 途	1	1	3	1	2	3	1	1	2	1	3	3	-
16	イロロ	(特 定) 複 合 用 途	1		2				2	1					6
16	<u>の</u> 2	(非特定) 地下街													
	<u>の3</u>														
-	.8	アーケード													
	併月	目住宅													
	専月	目住宅	2		8	3	4	2	1	3	1	4	1	1	30
許	可•	認定申請						1	1	1	1			1	5
	合	計	6	4	16	6	11	11	15	7	12	10	7	7	112

予防事務処理状況

■消防用設備等着工届出状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

署所別	南消防署管内	北消防署管内	Δ ∌L
消防用設備 市別	観音寺市	三豊市	合 計
屋内消火栓設備	3	1	4
スプリンクラー設備		3	3
水噴霧消火設備			
泡 消 火 設 備			
不活性ガス消火設備		1	1
ハロゲン化物消火設備			
粉末消火設備	1		1
移動式消火設備		2	2
屋外消火栓設備	1	8	9
自動火災報知設備	38	32	70
ガス漏れ火災警報設備			
火 災 通 報 装 置	5	2	7
非常放送設備	2	5	7
避難器具	2		2
連 結 送 水 管			
ドレンチャー設備			
パッケージ型消火設備	2	2	4
その他		3	3
合 計	54	59	113

■消防用設備等設置届出状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

_ ■ 用的用設備等設置油出	仄 沉	令和6年1月1日~	~令和6年12月31日
署所別	南消防署管内	北消防署管内	合 計
消防用設備市別	観音寺市	三豊市	
消火器	24	30	54
屋内消火栓設備	5		5
スプリンクラー設備		5	5
水噴霧消火設備			
泡 消 火 設 備			
不活性ガス消火設備		1	1
ハロゲン化物消火設備		1	1
粉末消火設備			
移 動 式 消 火 設 備	1	2	3
屋外消火栓設備	1	6	7
動力ポンプ設備		1	1
自動火災報知設備	62	51	113
ガス漏れ火災警報設備			
漏電火災警報器			
火 災 通 報 装 置	1	4	5
非常警報設備	2	3	5 5
非常放送設備	2	5	7
避難器具	1	1	2
誘 導 灯	22	18	40
消防用水		1	1
排 煙 設 備			
連結散水設備			
連結送水管			
非常コンセント設備			
無線通信補助設備			
総 合 操 作 盤			
パッケージ型消火設備		3	3
パッケージ型自動消火設備			
合 計	121	132	253

火災予防条例等届出状況

■消防法•火災予防条例等届出状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

	市別	観音	寺市		三豊市		合
	署々別	南消防	署管内	ᆌ	二消防署管	内	
種	別	本 署	第一分署	本 署	第二分署	第三分署	計
	防火管理者選任(解任)	61	24	36	13	28	162
消吐	消 防 計 画	88	33	54	19	40	234
防法関	消防訓練実施報告	258	106	214	68	97	743
	圧縮アセチレンガス等	14	3	5	1	1	24
	消防用設備等点検報告	355	135	231	82	139	942
	防火対象物使用開始届	34	10	20	5	22	91
	炉、かまど、ボイラー、乾燥設備	14	14	4	3	11	46
	発変蓄電池設備	14	15	9	6	14	58
	ネオン管灯設備						
	水素ガス充てん気球届						
火災	火災とまぎらわしい	73	71	222	55	101	522
火災予防	煙火打上仕掛届	3	3	5	7	3	21
条例	催 物 開 催 届						
関係	水道断減水届						
	道路工事等届	321	113	312	101	143	990
	露店等の開設	23	9	16	6	7	61
	少量•指定可燃物貯取届	13	11	5		7	36
	少量・指定可燃物廃止届	6	2	6		1	15
	喫煙・裸火・危険物品	23	2	4	1	2	32
	合 計	1,300	551	1,143	367	616	3,977

■ 防火関係組織の現状

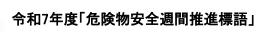
		名				称			所	在	地	結成年月日	備	考
三	観	地	X	防	火	委	員	会	観音寺市坂	本町-	一丁目1番7号	昭和58年 4月12日		

■ 消防クラブ等の設置状況

91 T 16 91 / / / (10 / / / /) 100	^H	11 1 ⊢	H ++4,	/1 T H	ジビル
名称	所 在 地	結成年月日	クラ 男	ラブ員 女	数 合計
大見幼稚園幼年消防クラブ	三豊市三野町大見甲3478-1	昭和62年12月 1日	19	18	37
比地二幼稚園幼年消防クラブ	三豊市高瀬町比地65	昭和63年 6月 1日	18	21	39
仁尾こども園幼年消防クラブ	三豊市仁尾町仁尾丁636-1	昭和64年 1月 5日	61	48	109
詫間保育所幼年消防クラブ	三豊市詫間町詫間2024-2	平成11年 6月 1日	60	46	106
大野原こども園幼年消防クラブ	観音寺市大野原町大野原1675	平成12年 4月 1日			155
詫間幼稚園幼年消防クラブ	三豊市詫間町詫間3500-5	平成13年 2月 1日	15	13	28
山本幼稚園幼年消防クラブ	三豊市山本町大野423番地	令和 2年 5月 1日	44	60	104
観音寺こども園幼年消防クラブ	観音寺市観音寺町甲2558番地2	令和 2年 5月 1日	39	36	75
観音寺中央幼稚園幼年消防クラブ	観音寺市柞田町丙1566番地	令和 2年 5月 1日	54	46	100
豊浜こども園幼年消防クラブ	観音寺市豊浜町和田浜1000番地	令和 2年 5月 1日	15	15	30

少年消防クラブ	(1クラブ) 83	名				令和	17年4	月1日	現在
Ħ	T.L.	=-	<i>+</i> ·	Lufa	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		クラ	ラブ員	数
名	称		仕	地	結成年月日		男	女	合計
一ノ谷小学校	少年消防クラブ	観音寺市古川	川町10	2-1	昭和26年10月	1日	37	46	83

危険物



危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る

■危険物施設の推移

令和7年3月31日現在

■危険物施設の推移													
施	年度別設の区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
製	造 所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	屋内貯蔵所	78	78	76	78	71	78	78	78	77	77	77	75
	屋外タンク貯蔵所	92	90	92	95	95	96	96	93	89	88	86	86
	屋内タンク貯蔵所	12	13	13	11	10	10	9	11	11	11	11	11
貯蔵所	地下タンク貯蔵所	170	169	164	154	149	143	140	141	137	138	135	129
	簡易タンク貯蔵所	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	移動タンク貯蔵所	78	79	84	83	90	90	94	93	91	96	91	81
	屋外貯蔵所	10	9	10	10	10	10	10	11	11	9	8	8
	小 計	448	446	447	439	433	435	435	435	424	427	416	398
	給油取扱所	124	125	122	119	115	114	113	112	110	109	108	105
取扱	販売 取扱所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
所	移送取扱所												
	一般取扱所	135	136	134	129	124	126	122	123	121	120	119	119
	小 計	260	262	257	249	240	241	236	236	232	230	228	225
	合 計		709	705	689	674	677	672	672	657	658	645	624

■危険物製造所等の設置状況

令和7年3月31日現在

		種 別		[1]					貝	宁	蔵	戸	f			取 扱 所							
			ţ	製	小	屋	屋 外		屋内	地 下	簡易	移動	屋	小	給			販	移		事		
\					造		内貯	タン		タン	タン	タン	タン	外貯		油取			売取	送取	般取	業所	
		\		青	╁	所	1 1	蔵	ク 貯	準特	ク 貯	ク 貯	ク 貯	ク 貯	蔵	3 1	扱扱	自 家	セル	扱扱	扱	扱	数
署所	別人	市	, \				計	所	蔵 所	定	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	所	計	所	用		所	所	所	
南	本署	fr:U	観音	寺 16	65		111	18	28		1	33	2	25	4	54	26					28	85
南消防署管内	1 <	観音寺市	大野原	原 (66		42	10	6		3	15		6	2	24	14	6	2			10	38
内	分署	113	豊沙	É S	38		23	6	5			12				15	7	2	1			8	22
			高潮	頁	76	1	52	9	8		2	17		16		23	12	7	3			11	38
	本署	三豊市	三里	ž 2	22		10	1	1		3	5				12	9	6	1			3	20
北			豊「	= 3	30		16	5	1			10				14	4	2	1			10	13
北消防署管内	二分署		山本	Z 4	4 3		26	5	2			10		8	1	17	7	2	2			10	20
内	署		財日	∃ 3	34		22	5	4		1	8	4			12	4	3				8	19
	三分署		詫間	目 12	23		82	14	25	6	1	14	2	25	1	41	17	7	1	1		23	48
	署		仁月		27		14	2	6			5		1		13	5	1				8	19
	合		計	62	24	1	398	75	86	6	11	129	8	81	8	225	105	46	18	1		119	322

■屋外タンク貯蔵所容量別状況

令和7年3月31日現在

	種別			合	1kl	1kl 以上	5kl 以上	10kl 以上	50kl 以上	100kl 以上	200kl 以上	300kl 以上	400kl 以上	500kℓ
署	署所市別			計	未満	5Kl 未満	10K@ 未満	50K@ 未満	100K@ 未満	200Kl 未満	300Kl 未満	400Kl 未満	500K@ 未満	以上
南消	本署	観	観音寺	28		2	1	10	4	5	1	3	2	
南消防署管内	一分署	観音寺市	大野原	6				6						
管内	本署	市	豊 浜	5				5						
			高 瀬	8			1	3		4				
П.			三 野	1		1								
北消		=	中豊	1		1								
北消防署管内	二分署	三豊市	山本	2			1	1						
管内	一刀有	LI1	財田	4				3	1					
	三分署		詫 間	25				11	6			2		6
	二刀石		仁 尾	6			3	3						
	合		計	86		4	6	42	11	9	1	5	2	6

■危険物関係事務処理状況

令和6年4月1日~令和7年3月31日

					貯	蔵	所			取 扱 所				
区分	合	製	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	給	販	移	_	そ
			内	外 タ	内 タ	下タ	易タ	動 タ	外	油	売	送	般	
		造	貯	ンク	ンク	ンク	ンク	ンク	貯	取	取	取	取	0
	計	所	蔵	貯	貯	貯	貯	貯	蔵	扱	扱	扱	扱	他
種別	н	121	所	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	所	所	所	所	所	
設 置 許 可	6		1			1		3					1	
変 更 許 可	20			1		4		3		10			2	
設 置 完 成 検 査	5					1		3					1	
変 更 完 成 検 査	17					4		3		8			2	
タンク水圧検査	2									2				
タンク水張検査	77													77
仮 使 用 承 認	13			1		2				8			2	
仮貯蔵・仮取扱承認	2													2
予 防 規 定 認 可	21									19			2	
用途廃止届出	31		2			4		21		3			1	
許 可 取 消 届 出														
休止・再開届出	4					4								
設置者·名称等変更届出	45		1	10	1	5		4		10			14	
種類・数量変更届出	7		1	1				1		2			2	
譲 渡 引 渡 届 出	3							2		1				
保安監督者選解任届出	55		7	15	2	5	1			12			13	
軽微な工事変更届出	42		2	3		1				21			15	
<u></u> 合 計	350		14	31	3	31	1	40		96			55	79

液化石油ガス設備工事届	8件
液化石油ガス意見書の交付	0件

■危険物関係手数料徴収状況

令和6年4月1日~令和7年3月31日(単位:円)

区分	設 置	変 更	設置完	変更完成	水 圧	水張	仮貯蔵	仮使	合
	許	許	置完成検	成検	検	検	仮 取	用 承	
月別	可	可	查	查	查	查	扱	認	計
4月		26,000		26,000		96,000		5,400	153,400
5月		26,000		13,000	11,000		5,400	5,400	60,800
6月						18,000			18,000
7月		52,000		13,000	11,000	114,000		5,400	195,400
8月	20,000	26,000		26,000				5,400	77,400
9月	39,000	26,000						5,400	70,400
10月	26,000	26,000		19,500		6,000			77,500
11月	26,000	39,000		13,000				5,400	83,400
12月		13,000	13,000	13,000		96,000	5,400	5,400	145,800
1月	26,000	52,000	13,000			90,000		10,800	191,800
2月		32,500		39,000		36,000		5,400	112,900
3月	26,000	62,000	45,500	9,750		6,000		10,800	160,050
計	163,000	380,500	71,500	172,250	22,000	462,000	10,800	64,800	1,346,850

警

防



今治市林野火災において消火活動を行う緊急消防援助隊香川県大隊





消防機器の現況

■署所別車両配置状況

令和7年4月1日現在

	署所別			南消	防署		北消防署	
	有加加	合	本	本	第	本	第	第
					_		1_1	Ξ
					分		分	分
車	別	計	部	署	署	署	署	署
合	計	43	8	10	5	11	4	5
70	C D - I 型	7		2	1	2	1	1
ポン。	水槽付消防ポンプ自動車	2		1				1
プ 車	小型動力ポンプ付水槽車	1			1			
	多目的消防ポンプ自動車	1				1		
化学車		1				1		
梯子車	30m級はしご付消防自動車 (先端屈折型)	1		1				
高 敖	見格救急 車	8	1	2	1	2	1	1
救	助 工 作 車	2		1		1		
人員資	機材搬送車(マイクロ)	1	1					
指	揮車	3	1	1		1		
査 察	車 ・ 広 報 車	9	4	1	1	1	1	1
重 機	及び重機搬送車	1	1					
クレ	ー ン 付 搬 送 車	1		1				
搬	送車	1				1		
軽四	輪 搬 送 車 (4 W D)	3			1		1	1
小型	自動二輪車	1				1		

	■ 単 □ * 小 、				/ 155	7),1							ı			. 1.9 \	_ o	〒和7年4月1日現住
`	\			区分									年			ポンフ	/	
			\		車	「両	番	号		種	別	車 体	7	製作所	型	式	級別	備考
所	属•	呼称	; `	/									20		土	14	/l9X/J1J	
		消	1	号車	香川	88	さ	7719	指	揮	重	ニッサン	21					
	ı	消						2470		察		ニッサン	29					
	ŀ	消						4192	_	察		ニッサン	R元					
2	k																	
	`	消		号車					查	察	車		27					0 = 1 +n =n, /++
		消		号車					広	報		ニッサン	27					35w広報設備
台	ß	消		号車					_	員資機材		ヒノ	20					マイクロバス(25人乗り)
		消	7	号車	香川	800	は	1121	重機	後及び重機	と搬送車	ヒノ	R3					5t重機・クレーン3段ブーム2.9t吊り
	ĺ	救急	4	号車	香川	800	す	201	救	急	車	ニッサン	27					高規格
		小型!	動力を	ポンプ									10	ラビット	P-3	881S	C-1	予備本部保管
		南	11	号車	香川	831	す	11	指	揮	車	トヨタ	28					100w広報設備
	l	南								カポンプ	白動車	ヒノ		モリタ	ME-	-5	A-2	CD- I
	ŀ	南		号車	_					方ポンプ		トヨタ			R3			CD- I・カーナビ
	l															4		水槽1-A型(キャフス付)
	١. ا	南土		号車						サイポンプ		ヒノ	-	モリタ	MZ-	- 1	A-z	
	本	南土								<u> </u>		ヒノ	_	テイセン				照明・ウインチ・クレーン
		南			香川					子付消防		ヒノ		モリタ				30m級先端屈折
	щ	南		号車	香川			17		/一ン付き	搬送車	ミツビシ	29					クレーン3段ブーム2t吊り・パワーケート
南	署	南			香川			18	広	報	車	ニッサン	30					
消		救急	1	号車	香川	830	つ	991	救	急	車	トヨタ	R2					高規格
防署		救急	2	号車	香川	830	そ	991	救	急	重	ニッサン	28					高規格
署	l	小型		ポンプ							·				P-3	880S	C-1	親子式(12号車積載)
				ポンプ									_	トーハツ				親子式(13号車積載)
	H			号車	禾III	920	+	20	沙山下	方ポンプ	白動宙	ヒノ	_		MZ-1			CD- I (キャフス付)
		南																
	第	南土		号車	香	830				動力ポンプ		ヒノ	_	ラビット	Pbbb		B-2	水槽(10t)
		南		号車	香川					1輪搬送		ミツビシ	18					
	分置	南			香川			33		報	車	ミツビシ	26					
	署	救急	3	号車	香川	800	す	3335	救	急	車	トヨタ	R5					高規格
		小型	動力を	ポンプ									30	シバウラ	FT-3	300	C-1	親子式(32号車積載)
		北	51	号車	香川	800	ち	51	指	揮	車	トヨタ	29					100w広報設備
	l	北								方ポンプ		ヒノ			ME-	-5	A-2	CD- I
	l	北		号車						方ポンプ		ヒノ		モリタ	ME-			CD- I
	l	北						1125		<u>カベン フ</u> 学	車	ヒノ		モリタ	MZI	U		化学Ⅱ型
	١, ا								_			-			WLLI		A Z	
	本	北		号車						<u> </u>			_	モリタ) (7)			照明・ウインチ・クレーン
		北								的消防ポン		ヒノ		モリタ	MZI		A-2	13mブーム・CD- I (キャフス付)
	<u> </u>	北		号車				17		送	車	トヨタ	27					
	署	北		号車				58		報	車	ミツビシ	27					50w広報設備
		救急	5	号車	香川	800	す	3744	救	急	車	トヨタ	R6	<u> </u>				高規格
		救急	6	号車	香川	800	す	3099	救	急	車	ニッサン	R4					高規格
北		小型		ポンプ									R5	シバウラ	C-50	5	C-1	親子式(52号車積載)
消		小型												ラビット				親子式(53号車積載)
防	H	北		号車	委Ⅲ	გვი	+-	79	消化	方ポンプ	自動市	ヒノ			MZ-			CD- I (キャフス付)
	第											-	_		1017	1	11 4	
		北		号車						[輪搬送] #11		ミツビシ	18					
	分	北_		号車				43		報		ミツビシ	26				<u> </u>	
	署	救急		号車	香川	830	す	997	救	急	車	ニッサン	29					高規格
	Ш	小型	動力を	ポンプ									29	シバウラ	FT-3	300		親子式(72号車積載)
		北	82	号車	香川	830	そ	82	消队	方ポンプ	自動車	ヒノ	28	モリタ	MZ-	-1	A-2	CD- I (キャフス付)
		北	84	号車	香川	830	す	54	水槽	博付ポン ラ	プ自動車	ヒノ	20	モリタ	ME-	-5B	A-2	水槽Ⅱ型 2,000兆
	第	北		号車				87		四輪搬送		スズキ	R3				<u> </u>	
	三	北						1778		報	車		R6					50w広報設備
	分			号車						 急	車	トヨタ	30					高規格
	署			万里 ポンプ	官川	030	9	996	拟	忌	里	トコク			D C	0000	C -	
													_					親子式(82号車積載)
		小型!	助力を	ポンプ									20	フビット	R-3	82M	C-1	親子式(84号車積載)

令和7年4月1日現在

	∥消的特殊機器材配直状况						和7年4月	THOUT
	配置署別	本				北消防署	Į Ī	合
		平	本	第	本	第二分署	第一	П
							三分署	
		部	1111	分 署	1111	分黑	分黑	計
	具別		署		署	Ť		
予防	可燃性ガス測定器		1	1	1	1	1	5
•	超 音 波 厚 さ 測 定 器	1						1
保	タンク検査工具セット	1	1	1	1	1	1	6
安用	電 池 式 絶 縁 抵 抗 計	1	1	1	1	1	1	6
月具	プロジェクター一式		1		1			2
	か ぎ 付 き は し ご		6	1	5	1		13
	三連はしご		6	1	6	2	3	18
	金属製折りたたみはしご		1		1	_	2	4
	ht — i		3	1	4	1	1	10
				1		1	1	
	救助幕(ソフトランディング)		1		1			2
	救命索発射銃 M-300型				1			1
	救命索発射装置(レスキューマックス)		1					1
	担架		3		2			5
	油 圧 式 救 助 器 具		2		1			3
	大型油圧スプレッダー	1	1		1			3
	可搬ウインチ		5		4	1	1	11
	マット型空気ジャッキ		1		1			2
	油 圧 切 断 機		1		1			2
	エンジンカッター		7	1	6	1	1	16
	ガス溶断機		1	1	1	1	1	2
救	エアーツール		1		1			2
助								
用用	削岩機		1		1			2
資	ハンマードリル		2		1			3
機	放射線測定器	16	17		1			34
材	酸欠、爆発性、毒ガス警報器		6	2	5	2	2	17
	酸素呼吸器		5					5
	耐 電 手 袋		21	7	24	7	7	66
	耐 電 衣		11		6			17
	耐電ズボン		11		4			15
	耐電長靴		13	2	8	2	2	27
	耐電ヘルメット				2			2
	空気のこ		1		1			2
	防 毒 衣 一 式		10		5			15
	放射線保護服		40		10			50
			8	2	8	2	2	22
	救命 胴 衣		30	11	46	14	24	125
	ゴムボート(4人乗り)			1		1	1	3
	ゴムボート(6人乗り)				1			1
	ゴムボート(8人乗り)		1					1
	船外機		1		1			2

	一种外代数部的配置机机 配置署別		南消	店 塁		北消防署	11111111111111111111111111111111111111	
	品 邑 有 奶	本	本	第	本	第	第	合
			71.	<i>→</i>	71.	第二	=	
		ورما		分		分	分	ا د
用	具 別	部	署	分 署	署	分 署	三分署	計
救	緩降機		2		2			4
助	マンホール救助器具		1		1			2
用	地中音響探知器一式		1					1
資	熱 画 像 直 視 装 置 一 式		1		1			2
機 材	夜間用暗視装置一式		1		1			
42]	東消式発泡器		1	1	1		1	4
	ピックアップ式泡ノズル200型		1	1	2		1	4
				1	Δ	1	1	1
	·					1		1
						1		-
	高発泡800型		-			1		1
	多管式ノズル1000型		1					1
荷女	多管式ノズル500型		7	2		2		11
警防	水損防止用ノズル		3	2	2			7
田田	ジェットシューター		21	4	13	15	10	63
用資機	排 煙 機		2		4			6
機	ミニチェンソー		7	3	7	1	2	20
材	発 動 発 電 機		11	3	8	3	7	32
	山林火災用動力噴霧器				1			1
	ラビットスーパーシューター					1		1
	草刈機(背負型・肩掛型)		1	1		1	1	4
	オイルフェンス		5	5			5	15
	耐熱服				3			3
	トランジスターメガホン		12	3	10	7	4	36
	空 気 呼 吸 器		27	6	22	4	10	69
	救急訓練用人形(大人)	1	3		3			7
	救急訓練用人形(小人)		2		2			4
151	救急訓練用人形(乳幼児)		5		2			7
救	救急訓練用人形(リトルアン)		8		8			16
急用	シミュレーション人形		1		1			2
資	気道管理トレーナー	1	1		1		1	3
機	ビデオ喉頭鏡訓練用頭部人形	1			1		1	
材			1	1	1	1	1	
			1	1	1	1	1	5
	オゾン水生成機		1	1	1	1	1	5
	オゾンガス消毒器		1	1	1	1	1	5 2
	距離 測定器		1		1	_		
	エアーコンプレッサー		1	1	1	1	1	5
そ	空気ボンベ充填機		1		1			2
(T)	<u>急速</u> 充電機		2	1	1	1	1	6
他	工具セット		1	1	2	1	1	6
	電 気 溶 接 機		1		1			2
	エアーテントー式	1			1			2

令和7年4月1日現在

	_	署所別		南消	i 防署:	管内			北洋	肖防署管			
`			合	本署	第一	分署	7	本 署	<u>.</u>	第二	分署	第三	分署
	\	\		4	見音寺市	<u>1</u>				三豊市			
Image: section of the	こ 分	市別	計	観音寺	大野原	豊浜	高瀬	豊中	三野	山本	財田	詫間	仁尾
	合	計	4,604	1,772	398	239	431	361	252	254	192	498	207
	/	小 計	3,354	1,547	259	175	261	295	159	123	85	339	111
		75 mm	1,458	578	114	50	147	171	92	46	48	149	63
消		100 mm	883	434	70	62	39	70	43	33	13	90	29
火	配	125 mm	12	7				5					
栓	管	150 mm	611	303	59	34	41	39	17	28	18	60	12
生	別	200 mm	252	140	12	23	16		6	16	6	26	7
		250 mm	89	41	3	6	18	10	1			10	
		300mm以上	49	44	1							4	
	/	小 計	547	96	103	41	43	5	35	59	41	75	49
防水	公司	40m ³ 未満	172	12	44		12	1	15	44	9	31	4
防火水	設	40m³以上	339	50	59	41	31	4	20	15	32	42	45
槽	私	40m³未満	11	11									
	設	40m ³ 以上	25	23								2	
	/	小 計	703	129	36	23	127	61	58	72	66	84	47
		プール	45	13	2	3	6	5	4	3	2	4	3
				57	17	7	110	48	52	24	35	47	21
そ		溜桝		45	2	4	3	6	1	5	2	1	8
0		井 戸		4	2	4					1	10	1
他	流	河 川 溝		8	6	3	8	2		29	19	3	
	動	海水		2								14	1
		下水											
		その他	46		7	2			1	11	7	5	13

■消防隊活動状況(全署)

令和6年1月1日~令和6年12月31日

区分		_	_	件数	汝等	出動件数	出動台数	出動人員
	風		水		害	5	5	14
	特	別		警	戒	21	26	75
風水	偵				察	136	182	609
水害等	遭				難	0	0	0
出動	誤	報	•	虚	報	3	7	27
状況	警				備	10	10	20
	訓	練		指	導	62	94	283
	そ		0)		他	27	38	106
	,		制品	 		264	362	1,134
	地		水		利	329	340	694
警	危	険		区	域	14	14	30
防調	水	防	•	Щ	林	13	14	21
査 状	特	殊	建	築	物	2	2	6
況	予	防		査	察	635	657	1,545
	そ		の		他	43	42	91
	,	合	Ħ	+		1,036	1,069	2,387

■警防計画書策定状況

令和6年12月31日現在

署所	f别	市別	種別	川 /	警防計画書	警防計画書 書
南消	本署	観	観音	寺	17	74
防署:	一分署	音寺	大野	原	3	27
署管内	刀伯	市	豊	浜	10	31
			高	瀬	1	25
	本署		11]	野	2	13
北消		=	輣	中	1	32
防署	二分署	三豊市	丑	本	2	21
署管内	二刀石	111	財	田	0	18
	三分署		詫	間	1	32
	一刀者		仁	尾	1	11
	合	i	+		38	284

※平成29年度改訂の危険区域指定要領に基づく

情報指令





令和7年4月1日現在

			南消	防署	-11	2消防	罗	70	の他		些		令和7年4月1日現在
			本	第	本			事		観音寺	紫雲出	合	
	67 III-	本				1	三	1	災	寺	出		/#= 1/ .
	名称	477						務	セン	警	山基		備考
		部		分		分	分		タ	察署	地	計	
			署	署	署	署	署	局		18	局		
1	消防緊急通信指令台	2										\vdash	NEC:SN760(指令制御:SV8500)
2	署所端末装置		1	1	1	1	1					5	
	指令情報出力装置	1	1	1	1	1	1					6	
	情報共有端末	1	1	1	1	1	1					6	
	車両·支援·多目的表示盤	3										3	70インチカラーディスプレイ
6	指揮台	1										1	
7	無線統制台	1										1	
	遠隔制御器	1										1	デジタル無線用
9	自動出動指定装置	3										3	23インチカラーディスプレイ
10	地図検索装置	3										3	23インチカラーディスプレイ
11	多目的ディスプレイ	3										3	23インチカラーディスプレイ
12	気象観測装置	1										1	
13	震度計	1										1	
14	音声合成装置	1										1	順次指令·自動案内用
15	順次指令装置	1										1	4回線、バックアップ用
16	災害状況等自動案内装置	1										1	20回線、バックアップ用
17	デジタル式電話交換機	1		1	1	1	1					5	
18	加入電話回線	10	1	1	3	1	1					17	ISDN4回線8局(本部·南)
19	携帯電話	3	3	1	3	1	1					12	
20	内線電話機	25	19	6	25	7	8	2	1			93	
_	FAX119受信装置	1										1	
_	NET119受信装置	1										1	
	Eメール順次指令装置	1										1	
_	自家発電機	1		1	1	1	2				1	7	
	専用線	_		1	2	1	1			1	1	7	
	携帯電話・IP直収電話119番回線	8									1		ISDN4回線8局(携帯・IP重畳)
_	消防無線基地局(デジタル)	1									1	\vdash	無線機(20W)
	車載型移動局無線装置(デュアル)	7	10	5	10	4	5				1	-	デジタル5W/アナログ10W
	車載型移動局無線装置(10W)	1	10	J	10	1	J						デジタル
_	卓上型移動局無線装置(5W)	1		1	1	1	1					-	デジタル、指令の無線バックアップ
	可搬型移動局無線装置(5W)	1		1	1	1	1					-	デジタル
	携帯型移動局(1W)	5	9	5	9	5	5						デジタル
	病帝至移動向(IW) デジタル用無線受令機		9		1	1	1					-	デジタル
		1	1.5	1	1.5	1	1						アナログ
_	署活系携帯型移動局(1W)	7	15	8	15	8	8					-	
	携帯型無線機(5W)	3	1		1			-				-	アナログ(防災相互波)
	署活系無線受令機	1										_	アナログ
	香川県防災行政無線システム(端末)	1										1	
_	四国電力専用電話	1	_									1	
_	衛星通信電話	2	2	1	1	1	1			<u> </u>		8	
	NEXCO専用電話	1										1	
	通報装置副受信制御機	1										-	七宝山トンネル
_	全国瞬時警報システム(J-ALERT)	2	1		1							4	
43	緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)	2										2	
1 1	電話通訳センターを介した三者間同時通訳	1										1	

気 象 状 況

■月別気象状況

令和6年

区分		気温(℃)			湿度(%)		風速(m/s)	風向	雨量	(mm)
種別 月別	最高	最低	平均	最低	平均	実効	最高	平均	最多 風向	月合計	24H最高
1	14.9	-1.8	6.8	49.7	80.7	80.5	19.2	2.4	東	23.0	6.0
2	21.2	-0.6	7.6	47.2	86.3	86.2	17.4	2.2	東北東	84.0	16.5
3	22.1	-1.0	9.6	22.2	78.2	78.5	22.8	2.1	西北西	105.5	31.0
4	26.1	4.5	16.6	22.2	84.4	83.0	12.4	1.4	西北西	108.0	30.5
5	28.7	9.5	19.0	27.2	79.2	79.6	18.8	1.7	東	194.0	108.5
6	32.2	14.4	23.3	39.7	87.0	86.2	15.4	1.5	西北西	234.0	54.0
7	37.4	21.8	29.2	50.5	84.8	85.6	14.2	1.3	西北西	140.0	48.5
8	37.0	23.9	30.1	34.1	68.0	68.1	15.2	1.8	西北西	103.5	25.5
9	36.2	19.7	28.0	39.7	70.1	70.4	14.1	1.6	西北西	83.5	76.5
10	30.4	13.3	21.1	32.7	72.9	72.5	16.3	2.0	東	99.0	26.5
11	24.9	3.6	14.4	34.9	68.6	69.7	19.3	2.3	東	62.0	25.5
12	18.4	-0.4	8.7	31.9	57.3	57.3	21.4	2.9	西北西	8.5	3.0

[※]気温・湿度の最高・最低は毎月における極値を記載

■警報注意報等発令状況

令和6年

種別			警		報								注	Ţ		報						情報
月別	大雪	暴風	波浪	大雨	洪水	高潮	小計	風雨	風雪	強風	波浪	高潮	大雨	洪水	大雪	雷	乾燥	濃霧	霜	低温	小計	各種
1										3	3					3	4				13	
2															2	4		1			7	4
3										3	3					6	4	3			19	1
4																4	1	3			8	
5				1	1		2			1	1		2	2		5	3	1			15	
6										2	2	4	4	2		9					23	3
7												5	2	2		13		2			24	
8				2	2		4			1	1	3	5	6		11					27	
9				1	1		2			1	1		5	7		11					25	2
10										1	1	1	1	1		5					10	1
11										3	3	4	1	1		3					15	2
12										5	5					5	6				21	3
合計				4	4		8			20	20	17	20	21	2	79	18	10			207	16

※霜注意報は集計していない

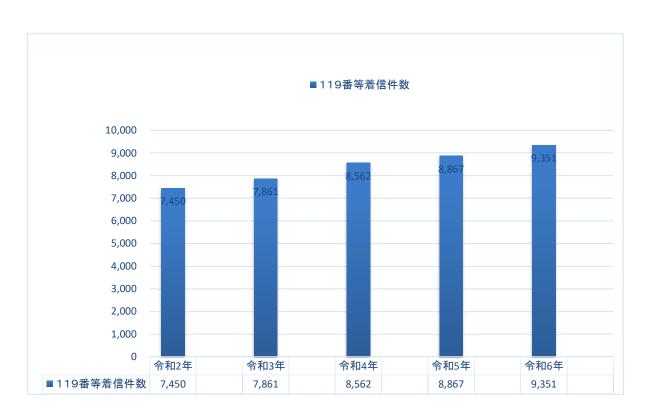
[※]実効湿度は毎月における平均値を記載

■119番等受信状況

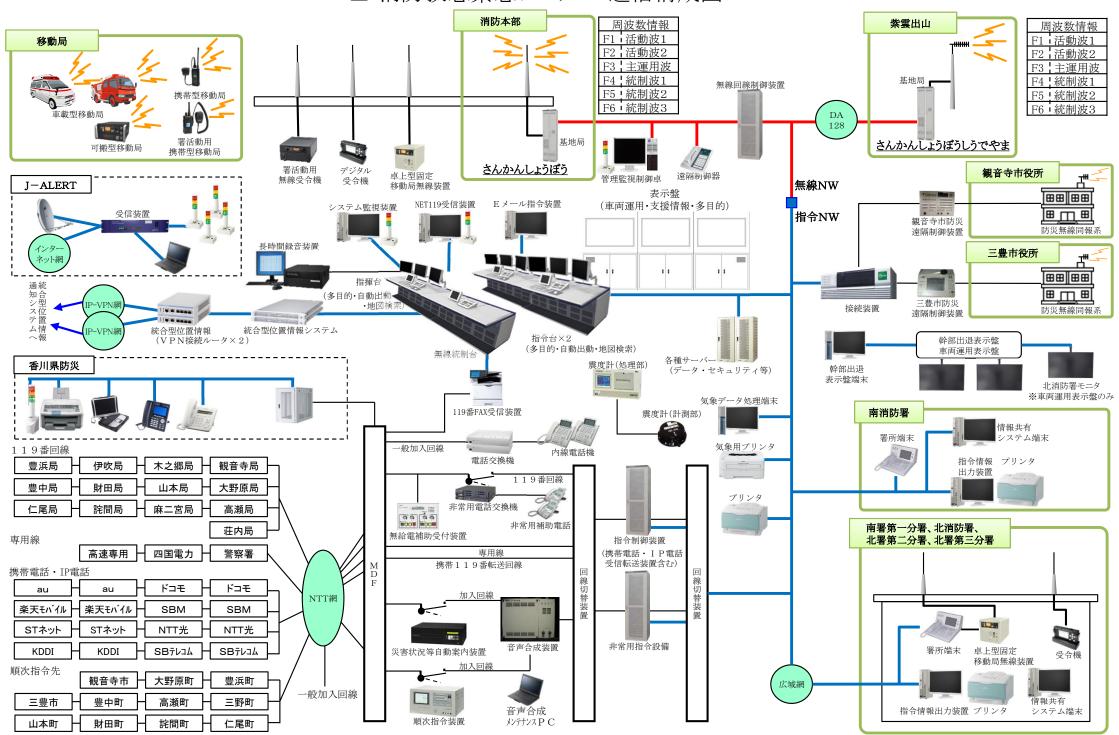
令和6年(単位/件)

		計	火災	救急	救助	その他災害	通報訓練	いたずら	問い合わせ	病院紹介	その他
	固定電話	1,868	5	992	4	10	246	21	50	1	539
119番 通報	IP電話	1,915	5	1,589	4	6	167	6	41	13	84
,,,,	携帯電話	5,046	40	3,388	41	64	70	49	213	64	1,117
加入	.電話	348	3	270	3	72					
駆け付	け通報	23		23							
警察専	用電話	92	1	76	7	8					
自己	.覚知	59		20		39					
高速専	用電話	0									
その	の他	0									
合	計	9,351	54	6,358	59	199	483	76	304	78	1,740
災害	案内	受付	件数		32,819			ル件数 中)		24	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
119番等着信件数	7,450	7,861	8,562	8,867	9,351
災害案内件数	27,789	50,247	43,295	45,508	32,843



■ 消防救急緊急システム・通信構成図



火 災 統 計

2025年度全国統一防火標語

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

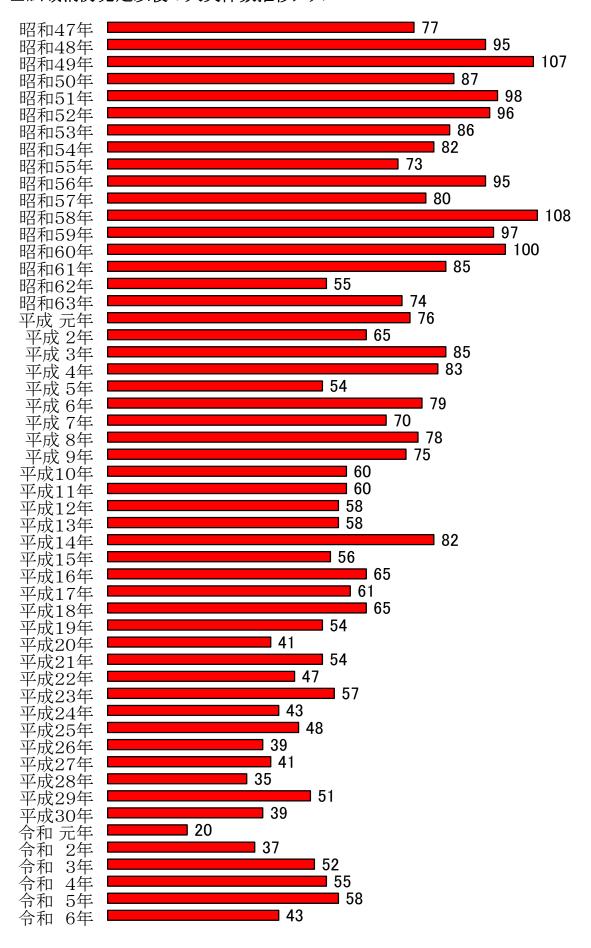


住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検をしましょう。 古くなった警報器は、電池や電子部品の寿命等で火災を感知しなくなる可能性があります。 10年を目安に交換することを推奨します。

■広域消防発足以来の火災件数及び損害額

		火災種別 火災種別							面積			損	害	額(千円	1)			
年	件				両			爆	建	林			車	両				
'	11	建	林	自		船	そ	NA.	Æ	7/1	建	林	自	鉄	船	そ	爆	= 1
別	数	H-from	田文	動	201	фA	(J)	発	物	野	Hefen	m₹	動	271	ńА	(T)	∀ ◊	計
		物	野	車	道	舶	他		(m^2)	(a)	物	野	車	道	舶	他	発	
S47	77	61	8	6		1	1		3,244	60	158,854	1,020	1,278		5	10		161,167
S48	95	67	9	7		2	10		3,124	47	96,285	2,765	6,965		75	85		106,175
S49	107	54	24	4			25		1,971	17	48,736	869	197			1,732		51,534
S50	87	48	12	10		1	16		2,493	67	97,184	407	1,688		381	827		100,487
S51	98	72	5	8			13		3,698	68	126,140	255	1,038			652		128,085
S52	96	61	20	4		1	10		2,163	222	70,932	1,023	95		250	5		72,305
S53	86	50	16	6		2	12		3,353	305	118,887	260	1,293		32,220	386		153,046
S54	82	58	11	3		1	9		3,532	430	144,732	8,037	310		55,000	73		208,152
S55	73	63	4	3		_	3		3,623	426	234,196	1,920	102		33,000	1,660		237,878
S56	95	73	3	1		1	17		4,803	104	330,467	1,000	250		40	1,515		333,272
S57	80	53	5	7		2	13		2,407	203	114,034	155	5,529		1,044	432		121,194
S58	108	-	_	9		1	18		4,940	744	541,239	2,135	694		4,350	917		549,335
S59	97	69	4	4		1	19		4,102	300	366,667	865	348		700	1,614		370,194
S60	100	76	7	4	H	1	13		5,728	14,605	321,770	83,645	1,104		100	640	\vdash	407,159
	85	57	10	4	\vdash	1	13		5,104		367,229				OC A			
S61	55	42	-	2	\vdash	1	13 9			5,072	185,912	37,967	2,995		864	2 156		409,719
S62		_	2	_	Н	1	-		2,962	122		1,495	547		10	2,156	\vdash	190,110
S63	74 76	60 52	1	5 12	\vdash	1	7 8		5,611	10,500	336,093	26,000	3,343		10	12,250 225		377,696
H元		_	4	-		2			9,641	2,270	507,878	5,308	4,415		470			517,826
H 2	65	49	4	7		_	3		2,636	115	227,504		5,976		473	4,540		238,493
H 3	85	60	3			1	12		9,215	176	557,461		2,360		725	1,666		562,212
H 4	83	62	2	-		1	7		5,180	18	695,476		12,244		6,275	1,516		715,511
H 5	54	39	4	6			5		3,715	428	359,350		4,638			1,432		365,420
H 6	79	57	3	5			14		4,432	171	322,599	44	1,498			3,073		327,214
H 7	70	48	5	6	-		11		3,692	1,470	277,282	18,261	2,569	60.016		1,778		299,890
H 8	78	48	6		1		14		9,305	376	858,434	580	5,103	60,216		6,583		930,916
H 9	75	52	2	-			8		3,883	31	276,917	15.055	18,129			187		295,233
H10	60	46	3	_			7		2,273	2,435	107,486	15,677	589			529		124,281
H11	60	37	3				10		2,924	26	242,889	E1 0E0	7,569			1,905		252,363
H12	58	36	4	6			12		5,517	7,049	310,033	51,950	1,334			1,459		364,776
H13	58		2	9			7		4,558		463,032	00 570	12,738			1,378		477,148
H14	82	59	4	8			11		4,240	1,768	680,839	20,579	4,505			2,311		708,234
H15	56	44	1	7			5	0	10,219	0	908,019		1,525			27		909,571
H16	65	48	1	5			9	2	3,409	3	345,519	0.040	2,663			81		348,263
H17	61	33	5	6			17	0	2,614	101	202,009	8,649	39,228			22		249,908
H18	65	49	0	6		-	10	2	3,499	2	124,818	20	2,059		10 101	38		126,915
H19	54	37	2	3	H	1	11		4,075	6	236,971	29	1,720		10,181	18	\vdash	248,919
H20	41	25	7	2	H	-	14	-	3,478	3	155,146		97			1,677	\vdash	156,920
H21	54	33	1		Ш	1	4	1	5,161	13	315,850	100	8,386			5 00		324,236
H22	47	39	1	5	Щ		2		4,259	60	320,654	180	2,050			732		323,616
H23	57	37	1	4	Щ		15		2,635	30	160,059		955			203		161,217
H24	43	32		3	Щ		8		4,344		220,036		757			276		221,069
H25	48	30	_	7	Щ		11	1	4,135	. =	304,676		2,561			560		307,797
H26	39	22	2	_	Щ		7		6,279	40	228,747		5,527		1 0	24,764		259,038
H27	41	31		2	Щ	1	7		2,641		155,687		283		1,608	2,458		160,036
H28	35	26		3			6		1,510		39,295		178			40.5		39,473
H29	51	31	2	7	Щ		11	1	2,271	29	81,333		6,292			18,375		106,000
H30	39	25	1	5	Щ		8		2,129	12	116,209		226			5,156		121,591
R元	20	10	_	3	Щ		7		2,627		50,299		1,585			30		51,914
R2	37	24	2	3	Щ		8		1,128	10	38,601		1,310			21,618		61,529
R3	52	29	1	6			16		3,341	49	126,896		6,640			205		133,741
R4	55	27	2	2			24	1	2,401	700	87,016	290	1,684			203		89,193
R5	58	32		7		1	18		3,597		396,675		3,301		2,202	1,309		403,487
R6	43	23	1	5		1	13	1	2,189	35	56,364		1,859			2,803		61,026

■広域消防発足以後の火災件数推移グラフ



	広域消防	5発5	2以来	の主な火	災	T							
年別	出火月日	火災種別	出火時分	鎮火時分	出火場所	火元用途	打 百 和	尭 員 亩 責 辛	類焼棟数	死者	負傷者	出火原因	損 害 額 計
	Н	73.1),	23	121	747	(m²)	(a)	(棟)	П			(千円)
S47	10月29日	建物	10:30	13:00	三豊郡豊中町本山	工場	660		1		1	溶接機·切断機	50,000
S48	4月3日	建物	22:00	4日0:09	観音寺市粟井町	工場	697		1		1	溶接機·切断機	70,286
S54	12月18日	建物	20:55	21:51	三豊郡詫間町詫間	船舶						溶接機•切断機	55,000
S56	3月23日	建物	22:45	23:46	観音寺市村黒町	店舗住宅	396					不明	61,083
S56	12月3日	建物	4:10	5:55	観音寺市柞田町	倉庫	348		2			不明	55,201
S58	1月14日	建物	3:05	4:29	観音寺市中田井町	事務所	540		2			不明	84,093
S58	8月3日	建物	2:50	5:01	三豊郡詫間町詫間	住宅	406		2			たばこ	51,673
S58	8月27日	建物	19:48	20:58	三豊郡大野原町中姫	工場	500					電気炉	241,008
S59	1月15日	建物	1:15	2:50	三豊郡高瀬町佐俣	工場	470					石油ストーブ	162,956
S60	2月2日	林野	18:30	5日10:00	三豊郡豊浜町箕浦	普通林		13,600				不明	61,302
S60	5月3日	建物	18:00	21:40	観音寺市伊吹町	店舗	1,229		10		1	不明	64,943
S61	3月8日	林野	13:00	9日10:15	三豊郡詫間町大浜	人工林		100			3	不明	23,879
S61	8月20日	林野	15:50		観音寺市粟井町	制限林		400			2	たき火	490
S61	10月31日	建物	11:15	18:00	三豊郡山本町財田西		1,575					火花	177,660
S63	2月7日	建物	2:20		観音寺市柞田町	作業場	929					不明	116,583
H元	1月1日		14:20	18:00	三豊郡仁尾町仁尾	学校	3,304					不明	128,581
H元	4月18日		15:40	22日9:40		普通林		200				火入れの火の粉	5,200
H元	12月10日	建物	11:30	16:35		工場	1,278				2	摩擦による	92,331
НЗ	2月3日		5:30	9:32	三豊郡詫間町大浜	養鶏場	5,184					不明	296,475
H4	1月21日	建物	3:07	5:17	三豊郡豊浜町和田浜		1					不明	212,162
H4	7月16日	建物	1:34	6:04	観音寺市観音寺町	店舗	784					不明	134,546
H5	7月18日		3:35	5:02		作業場	339					不明	112,413
Н8	11月28日		16:50	19:30	三豊郡詫間町詫間	工場	4,403			2	10	不明	539,543
H10	9月16日			17日19:30		制限林		200				煙突の火の粉	15,472
H12	2月18日	林野	10:50	15:30		原野		700			_	たき火	51,844
H13	3月14日		13:37	15日8:15	三豊郡詫間町詫間	制限林		50				たばこ	0
H13	4月7日		20:30	22:24		工場	153					静電気のスパーク	193,992
H14	6月1日		2:30		三豊郡豊浜町姫浜	作業場	791		1			不明	440,303
H14					三豊郡詫間町粟島	原野		1,700				その他	20,579
H15	1月26日		21:50		三豊郡高瀬町新名	店舗	890		1			配線器具	66,380
H15	4月23日		18:53		三豊郡豊中町比地大		6,256					マッチ・ライター	694,645
H16	1月7日		20:40		三豊郡豊中町岡本	作業場	512					たき火	72,895
H16	8月23日		20:20		観音寺市瀬戸町	作業場	410					落雷	80,236
H17	4月2日		0:15		観音寺市柞田町	作業場	56					金属の火花	51,313
H17	7月15日		19:55	22:13		作業場	496		-			溶接機·切断機	51,968
-	11月10日		17:45		三豊市詫間町箱	住宅	552		7			不明	53,961
H20	2月28日		9:30		三豊市高瀬町上麻	工場	1,322		0			溶接機・切断機	50,993
H21	8月25日		1:05		観音寺市柞田町	工場	2,544		2			金属の衝撃火花	194,703
H22	7月22日		2:00		観音寺市伊吹町	工場	533		1			発電機	94,550
H24	7月20日		不明		三豊市詫間町詫間	作業場	1,337		1		1	不明	81,651
-	10月10日		14:30		観音寺市大野原町	工場	2,500		1		1	スイッチの火花が飛ぶ	259,528
H26	8月3日		15:20		三豊郡山本町財田西		3,802		_			不明	108,747
H27	1月8日		14:55		三豊市詫間町松崎	住宅	600	0	5		1	不明 遊電	56,784
H29	6月1日		23:50		観音寺市豊浜町和田		4.0	2				落雷	0 0 5 9
H30	11月20日		17:40		三豊市財田町財田上		46		1.0			グラインダーの火花	958
R元	2月16日		22:15		観音寺市伊吹町	住宅	1,331		16		-	放火の疑い	22,399
R4	6月26日		2:30		観音寺市村黒町	作業場	1,006	700	2			焼却炉の火の粉	51,231
R4	8月13日				観音寺市伊吹町股島		207	700	1	1		消し炭薪	290
R5	3月4日		5:40		三豊市三野町大見	住宅工規	337		3	1		不明 乾燥機	81,041
R5	7月3日		16:50		観音寺市伊吹町	工場工規	1,616		1			乾燥機	208,984
R6	2月27日		20:00		観音寺市豊浜町箕浦	工場	2	<u> </u>				換気扇	45

※ 損害額が5,000万円以上、出火から鎮火までに5時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が500a以上の火災。

	■管	内ī		災	件数の	り推和	多				(単位:千円)
		_			年	別					
				\			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
署原	听别	-	市別								
	本		観音	寺	件	数	11	20	8	14	11
南沿	署	観	<u>ну</u> ц	.,	損害	F額	5,595	36,453	58,303	230,591	31,094
防	第	部音 寺	大 野	頂	件	数	4	5	3	7	1
消防署管内	-	寺市	7 4	//11	損害	層	5,890	202	4,020	607	270
内	分署	,,,	豊	浜	件	数	3	4	2	5	2
			ኍ	177	損害	評額	108	8,276	188	6,155	616
		小	計		件	数	18	29	13	26	14
	,	1,	ΡΙ		損害	評額	11,593	44,931	62,511	237,353	31,980
			高	瀬	件	数	4	4	11	12	3
			ᄗ	彻只	損害	F額	18,581	65	5,672	72,877	2,309
	本署		1::1	野	件	数	1	2	3	3	3
	署			判	損害	F額	375	34,686		81,041	2,731
			豊	中	件	数	3	5	3	2	4
北			时	Т	損害	F額	129	47,683	26	305	4,052
消防署管内	<i>₽</i> /-	三豊	山	本	件	数	4	2	9	5	4
署答	第二分署	豆市	丑	4	損害	評額	491	161	7,851	8,125	3,977
内	分罗		財	田	件	数	2	3	7	5	5
	111		户	Щ	損害	F額	1,456	147	1,715	359	1,564
	<i>₽</i> /-		詫	間	件	数	5	4	6	3	8
	第三		吐	刖	損害	F額	28,904	2,524	5,419	3,214	11,853
	第三分署		<i>i</i> —	尾	件	数		3	3	2	2
	4		仁	庄	損害	評額		3,544	5,999	213	2,560
		- <u>-</u>	<u></u> ———		件	数	19	23	42	32	29
	小 計				損害	· 育額	49,936	88,810	26,682	166,134	29,046
	合		計		件	数	37	52	55	58	43
	口		PΙ		損害	評額	61,529	133,741	89,193	403,487	61,026

■出火原因の年別推移

— щ/	水四ツギが18 位	9			
年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
ワースト 1位 2位 3位 4位 5位 6位 7位 8位	令和2年たき火7こんろ2電灯・電話線2放火の疑い2放火の疑い2こたつ1排気管1電気機器1	令和3年たき火たばこたばこ放火こんろ電灯・電話線焼却炉放火の疑いストーブ電気装置1	令和4年 たき火 火入れ たばこ 焼却炉 電気機器 電気装置 取灰 ストーブ 電灯・電話線 1	たき火 たばこ たばこ こんろ ストーブ ずイラー 電気装置 電灯・電話線 投援 1 電気機器 1	令和6年 たき火 たばこ 電気機器 電灯・電話線 3 排気管 放火の疑い こんろ ストーブ 1
9位 10位 11位 12位 13位 14位 15位 16位 17位	1 電気装置 1 内燃機関 1 配線器具 1 火遊び 1 灯火	1 マッチ・ライター 1 火入れ 1	1 溶接機・切断機 1 放火 1 放火の疑い 1	1 内燃機関 1 配線器具 1 マッチ・ライター 1 溶接機・切断機 1 衝突の火花 1 火入れ 1 放火 1 放火 1	1 配線器具 1
合 計	その他 6 不明・調査中 6	その他 9 不明・調査中 11	その他 15 不明・調査中 10 55	その他 14 不明・調査中 6	その他 4 不明・調査中 9

■令和6年火災概況

(1)概 況 総 括

	令和6年累計	令和5年累計	対前年増減数	増 減 率(%)
区 分	(A)	(A)	(A)-(B)=(C)	
総 出 火 件 数(件)	43	(A) 58	(A) (B)−(C)	\triangle 25.9
	23			
建物火災		32	△ 9	△ 28.1
(うち住宅火災)	10	21	△ 11	△ 52.4
一杯 對 久 火	1		1	皆増
車 両 火 災	5	7	△ 2	△ 28.6
訳 船 舶 火 災	1	1		
航空機火災				
その他火災	13	18	\triangle 5	\triangle 27.8
焼 損 棟 数	45	41	4	9.8
り 災 世 帯 数	15	8	7	87.5
り災人員	28	75	△ 47	△ 62.7
焼損 建物焼損床面積(m²)	2,015	3,508	△ 1,493	△ 42.6
建物焼損表面積(m²)	171	89	82	92.1
面積 林野焼損面積 (a)	35		35	皆増
損害額(千円)	61,026	403,487	△ 342,461	△ 84.9
建物	56,364	396,675	△ 340,311	△ 85.8
林野				
内 車 両	1,859	3,301	△ 1,442	△ 43.7
船舶		2,202	△ 2,202	△ 100.0
訳 航空機				
その他	2,803	1,309	1,494	114.1
爆 発				
死 者 数	4	1	3	300.0
(うち放火自殺者数)	1		1	皆増
負 傷 者 数	9	9		

(2)出火原因

出火原因別件数	令和6年累計	令和5年累計	対前年増減数	増減率(%)
	(A)	(B)	(A)-(B)=(C)	$(C)/(B) \times 100$
たばこ	5	6	△ 1	△ 16.7
こんろ	1	2	△ 1	△ 50.0
かまど				
風呂かまど				
炉				
焼 却 炉				
ストーブ	1	2	△ 1	△ 50.0
こたっ				
ボイラー		2	$\triangle 2$	△ 100.0
煙 突・煙 道				
排 気 管	2	1	1	100.0
電 気 機 器	4	1	3	300.0
電 気 装 置		2	$\triangle 2$	△ 100.0
電灯・電話等の配線	3	2	1	50.0
内 燃 機 関		1	△ 1	△ 100.0
配 線 器 具	1	1		
火 遊 び				
マッチ・ライター		1	△ 1	△ 100.0
たき火	9	12	△ 3	△ 25.0
溶接機•切断機		1	△ 1	△ 100.0
灯 火				
衝突の火花		1	△ 1	△ 100.0
取 灰				
火入れ		1	△ 1	△ 100.0
放 火	2	1	1	100.0
放火の疑い	2	1	1	100.0
その他	4	14	△ 10	△ 71.4
不明・調査中	9	6	3	50.0
合 計	43	58	△ 15	△ 25.9

令和6年1月1日~12月31日

(3)月別出火件数

区分	件数	建	林	車	船	航	そ
						空	の
月	合計	物	野	恒	舶	機	他
1	4	2	1				1
2	7	5					2
3	1	1					
4	2	1					1
5	5	3		1			1
6	3	1		1			1
7	4	1		1	1		1
8	5	1		1			3
9	3	1		1			1
10	1	1					
11	2	1					1
12	6	5					1
累計	43	23	1	5	1		13

(4)火災による死者の内訳

	<i>₩</i>							
経過	死者	逃	出	着	放	そ	爆	不
		げ	火		.1.		3 6	明
		お	後	衣	火	の	発	•
			再	着	自	0)	死	調
		<	進	/目			76	查
年齢	合計	れ	入	火	殺	他	者	中
5歳								
以下								
6~								
10歳								
11~								
20歳								
21~								
30歳								
31~								
40歳								
41~								
50歳	1				1			
51~								
60歳	1							1
61~								
64歳								
65歳								
以上	2							2
不明								
計	4				1			3

(5)火災件数•損害等平均值

(0)// (9011	3/ 1/2 L 1/1 L	117 III
火災発生	間隔 (日)	8.5
1ヶ月平均出	火件数 (件)	3.6
1ヶ月平均損	害額 (千円)	5,086
1件平均損害	額 (千円)	1,419
1日平均損害	額 (千円)	167
1件当たり	建物 (m²)	95.0
焼損面積	林野 (a)	

■月別火災発生状況

令和6年1月1日~12月31日(件:千円)

_			-	1	1	1	-	1								(件:干円)
	Ħ	可別((月)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
			火災件数	1	1		1	2			2	1		1	2	11
南	平署	観音寺	うち爆発													
消			損 害 額	5	13,259		4,215	3,346			25				10,244	31,094
防			火災件数							1						1
		大野原	うち爆発													
署	邪 一		損害額							270						270
管	分署		火災件数		1			1								2
内	白	豊 浜	うち爆発													
			損 害 額		45			571								616
			火災件数		3											3
		高 瀬	うち爆発													
			損 害 額		2,309											2,309
			火災件数						2			1				3
	本署	三 野	うち爆発													
	П		損 害 額						2,731							2,731
			火災件数		1					1				1	1	4
北		豊中	うち爆発													
消			損 害 額		1,969									799	1,284	4,052
防			火災件数	1						1	1	1				4
		山本	うち爆発													
署	第二		損 害 額	3,761						9	14	193				3,977
管	分署		火災件数				1	1	1		2					5
内	者	財田	うち爆発													
1			損 害 額					1,037	527							1,564
			火災件数	2	1	1				1			1		2	8
	Laka	詫間	うち爆発							1						1
	第三		損 害 額		7,324	611							3,657		261	11,853
	一分買		火災件数					1							1	2
	署	仁尾	うち爆発						·			L				
			損 害 額					69							2,491	2,560
		火災件	数	4	7	1	2	5	3	4	5	3	1	2	6	43
			うち爆発							1						1
	ŧ	損 害	額	3,766	24,906	611	4,215	5,023	3,258	279	39	193	3,657	799	14,280	61,026

■原因別火災発生状況

令和6年1月1日~12月31日

	総			内		訳			爆	<u>/</u>	尭損面積	Ĭ		焼損	棟数						1- 1	死傷	男子 写者								
	出	建	林	車両	火災	船	航	そ		廷		林	全	半	部	ぼ	建	林			船	航	そ	爆	合		者		負傷		
		物	野		, ,,,	舶	空	の		牧									自	鉄						火	爆	火	3 5	爆	3 5
	火	125	-1	自	鉄	/11口	機	他		床	表				分					业人		空	Ø						0 ち 目		0 ち 目
	件	火	火	動	·天	火	火	火		面 積	面 積	H-7							動										死		死
	数	災	災	車	道	災	災	災	発	(m^2)	(m^2)	野 (a)	焼	焼	焼	Þ	物	野	車	道	舟白	機	他	発	計	災	発	災	者	発	者
たばこ	5	3		1			-	1	/-	226	13	(4)	1	1	2	1	4,372		'	~_	731	72	14	,,,	4,386	1					
こんろ	1	1								1					1		193								193						
かまど																															
風呂・かまど																															
炉																															
焼 却 炉																															
ストーブ	1	1								92				1			13,259								13,259			1			
こたつ																															
ボイラー																															
煙突•煙道																															
排 気 管	2			2															1,307						1,307						
電気機器	4	3		1						35	2			1	1	1	855		527						1,382						
電気装置																															
電灯•電話線	3	3								10					1	2	1,289								1,289			1			
内 燃 機 関																															
配線器具	1					1			1																			1		1	
火 遊 び																															
マッチ・ライター																															
た き 火	9	2	1					6		62	8	35		1	1	1	1,921						69		1,990			3			
溶接機•切断機																															
灯 火																															
衝突の火花																															
取 灰																															
火入れ																															
放 火	2	1		1						73	3		1		1		1,434		25						1,459	1		1			
放火の疑い	2							2																							
その他	4	4								596	14		1	2	5		9,276								9,276						
不明·調査中	9	5						4		920	131		9	1	6	3	23,765						2,720		26,485	2		1			
合 計	43	23	1	5		1		13	1	2,015	171	35	12	7	18	8	56,364		1,859				2,803		61,026	4		8		1	

令和6年1月1日~令和6年12月31日

	<u></u>						^		1.6			16	-
	用途別		専	併	下	工	倉	物	飲	事	畜	複	そ
	用壓削		H	н	宿 •	場	庫	品				\triangle	の
		計	用	用	共	•		販	食	務		合	他
		PΙ	住	住	同	作		売	及	427		用	
			124	حلدا	住	業	物	店				/13	用
区分			宅	宅	宅	場	置	舗	店	所	舎	途	途
	計	23	10		1	4	5				1	1	1
榼	耐火構造	2	1									1	
構造別	準 耐 火 構 造	2				2							
另「	木 造	14	8			1	3				1		1
	その他	5	1		1	1	2						
	計	45	16		1	14	10				2	1	1
焼	全焼	12	3			6	3				_	_	_
焼損棟数	半焼	7	2			1	3				1		
棟	部 分 焼	18	7			5	3				1	1	1
釵	ぼりため	8	4		1	2	1				1	1	1
-					1				-		40.4	0	
損	焼損面積 床面積	2,015	633			592	348		<u> </u>		434	8	
損 害	(m²) 表面積	171	73			76	14				<u> </u>		8
	損害額(千円)	56,364	21,735			20,889	7,207				2,309	4,215	9
ŋ	計	15	12		1	1	1						
災世帯	全 損	2	2										
帯	半 損	2	2										
数	小 損	11	8		1	1	1						
(り災 人 員	28	22		1	2	3						
	計	23	10		1	4	5				1	1	1
	たばこ	3	2		1								
	こんろ	1	1										
	か ま ど												
	風呂かまど												
	炉												
-	焼 却 炉												
原	スト – ブ	1				1							
	こたっ												
	ボイラー												
	煙突・煙道												
	排気管												
	電気機器	3	1			1	1		 				
	電気装置	3	1			1	1						
因	電灯・電話線	3	3										
	内 燃 機 関	3	J										
	配線器具												
	此 禄 益 兵 火 遊 び												
	マッチ・ライター た き 火	0					1						1
		2					1						1
	溶接機・切断機												
別	灯 火												
	衝突の火花												
	取 灰												
	火入れ												
	放火	1					1						
	放火の疑い												
	その他	4				1	1				1	1	
	不 明・調 査 中	5	3			1	1						

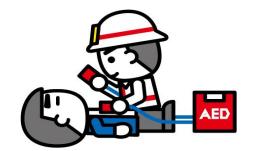
■令和6年中の主な火災

	1 HO 1	ク土な外外										
整理番号	火災種別	出火月日	出火時分	入電時分	鎮火時分	出 火 場 所	火元用途	焼 損面積等 (㎡)	死者	30日死者	出火原因	損 害 額 計 (千円)
1	建物	1月29日	4:20	4:44	7:27	三豊市山本町辻	住宅	206	1		たばこ	3,761
2	建物	2月12日	5:00	8:07	11:00	三豊市高瀬町佐股	畜舎	434			その他	2,309
3	建物	2月12日	18:50	18:59	20:45	三豊市豊中町岡本	住宅	132	1		不明·調査中	1,969
4	建物	2月22日	17:10	17:16	18:30	観音寺市柞田町	工場・作業場	92			ストーブ	13,259
5	建物	2月24日	12:20	12:43	16:36	三豊市詫間町粟島	工場・作業場	571			不明·調査中	7,324
6	建物	2月27日	20:00	21:44	6:35	観音寺市豊浜町箕浦	工場・作業場	2			電気機器	45
7	建物	4月21日	4:20	4:33	5:29	観音寺市有明町	複合用途	8			その他	4,215
8	その他	6月7日	8:10	8:21	11:47	三豊市三野町吉津	集塵機				不明·調査中	2,720
9	車両	8月31日	18:20	18:25	19:09	観音寺市室本町	車両		1		放火	25
10	建物	10月10日	0:00	15:30	18:07	三豊市詫間町粟島	住宅	178			不明·調査中	3,657
11	建物	12月24日	9:00	9:35		観音寺市新田町	住宅	140	1		不明·調査中	10,244

[※] 損害額が300万円以上の火災、死者の生じた火災、出火から鎮火までに3時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が2分以上の火災。

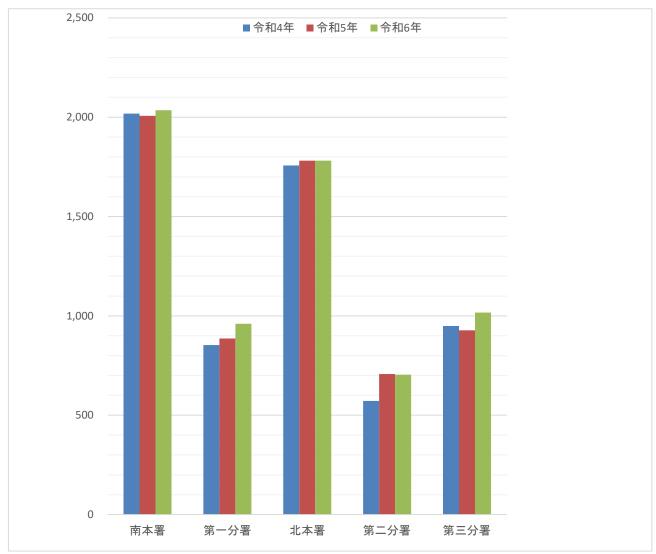
救 急 統 計





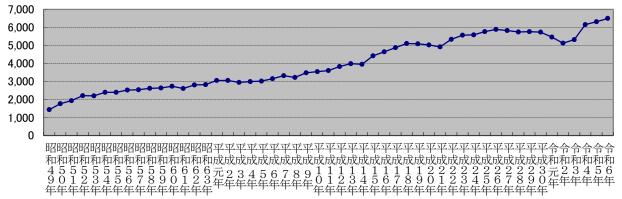


■署別、年別救急出動状況



署別	南消防	署管内	캬	2消防署管	内	合計
年別	南本署	第一分署	北本署	第二分署	第三分署	
令和4年	2,018	853	1,757	572	949	6,149
令和5年	2,007	886	1,781	707	927	6,308
令和6年	2,035	960	1,781	704	1,017	6,497

救急件数の推移



■出動先別、事故別出場状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

													令和6年Ⅰ	
	事	故種別	合	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
					然		通	働	動	般		損		の
	•				災		事	災	競	負		行		V)
出	助先		計	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
	合	計	6,497	30		6	383	85	43	1,015	13	45	4,049	828
観	観	音 寺	2,060	8			127	29	16	320	9	14	1,280	257
観音寺市	大	野 原	521				27	7		77	1	2	348	59
市	豊	浜	475	2			17	8	2	87	1	3	250	105
,	小	計	3,056	10			171	44	18	484	11	19	1,878	421
	高	瀬	892	1		2	44	5	6	125	1	4	558	146
_	\equiv	野	398	1			30	3		74	1	5	267	17
三	豊	中	452	5		1	36	11	9	72		4	300	14
豊	Щ	本	363	3			20	7	7	53		3	205	65
市	財	田	220	2			23	3	1	40		1	138	12
	詫	間	803	5		2	26	10	2	112		1	498	147
	仁	尾	289	2		1	23	2		52		8	195	6
/	小	計	3,417	19		6	202	41	25	528	2	26	2,161	407
1	高速	道路	23	1			9			3			10	
	その	つ他	1				1							

■出動先別、事故別搬送人員状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

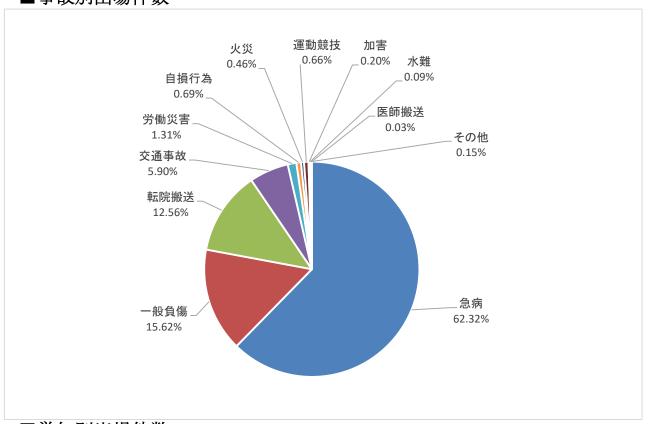
											11/11/04		11 1410 11	
	事	故種別	合	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
					然		通	働	動	般		損		の
	,				災		事	災	競	負		行		V
出重	助先		計	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
	合	計	5,614	5		3	325	82	41	882	13	30	3,419	814
観	観	音 寺	1,758	2			110	29	16	269	7	10	1,062	253
観音寺市	大	野 原	471				20	7		72	1	2	312	57
市	豊	浜	409				14	7	1	77	2	3	205	100
/	小	計	2,638	2			144	43	17	418	10	15	1,579	410
	高	瀬	779				39	5	6	111	1	2	470	145
	三	野	341				26	3		63	2	4	226	17
三	豊	中	376	1			27	10	9	63		2	251	13
豊	山	本	318				16	7	6	47			178	64
市	財	田	194				20	3	1	37			121	12
	詫	間	689	2		2	24	9	2	94			409	147
	仁	尾	260			1	22	2		46		7	176	6
/	小	計	2,957	3		3	174	39	24	461	3	15	1,831	404
Ī	高速	道路	19				7			3			9	
	その)他												

■出動先別、月別救急出場状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

_											1		7HU-1	/1 I H	11 / HO	-12月31日
出動先	<u></u>	$\overline{\ \ }$		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		\Box	出場件数	186	170	168	133	153	162	206	211	162	166	174	169	2,060
	観音	寺	搬送人員	161	142	144	120	136	149	169	170	142	141	146	138	1,758
		ŀ	不搬送件数	26	28	25	13	17	14	37	42	20	25	29	32	308
観			出場件数	44	37	34	34	41	34	57	58	47	41	49	45	521
音寺	大野	原	搬送人員	42	35	31	30	37	32	50	52	42	35	49	36	471
市市		ŀ	不搬送件数	2	2	3	4	4	2	7	6	5	6	1	9	51
''			出場件数	50	35	45	41	37	28	48	43	45	40	22	41	475
	豊	浜	搬送人員	42	31	42	36	33	24	41	34	38	34	19	35	409
			不搬送件数	9	4	3	5	4	4	7	9	7	6	3	6	67
			出場件数	280	242	247	208	231	224	311	312	254	247	245	255	3,056
,	小計		搬送人員	245	208	217	186	206	205	260	256	222	210	214	209	2,638
			不搬送件数	37	34	31	22	25	20	51	57	32	37	33	47	426
			出場件数	85	69	76	63	70	68	89	78	77	68	76	73	892
	高	瀬	搬送人員	72	56	69	54	63	58	78	67	72	60	68	62	779
			不搬送件数	13	13	7	9	8	10	11	11	5	8	8	12	115
		_	出場件数	38	32	35	25	37	19	44	45	36	31	23	33	398
	三	野	搬送人員	29	29	26	22	32	18	40	33	30	31	20	31	341
			不搬送件数	9	4	9	3	6	1	4	13	6	2	4	2	63
			出場件数	38	35	33	33	34	32	45	45	32	39	31	55	452
	豊	中	搬送人員	31	28	27	27	30	26	38	36	30	33	29	41	376
Ξ.			不搬送件数	7	7	6	6	4	6	7	9	3	7	2	14	78
			出場件数	35	20	30	26	35	27	42	31	30	35	20	32	363
豊	山	本	搬送人員	31	17	27	24	30	27	34	29	28	27	16	28	318
<u> </u>			不搬送件数	4	3	3	3	5	0	8	2	2	8	4	4	46
市			出場件数	22	14	28	8	14	15	27	16	19	8	25	24	220
	財	田	搬送人員	22	14	23	7	13	13	26	12	16	6	22	20	194
			不搬送件数	0	0	5	1	1	2	1	4	3	2	3	4	26
			出場件数	86	56	56	55	58	46	81	91	62	62	67	83	803
	詫	間	搬送人員	79	48	44	45	51	38	69	81	51	54	58	71	689
			不搬送件数	7	8	12	10	7	8	12	10	11	9	9	12	115
			出場件数	21	16	20	28	33	23	24	32	27	27	10	28	289
	仁	尾	搬送人員	18	15	19	26	27	19	19	28	24	27	10	28	260
			不搬送件数	3	1	1	3	7	4	5	4	3	0	0	2	33
			出場件数	325	242	278	238	281	230	352	338	283	270	252	328	3,417
,	小計		搬送人員	282	207	235	205	246	199	304	286	251	238	223	281	2,957
			不搬送件数	43	36	43	35	38	31	48	53	33	36	30	50	476
			出場件数	0	1	5	2	2	2	3	1	0	4	0	3	23
高	速道路	各	搬送人員	0	1	3	2	2	1	2	1	0	3	0	4	19
			不搬送件数	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
			出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
そ	の他		搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			不搬送件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
			出場件数	605	485	530	448	514	456	666	651	537	521	497	587	6,497
合	計	. [搬送人員	527	416	455	393	454	405	566	543	473	451	437	494	5,614
			不搬送件数	80	70	76	57	63	52	100	110	65	74	63	98	908

■事故別出場件数



■覚知別出場件数

令和6年1月1日~令和6年12月31日

	事故種別		合	火	自	水	交	労	運		加	自	急	-	その	他	
					然			働	動	般		損		転	医	資 器	そ
														院	師	材	の
					災			災	競	負		行		搬	搬	等輸	V
覚	知別		計	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	送	送	送	他
合		計	6,497	30		6	383	85	43	1,015	13	45	4,049	816	2		10
	119		6,108	24		6	331	83	43	986	8	41	3,940	638			8
	(内)携帯	電話	3,512	22		4	307	62	36	633	6	38	2,393	4			7
加	入 電	話	270	2			7	1		16		3	60	178	1		2
駆		付	23				1			2			20				
警		察	76	1			33	1		10	3	1	27				
自		己	20	3			11			1	2		2		1		
そ	0)	他															
高	速 道	路								_							

■月別、事故別出場件数

令和6年1月1日~令和6年12月31日

_া		_	月,	別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区出			件	<u> </u>	605	485	530	448	514	456	666	651	537	521	497	587	6, 497
搬	ì	关	人	員	527	416		393	454	405	566		473	451	437	494	5, 614
不	搬	送	件	数	80	70	76	57	63	52	100	110	65	74	63	98	908
事	火			災	3	5	1	1	6	2	3	1		1	1	6	30
	自	然	災	害													
故	水			難				1			1	2		1	1		6
	交	通	事	故	33	28	26	25	38	36	37	34	24	36	28	38	383
別	労	働	災	害	6	1	7	7	5	7	16	11	11	4	2	8	85
/3 3	運	動	競	技	2	3	5	4	2	2	4	10	3	3	5		43
出	_	般	負	傷	102	69	91	77	79	60	79	92	99	81	106	80	1,015
ш	加			害	2	2	2	1			1	1	1	2	1		13
	笡	損	行	為	4	2	3	2	6	7	3	4	3	6	1	4	45
場	愈			病	367	301	311	274	312	288	445	426	331	319	286	389	4, 049
		転	院 搬	送	83	74	84	55	66	54	75	69	64	66	66	60	816
件	\mathcal{O}	医	師 搬	送									1	1			2
	V	資器	材等軸	俞送													
数	他	そ	\mathcal{O}	他	3			1			2	1		1		2	10
	合		計		605	485	530	448	514	456	666	651	537	521	497	587	6, 497

■曜日別、事故別出場状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

± +4.1	美田山	曜日	別	月	火	水	木	金	土	目	合 計
事故和	里別				-		-			_	
火			災	3	6	3	2	6	3	7	30
自	然	災	害								
水			難	1			1	1	1	2	6
交	通	事	故	44	67	41	58	67	57	49	383
労	働	災	害	16	9	13	15	21	7	4	85
運	動	競	技	3	2	1	4	7	7	19	43
_	般	負	傷	167	148	125	138	136	139	162	1, 015
加			害	1	3			1	3	5	13
自	損	行	為	8	7	5	11	3	3	8	45
急			病	619	577	576	546	538	592	601	4, 049
そ	転	院 搬	送	115	147	144	135	136	91	48	816
0	医	師 搬	送		1					1	2
	資暑	8材等輔	谕送								
他	そ	の	他	2	1		4	2		1	10
4	<u>}</u>	計		979	968	908	914	918	903	907	6, 497

■時間別、事故別出場状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

事故種別	火 災	自然災害	水 		労働 災宝	運動競技	一般負傷	加生	自損行為	急病	7			也	合計
時間別	八 火	日然火百	八 天此	火 迪争以	刀咧火音	连到就议	拟只伤	<i>у</i> н <u>т</u>	日1月11 河	767 793	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	디티
0~2	1		1	4	1		29	1	3	189	6				235
2~4			1	7	1		24	1	3	154	8			1	200
4~6	2			7	2		38	1	4	168	7				229
6~8	1			30	3	1	93		4	351	8			1	492
8~10	3			44	17	2	159	1	3	532	87			1	849
10~12	3		1	55	10	10	112		3	470	221			2	887
12~14	6		1	45	15	13	129		3	374	155	1			742
14~16	2		1	51	16	7	113	1	3	386	141			1	722
16~18	5			57	11	10	103		5	405	112	1		2	711
18~20	3		1	52	3		95	3	9	449	42				657
20~22	3			22	5		74	1	2	337	15			1	460
22~24	1	_		9	1		46	4	3	234	14			1	313
合 計	30	-	6	383	85	43	1, 015	13	45	4, 049	816	2		10	6, 497

■年齢区分別、事故別、傷病程度別搬送人員

令和6年1月1日~令和6年12月31日

年齢	`	事故別	火	災	自然災害	水 鄭	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
新	生.	: 児						\setminus		1		\setminus	2	2	5			4	1	
乳	幼	」 児	Ţ				5	\setminus		30	1		119	14	169		1	40	128	
少		年	=				26		31	22	1		51	9	140	1	1	35	103	
成		人		3		2	158	66	9	122	11	26	724	129	1, 250	13	167	445	624	1
高	齢	者	2	2		1	136	16	1	707		4	2, 523	660	4, 050	103	694	2, 126	1, 127	
合		計		5		3	325	82	41	882	13	30	3, 419	814	5,614	117	863	2, 650	1, 983	1

※年齢区分は次により分類

新 生 児 生後28日以内の者

乳 幼 児 生後29日以上満7歳未満の者 少 年 満7歳以上満18歳未満の者 成 人 満18歳以上満65歳未満の者

高齢者 満65歳以上の者

※傷病程度は、初診時における医師の診断(救急業務実施基準 第20条第2項の医師の所見)に基づき次により分類

死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの

重 症 傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの

中 等 症 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの

軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

■現場到着所要時間別出場件数

令和6年1月1日~令和6年12月31日

事故種別	現場到着	3分未満	3分以上 5分未満	5 分以上 1 0 分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
急	病	23	31	1, 943	1, 965	87	4, 049
交通	事故	2	6	185	176	14	383
一般	負傷	1	11	510	464	29	1,015
そ(の他	2	99	665	267	17	1,050
合	計	28	147	3, 303	2,872	147	6, 497

■収容所要時間別搬送人員

令和6年1月1日~令和6年12月31日

	収容所要 時間	分未 満	10分月20分月		20分月30分月		30分月		6 0 分月 120分末		120分	以上	合	計
事	故	うち		うち		うち		うち		うち		うち		うち
種		管外		管外		管外		管外		管外		管外		管外
急	病		19		335	6	2, 523	471	531	278	11	10	3, 419	765
交	通事故				26		239	48	59	31	1		325	79
_	般負傷		4		99	1	646	103	130	60	3	1	882	165
そ	の他		14		227	42	646	246	101	85			988	373
合	計		37		687	49	4, 054	868	821	454	15	11	5, 614	1, 382

■住民に対する応急手当普及啓発活動の状況

令和6年1月1日~令和6年12月31日

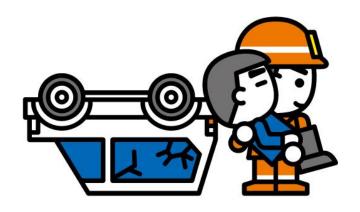
				種別	救命基礎講	韓習(1時間)	普通救命譚	韓習(3時間)	上級救命請	锋智(8時間)
市別	ij				回数	受講人員	回 数	受講人員	回 数	受講人員
	合		計		72	1, 691	59	911	1	23
南	本署	// /	観	音 寺	21	520		282		6
消防	第一	観音寺市	大	野原	4	93		14		2
署管	分署	1	豊	浜	5	131		56		2
内		小	計		30	744		352		10
			高	瀬	9	225		171		2
北	本署		11	野	5	72		20		1
消		111	豊	中	12	221		31		7
防	第二	豊	Щ	本	3	48		19		
署	分署	市	財	田	4	91		152		
管	第三		詫	間	8	260		21		1
内	第三分署 仁 /				1	30		82		1
		小	計		42	947		496		12
		管	華	· 外	居住	者		63		1

^{*}救命基礎講習(回数)にあっては講習場所の市町 *上級・普通救命講習にあっては受講者の居住地市町

救 助 統 計



香川県にて開催された令和6年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練



		3 771 . 111 E	1) \(\(\alpha\) \(\bar{\pi}\)	以任						1			1	· ·
\	\				火	災	7'5	→ l~	占	機	建	ガ	五世	その
			事	合	7-11	建	交 通	水 難	自然災害	事械	事物	欠ス	破裂事故	の 他
			故		建	物	事	事	%\ }\$	に	に	事及	本事	1世 の
			∕ 別	計	物	以	故	故	害	故よ	故よ	故び	故	事
署	別•	市町			190	外	15/4	F)A		る	る	酸	15/4	故
			出動件数	73	3		39	6		5	3	1		16
	£	信(活動件数	48	3		22	3		5	3			12
			救助人員	52	3		26	3		5	3			12
	4		出動件数	21	1		16	1			1			2
	本署	観音寺	活動件数	13	1		10				1			1
	有		救助人員	14	1		11				1			1
南			出動件数	6			4			1	1			
消	第	大野原	活動件数	4			2			1	1			
防	<u> </u>		救助人員	4			2			1	1			
署管	分		出動件数	7			5			2				
管	署	豊浜	活動件数	3			1			2				
内			救助人員	3			1			2				
			出動件数	34	1		25	1		3	2			2
		小 計	活動件数	20	1		13	_		3	2			1
		. , .	救助人員	21	1		14			3	2			1
			出動件数	7				1			1			5
		高瀬	活動件数	6				1			1			4
		1.3100	救助人員	6				1			1			4
	本署		出動件数	5	1		2	1						1
		豊中	活動件数	3	1		1	1						1
	署	57. 1	救助人員	3	1		1	1						
		三野山本	出動件数	4	1		2	1		1				
			活動件数	2			1	1		1				
			救助人員	2			1			1				
ء الـ			出動件数	8	1		3			1		1		2
北	烘		活動件数	6	1		2			1		1		2
防	第一		救助人員	6			2			1				2
署	分	財田	出動件数	3	1		2			1				1
署管内	署		活動件数	2			1							1
内			救助人員	2			1							1
			出動件数	6			2	1						3
	灶	詫間	活動件数	4			2	1						2
	第三	h r l t 1	救助人員	5			3							2
	分分		出動件数	6			3	1						2
	分署	仁尾	活動件数	5			2	1						2
		1-1-1-1-1	救助人員	7			4	1						2
		<u> </u>	出動件数	39	2		14	5		2	1	1		14
		小 計	活動件数	28	2		9	3		2	1	1		11
		√1. □I	救助人員	31	2		12	3		2	1			11
			出動件数	31			12	3			1			11
	¥	國域外	活動件数											
	垡	山地ノト	放助人員 救助人員											
			出動件数	2			0							
		速道路					2							
		习書き)	活動件数	1			1							
	<u>│</u> ※高速道路につ		救助人員	1 **\\	7		1							

※高速道路については内書きとする

活動件数とは、出動件数のうち消防機関が何らかの救助活動を行った件数である。救助人員には、消防機関と他機関が共同して救助活動中、他機関が救助した人員を含む。

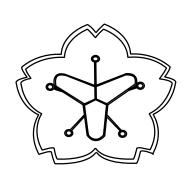
■救助技術大会出場状況

区分		· kla >	兀	<u> </u>	<u> </u>		T		全	: 国	大 会	
	大		<u></u> 会	出場			大		会	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
回数別	年	月	日	種目数	入賞数	開催地	年	月	日	種目数	入賞数	開催地
1	47 .	9.	20	1		高知市	47 .		28	1		東京都
2	48 .	8.	12	1	1	松山市	48 .	. 9.	21	1	1	大阪市
3	49 .	8.	11	1	1	松山市	49 .	. 9.	18	1		横浜市
4	50 .	8.	21	19	10	高松市	50 .	. 9.	10	2	1	東京都
5	51 .	8.	16	14	9	高松市	51 .	. 9.	10	2	2	名古屋市
6	52 .	8.	9	14	10	徳島市	52 .	. 8.	18	3	3	横浜市
7	53 .	8.	9	12	8	徳島市	53 .	. 8.	22	2	2	千葉市
8	54.	7.	31	11	10	高知市	54 .	. 8.	24	2	1	大阪市
9	55 .	7.	22	11	7	高知市	55 .	. 8.	29	2		名古屋市
10	56 .	7.	22	13	12	松山市	56 .	. 8.	19	2	1	横浜市
11	57.	7.	26	12	11	松山市	57	. 8.	19	2	2	横浜市
12	58 .	7.	28	8	8	高松市	58 .	. 8.	19	3	3	大阪市
13	59 .	8.	1	7	7	高松市	59 .	. 8.	24	1	1	名古屋市
14	60 .	7.	26	7	6	徳島市	60 .	. 8.	23	1	1	広島市
15	61 .	7.	18	6	4	徳島市	61 .		22	1	1	神戸市
16	62.	7.	30	8	8	高知市	62 .	. 8.	21	2	2	千葉市
17	63.	7.	28	6	6	高知市	63 .		19	1	1	横浜市
18	元.	7.	27	4	3	松山市	元.	. 8.	25			名古屋市
19	2.	7.	26	3	2	松山市	2 .		24	1	1	広島市
20	3.	7.	17	4	4	高松市	3 .	. 8.	28			大阪市
21	4.	7.	17	4	4	高松市	4 .	. 8.	28	1	1	千葉市
22	5.	8.	5	4	3	徳島市	5 .	. 8.	20	1	1	福岡市
23	6.	8.		6	6	徳島市	6 .		25	1	1	京都市
24	7.	7.		5	5	高知市	7.		25	1		北九州市
25	8.	7.		5	4	高知市	8 .		23			北海道
26	9.	7.		6	5	松山市	9 .		22			千葉市
27	10.	7.		6	3	松山市	10 .		28	1	1	大阪市
28	11 .	7.	22	6	4	高松市	11 .	. 8.	19	1	1	横浜市
29	12.		26	6	4	高松市	12 .			1	1	熊本市
30	13.		18	5	5	徳島市	13 .		8			東京都
31	14 .			6	5	徳島市	14 .		23			名古屋市
32	15.			3	3	高知市	15 .		28			仙台市
33	16.			4	3	高知市	16 .		_	1		神戸市
34	17 .		27	4	4	松山市	17 .			1	_	さいたま市
35	18 .		26	6	4	松山市	18 .		24	2	2	札幌市
36	19 .		26	5	5	高松市	19 .		22	1	1	東京都
37	20 .		24	5	5	高松市	20 .		29	1		北九州市
38	21 .		23	5	4	徳島市	21 .		20	2	2	横浜市
39	22 .		22	6	6	徳島市	22 .		27	1 最似まれ声	1	京都市
40	_		T	震災を考慮		高知市	1			震災を考慮		さいたま市
41	24 .		11	7	7	松山市	24 .		7	1	1	東京都
42	25.		19	6	4	松山市	25 .		I	1	1	広島市
43	26.	7.	25	7	7	高松市	J.	広島市-	上砂	災害を考慮	で中止	千葉市
44	27.	7.	24	5	5	高松市	27 .	8.	29			神戸市

■救助技術大会出場状況

区分		π	国	大 会		全	主 国	大 会	
回数別	大 年 月	会 日	出 場 種目数	入賞数	開催地	大 会 年 月 日	出 場 種目数	入賞数	開催地
45	28. 7	7.29	6	6	松山市	28 . 8 . 24	2	2	松山市
46	29. 7	7. 21	6	4	徳島市	29 . 8 . 23	1	1	仙台市
47	平成30年	年7月豪	豪雨災害を オ	考慮し中止	高知市	平成30年7月	豪雨災害を	考慮し中止	京都市
48	元. 7	7. 27	6	6	高知市	元. 8.25	1	1	岡山市
49	新型コロフ	ナウイル	マ感染拡大を	と考慮し延期	松山市	新型コロナウイル	ノス感染拡大を	を考慮し延期	北九州市
49	新型コロフ	ナウイル	マ感染拡大を	と考慮し中止	松山市	新型コロナウイル	ノス感染拡大を	を考慮し中止	北九州市
50	4. 7	7. 23	7	5	高松市	4 . 8 . 26	1	0	東京都
51	5. 7	7.29	7	6	高松市	5 . 8 . 25	2	1	札幌市
52	6. 7	7.26	6	4	徳島市	6 . 8 . 23	2	2	千葉県

消防団





■ 構成市消防団関係状況

令和7年4月1日 現在

市町 観音寺市									_	1744月1日 現住						
区分区分				人員	報	酬	区	〉 分	\	\		<u> </u>		三豊市 報酬	合計	
	条 例 定 員 713						条例定員					1,091		1,804 人		
	計 663										1,042		1,705 人			
		寸	長		1	18	30,000			寸			長	1	178,000	2 人
		副	寸	長	4	16	60,000			副	7.	1	長	2	103,000	6 人
		方	面隊	長	8	12	20,000			方	面	隊	長	7	96,000	15 人
									, ! .	副	方面	ī 隊	長	7	89,000	7 人
	実員	分	寸	長	22	9	00,000		実員	分	7	1	長	36	82,000	58 人
		副	分 団	長	22	6	50,000			副	分	寸	長	42	61,000	64 人
		部		長	32	4	4,000			部			長	77	43,000	109 人
		班		長	102	4	10,000			班			長	162	39,000	264 人
人		団		員	472	3	36,500	\ \		寸			員	708	36,500	1,180 人
員の状況等			水火災		4時間以内 4,000円 4時間を超える時は、4時間以内ご とに4,000円を加算。		員の状況等			水火災			2時間未満 2時間以上4 4時間以上8 (8時間以上 1,000円を加	時間未満 8,000 のときは、1時間当たり		
	出務	警戒		2,000			出務	鬱			戒		2,000			
	報酬	訓練			2,000			報酬	訓			練		2,000		
	<i>A</i> ,1		その他						<u> </u>		₹0 <u>,</u>)他		分団運営 一/ 方面隊通	く当たり年額 18,000	
术		消 自	防 ポ ン 動	´プ 車			21	术	保	消 自	防 ス 重		⁄ プ 車		23	44 台
ポンプ	保有状況	積	載	車			4	ポンプ	有状況	積	載		車		45	49 台
	況	小 ポ	型 動 ン	力 プ			27		況	小 ポ	型 ン	動	力 プ		48	75 台
	分		団 数				22		分	•	寸	数			36	58 分団

■消防団員の年齢状況

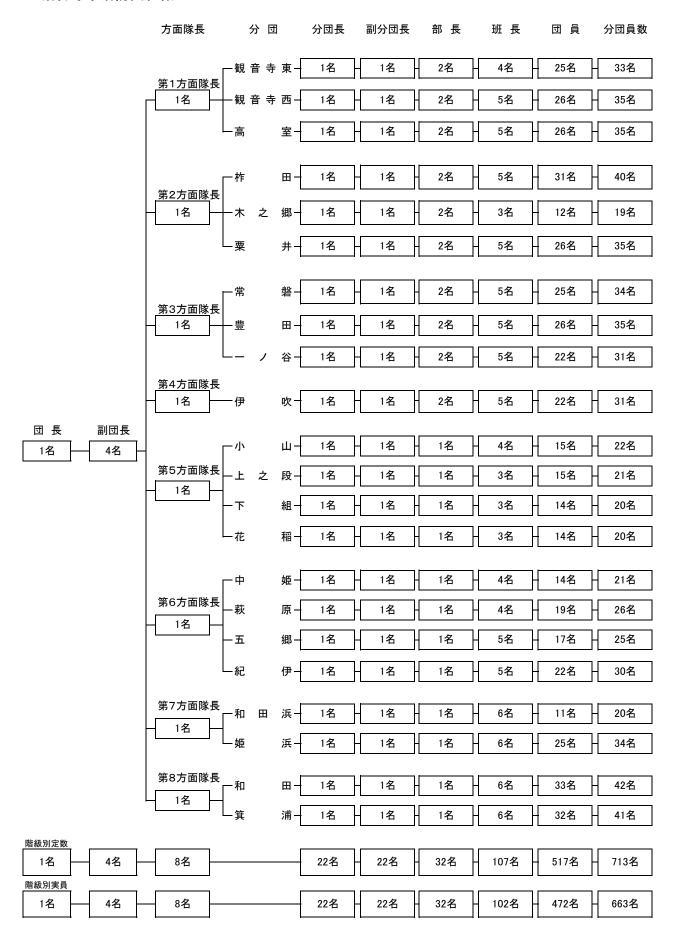
令和7年4月1日 現在

区分	定	実				年		齢		別.	J		
	Æ	天	2 0	2 0	2 5	3 0	3 5	4 0	4 5	5 0	5 5	6 0	亚
	員	員	歳	5		5	5	5	5	5	5	歳	,
分団別	其	具	未満	2 4	2 9	3 4	3 9	4 4	4 9	5 4	5 9	以 上	均
観音寺市	713	663	1	14	52	99	87	133	115	83	54	25	42.4
三豊市	1,091	1,042	3	14	52	71	123	172	216	190	94	107	46. 1
合 計	1,804	1, 705	4	28	104	170	210	305	331	273	148	132	44. 7

■消防団員の在職年数状況

令和7年4月1日 現在

区分	定	実		在		職		年			
	足	大	5	5	1 0	1 5	2 0	2 5	3 0	平	
	員	員	年未	5	5	5	5	5	年 以		
分団別	具	具	満	9	1 4	1 9	2 4	2 9	以上	均	
観音寺市	713	663	126	149	121	101	92	44	30	13.1	
三豊市	1,091	1,042	178	185	167	186	134	117	75	14.8	
合 計	1,804	1,705	304	334	288	287	226	161	105	14.0	



■観音寺市消防団管轄区域および保有資機材等

分 団 名	区 域	屯所、器具庫等	ポンプ車(台)	積載車(台)	可搬ポンプ(台)
団 本 部	市内全域	南消防署内		1	1
観 音 寺西 分 団	観音寺町[三架橋(一部)、七間橋(一部)、中洲、中新、若宮、春日、大和(一部)、上若、蛭子、南]、有明町、昭和町二丁目(一部)、昭和町三丁目、南町一丁目、南町五丁目、南町五丁目、南町五丁目、西本町一丁目、西本町一丁目、西本松町二丁目、三本松町二丁目、三本松町二丁目、三本松町二丁目、東海町一丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町四丁目、瀬町四丁目、瀬町四丁目、瀬町四丁目、瀬町四丁目、瀬町四丁目、瀬町四丁目、瀬町町	鉄骨造2階建	1		1
	観音寺町[上市、川原、幸、明星、殿、中央、柳、青柳、三架橋(一部)、駅通、七間橋(一部)、大和(一部)]、茂木町一丁目、茂木町二丁目、茂木町三丁目、茂西町一丁目、茂西町二丁目、八幡町二丁目、八幡町二丁目、八幡町二丁目、天神町二丁目、坂本町一丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、坂本町二丁目、田本町、米町一丁目、昭和町一丁目、昭和町二丁目(一部)	"	1		1
高室分団	室本町、高屋町	木造平屋建	1		1
柞 田 分 団	柞田町	鉄骨造2階建	1		1
木之郷分団	木之郷町	"	1		1
粟井分団	粟井町	"	1		1
常磐分団	流岡町、村黒町、植田町、出作町	"	1		1
豊田分団	池之尻町、新田町、原町	木造平屋建	1		1
一ノ谷分団	本大町、吉岡町、古川町、中田井町	鉄骨造2階建	1		1
伊吹分団	伊吹町	鉄骨造平屋建		2 (軽特殊含む)	5
小山分団	大野原町小山地区	鉄骨造2階建	1		1
上之段分団	〃 上之段地区	鉄骨ブロック造平屋建	1		1
下組分団	" 下組地区	鉄骨造2階建	1		1
花 稲 分 団	" 花稲地区	鉄骨造平屋建	1		1
中姫分団	" 中姫地区	鉄骨造平屋建	1		1
萩原分団	" 萩原地区	木造平屋建	1		1
五郷分団	" 五郷地区	鉄骨造2階建	1		1
紀伊分団	" 紀伊地区	木造平屋建	1		1
和田浜分団	豊浜町和田浜地区	鉄骨ブロック造2階建	1		1
姫 浜 分 団	" 姫浜地区	鉄骨造2階建	1		1
和田分団	" 和田地区	11	1		1
箕 浦 分 団	" 箕浦地区	"	1		1
	計		21	3	27

観音寺市消防団の沿革

平成17年10月11日、観音寺市、三豊郡大野原町及び三豊郡豊浜町が市町合併し、新たに「観音寺市」を設置する。それに伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団及び豊浜町消防団を統合し、新たに「観音寺市消防団」を設置する。

平成17年 10月11日 市町合併に伴い、新たに「観音寺市消防団」となり、組織は8方面隊23分 団、定員735人とする 初代団長 近藤辰一

12月10日 日本消防協会長より表彰旗を受賞

平成18年 9月17日 香川県消防操法大会において和田分団がポンプ車の部で出場し、優勝する

10月19日 第20回全国消防操法大会において柞田分団がポンプ車の部で出場し、総合10位優秀賞を受賞する

平成19年 5月21日 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長に就任

9月16日 香川県消防操法大会において上之段分団が小型ポンプの部で出場し、優秀賞を受賞する

10月25日 小山分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

平成20年 3月 7日 自治体消防制度60周年記念式典において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する

3月19日 観音寺東分団、常磐分団、姫浜分団の各消防屯所を新築移転する

4月 1日 組織改編により統括副団長・指導部長の階級を廃止し、副団長・方面隊長体制とする

8月29日 紀伊分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

9月14日 香川県消防操法大会において粟井分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する

平成21年 3月26日 花稲分団の消防屯所を新築移転する

5月20日 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長を退任

9月13日 香川県消防操法大会において五郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する

11月24日 観音寺西分団、上之段分団、姫浜分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を 新規更新する

平成22年 4月 1日 組織改編により本部分団を解散し、定員713人で編成する 第2代団長 大西光雄

9月12日 香川県消防操法大会において木之郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する

9月17日 下組分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

平成23年 9月11日 香川県消防操法大会において和田浜分団がポンプ車の部で出場し、優勝 する

9月13日 一ノ谷分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

平成24年 9月 9日 香川県消防操法大会において小山分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞 を受賞する

9月12日 観音寺東分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

平成25年 9月 8日 香川県消防操法大会において常磐分団がポンプ車の部で出場し、準優勝 する

10月22日 大西光雄団長が、香川県消防協会会長に就任

11月 6日 豊田分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

3月20日 中姫分団の消防屯所を新築移転する 平成26年 9月14日 香川県消防操法大会において萩原分団が小型ポンプの部で出場し、優勝 2月 6日 花稲分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 平成27年 2月16日 常磐分団に救助資機材搭載型消防ポンプ車(消防庁からの無償貸付車両) を新規更新する 9月13日 香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で出場し、準優勝 する 10月 1日 五郷分団の消防屯所を新築移転する 4月 1日 伊吹防災センターを新築し、伊吹分団屯所がセンター内へ移転する 平成28年 9月18日 香川県消防操法大会において姫浜分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞 を受賞する 9月16日 和田分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 12月28日 粟井分団の消防屯所を新築移転する 平成29年 3月 7日 日本消防協会定例表彰式において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する 3月 8日 消防功労者消防庁長官定例表彰式において消防庁長官より竿頭綬を受賞 する(三観広域行政組合消防本部と連名) 4月 1日 各方面隊の名称変更を行う 第3代団長 田中 健一 8月 3日 中姫分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 9月10日 香川県消防操法大会において下組分団がポンプ車の部で出場し、準優勝 11月 1日 下組分団の消防屯所を新築移転する 平成30年 7月27日 粟井分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 9月 9日 香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞 を受賞する 平成31年 2月 3日 柞田分団の消防屯所を新築移転する 4月 1日 第4代団長 矢野 幹和 9月 8日 香川県消防操法大会において中姫分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞 令和元年 を受賞する 9月27日 高室分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 2月14日 豊田分団の消防屯所を新築移転する 令和2年 12月11日 萩原分団の消防屯所を新築移転する 12月15日 萩原分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 3月20日 柞田分団に救助資機材搭載型消防ポンプ車(消防庁からの無償貸付車両) 令和3年 を新規更新する 令和4年 5月31日 高室分団の消防屯所を新築移転する 令和4年 6月2日 香川県知事表彰 優良消防団表彰旗受賞 令和4年 11月25日 木之郷分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する 令和5年 2月14日 紀伊分団の消防屯所を新築移転する 令和5年 4月1日 第5代団長 豊田 敏計 令和5年 9月10日 香川県消防操法大会において紀伊分団がポンプ車の部で出場し、準優勝 令和7年 1月31日 木之郷分団の消防屯所を新築移転する

旧観音寺市消防団の沿革

本市の消防は、明治初期より各集落において消防の自主組織があり消火に従事していたが明治23年、町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。

その後昭和14年の警防団への改組、さらに昭和22年勅令によって「消防団令」が施行され消防団として 発足、その後合併等を経て現在に至っている。

寛延元年 観音寺村に大火、500戸が全焼す。

文化 4年 仮屋地区より出火、折からの季節風に町内九分通り焼失す。

慶応 2年 8月大洪水あり、被害甚大、世人寅年の大洪水と称す。

明治 6年 西讃竹槍騒動、寺院・庄屋等のめぼしい建物が焼き打ちさる。

明治10年 川北庄の合田為七が身内20名で火消愛宕組を組織し義勇消防が生まれた。

明治12年 加茂田地区の軽便連中により火消一心社が組織された。

明治23年 町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。二分し、東部は人

力車夫、西部は沖仲仕、各30名で組織す。

大正 8年 伊吹島に消防組と別に、火の元用心と出漁時の地区を守るため火防団(女子)が誕

生した。

昭和14年 4月 警防団令の公布により消防組は解散し、新たに警防団を組織し消防業務の他、防

空救護の業務を附加される。

昭和23年 3月 消防組織法が施行され、消防行政は従来の警察制度から分離独立し、警防団は廃

止となり再び消防団として発足した。

昭和25年 国家消防庁より表彰を受ける。

昭和26年11月 四国地区で最初のジープ型消防車2台を購入。

昭和28年 国家消防本部長より優良消防団として竿頭綬受賞。

昭和29年 日本消防協会長より優良消防団として竿頭綬受賞。

昭和30年 1月 第一次合併が行われ(観音寺町・柞田・常磐・高室村)市制の施行と同時に1団7ヶ

分団 448 名に編成をする。

1月 1日 初代団長 三宅 省一(前職、観音寺町消防団長)

3月 国家消防本部長より優良消防団として表彰旗受賞。

4月 第二次合併が行われ(豊田・栗井村・紀伊村の一部木之郷)1 団 10 ヶ分団 671 名に

編成替をする。

昭和31年 9月 第三次合併(一ノ谷・伊吹村)1団12ヶ分団705名に編成替をし第12分団(伊吹島)

に女子団員40名を配置。

昭和32年 5月 香川県操法大会において、第7分団(高室)が手引の部で優勝。

昭和33年 9月 四国地区消防操法大会において、第7分団(高室)が準優勝。

昭和35年 4月 消防団組織改革を行い、1 団 10ヶ分団 443 名とする。

(内、伊吹女子消防団員 20 名)

昭和41年10月 1日 第2代団長 牧野 国光

昭和47年 4月 広域消防発足に伴い消防団事務を組合消防に委託する。

昭和48年 4月 1日 第3代団長 植松 利

昭和53年 5月 香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞。

昭和56年 2月 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞。

昭和57年10月 第8回全国消防操法大会に第5分団(高室)出場する。

昭和58年 4月 1日 第4代団長 浜田 清

昭和59年 3月 消防庁長官より優良消防団として竿頭綬受賞。

昭和62年 4月 1日 第5代団長 安藤 安雄

昭和63年 4月 消防団組織改編により本部分団を増設1団11ヶ分団

370名で4方面隊制とする。

平成 2年 9月 香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で準優勝。

平成 3年 4月 1日 第6代団長 高橋 努

平成 4年 4月 1日 消防団サイレン吹鳴装置運用開始。

9月20日 香川県消防操法大会に伊吹分団女子団員が出場する。

平成 5年 2月16日 日本消防協会定例表彰式において、特別表彰「まとい」受賞。

4月 1日 第7代団長 清水 宏郎

7月 第48回国民体育大会に警備出場する。

11月 自治体消防45周年記念大会参加。

平成 6年 2月 日本消防協会長より優良消防団として竿頭綬受賞。

9月18日 香川県消防操法大会において観西分団がポンプ車の部で優勝。

平成 7年 1月 1日 第8代団長 秋山 友義

9月17日 香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で準優勝。

平成 9年 4月 1日 観音寺市防災行政無線運用開始。

4月 1日 第9代団長 篠原昭元

平成10年 9月17日 香川県消防操法大会において粟井分団がポンプ車の部で準優勝。

平成11年 4月 1日 第10代団長 中塚 敏夫

9月12日 香川県消防操法大会に常磐分団が出場する。

平成12年 9月10日 香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で準優勝。

平成13年 4月 1日 第11代団長 近藤 辰一

9月 9日 香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で準優勝。

平成14年 9月15日 香川県消防操法大会において伊吹分団女子部が小型ポンプの部で優秀賞及び特別表彰敢闘賞を受賞。

平成15年 5月23日 観音寺西分団屯所を防災基盤整備事業により観音寺西防災センターとして、観音寺市観音寺町甲2579番地1に新築移転(建築面積55.0㎡・延べ面積110.0㎡・敷地面積561㎡)した。

9月14日 香川県消防操法大会において観音寺東分団がポンプ車の部で準優勝。

11月 自治体消防55周年記念大会参加

平成16年 9月12日 香川県消防操法大会において観音寺西分団がポンプ車の部で準優勝。

平成17年 9月18日 香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で優秀賞。

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、観音寺市消防団となる。

旧大野原町消防団の沿革

昭和30年に大野原村は萩原村、五郷村と合併し、続いて紀伊村とも合併が成り大野原町となった。同時 に消防団も合併の精神に則って団が結成され、571名となった。

翌昭和31年には、団員の減少による経費の節減を行い、消防機械導入により消防力を充実させるよう461名に整理し、機構改革を行った。

その後、社会の経済成長に伴って農村にも急激な変化が起こり、人口は減少傾向をたどり、在町消防団員も減少を見るに至った。

この事態を解消するため、昭和40年には当時の21ヶ分団461名を行政区画に合わせた8ヶ分団243名に、新しく編成替えを行い、消防の機動化を図ることとした。

さらに昭和44年に団員を193名に整理、この期昭和47年には消防団本部を設置し、役場消防隊7名を配置、さらに昭和50年には本部5名増強し、総勢205名として編成替えを完了し、現在の消防組織の基盤を確立した。

昭和22年 9月18日 初代団長 平田 庫太

昭和40年 2月 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和43年 4月 4日第2代団長 小西 良隆

昭和51年 4月 4日第3代団長 石川 弘

昭和56年 3月 消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和58年 5月 香川県知事より表彰旗受賞

昭和59年 2月 日本消防協会より竿頭綬受賞

昭和61年 5月12日 第4代団長 福田 清孝

昭和63年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞

平成 元年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞

平成 2年 9月 香川県消防操法大会優勝

10月 第12回全国消防操法大会敢闘賞

平成 9年 2月 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成10年 4月 1日第5代団長 守谷 彰介

平成11年 9月 香川県消防操法大会優勝

平成15年 3月 消防庁長官より地域活動表彰受賞

4月 1日第6代団長 大西 俊一

平成17年 2月 消防庁長官より褒状受賞(台風第21号による災害)

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、 観音寺市消防団となる。

旧豊浜町消防団の沿革

```
公設姫之江村消防組を設置
明治27年
明治32年 2月10日 町制施行により豊浜町消防組になる
昭和14年 4月
           警防団令の公布により豊浜町警防団に改組
昭和22年10月
           消防団令の施行により豊浜町消防団に改組
昭和28年 2月11日 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
昭和30年 4月 1日 町村合併により豊浜町消防団と和田村消防団が合併し、豊浜町消防団となり現在に
           至る。
           初代団長 高森 菊太郎
昭和31年 3月 1日 消防庁長官より竿頭綬受賞
           香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
     12月26日 第2代団長 横内 勇三郎
昭和33年 3月 7日 消防庁長官より優良消防団として表彰旗受賞
昭和34年12月26日 第3代団長 柴川 栄
昭和40年12月26日 第4代団長 大廣 久市
昭和43年12月26日 第5代団長 山口 元春
昭和45年 5月21日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
     12月 1日 本部分団を設置し、役場団員14名を配備
          消防ポンプ自動車A - 1級を第3分団に配備
昭和48年12月
昭和49年12月26日 第6代団長 宝田 昇
昭和50年
           香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
昭和51年 3月 3日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和52年12月 消防ポンプ自動車A-2級を第1分団に配備
     12月26日 第7代団長 大廣 敏一
           可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
昭和53年 9月
           可搬ポンプB - 3級を第2分団に配備
昭和54年 3月
           香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
昭和55年
昭和57年 5月29日 香川県知事より竿頭綬受賞
昭和58年12月26日 第8代団長 合田 綾和
昭和60年 2月 2日 愛媛県川之江市より山林火災発生
           箕浦地区町有林へ延焼 142ヘクタール焼失
           可搬ポンプB - 3級を第1·第3·第4分団に配備
      3月
           香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
           消防ポンプ自動車A - 2級を第2分団に配備
     11月
           可搬ポンプB-3級を本部分団に配備
平成 元年 4月
    12月26日 第9代団長 横山 実雄
平成 2年10月
           消防ポンプ自動車A - 2級を第4分団に配備
           消防ポンプ自動車A - 2級を第3分団に配備
平成 4年10月
平成 5年 4月 1日 第10代団長 久保 彰市
平成 6年 2月15日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
      5月26日 香川県知事より竿頭綬受賞
      5月26日 香川県消防協会長より竿頭綬受章(3年間無火災 第4分団)
           可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
      9月18日 香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
平成 7年 1月 8日 三豊地区消防連合会会長より、 学頭綬受賞(1年間無火災)
      6月 6日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞(3年間無火災 第3分団)
平成 8年 5月28日 香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞
      9月28日 消防ポンプ自動車A - 2級を第1分団に配備
平成11年 2月 9日 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
      4月 1日 第11代団長 佐野 清一
平成12年 1月10日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬受賞(1年間無火災)
      2月18日 豊浜町箕浦魚見山山林火災発生
           箕浦地区の町有林など 70ヘクタール焼失
```

平成14年 3月 6日 可搬ラビット消防ポンプP-382Sを第2分団に配備

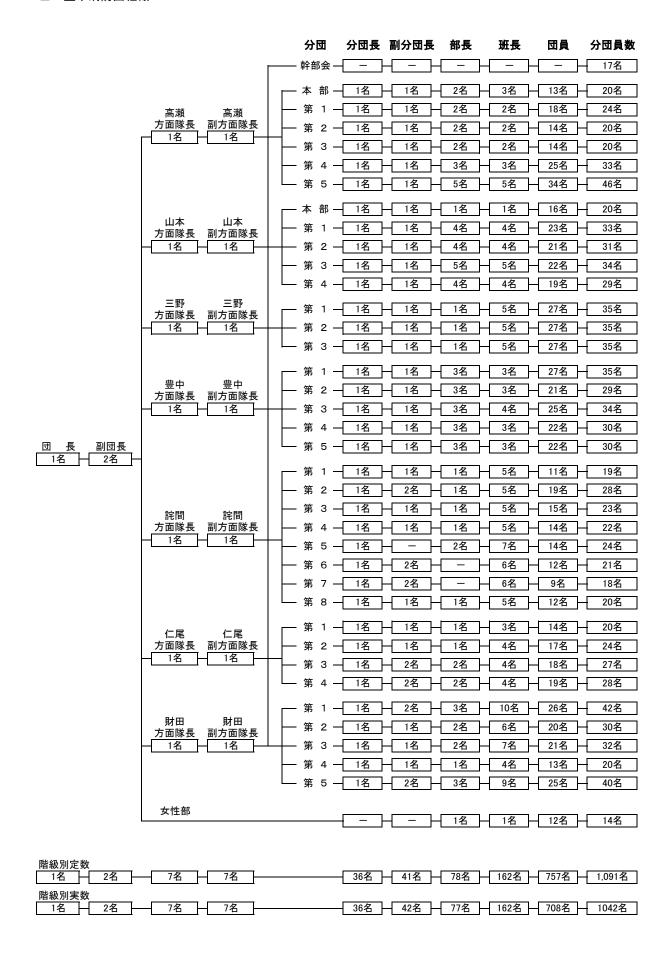
平成15年 9月14日 香川県消防操法大会出場 優勝

12月21日 モリタ式CD-1型ポンプ車を第4分団に配備

12月24日 ホースカーを第2分団に配備

平成17年4月1日 第12代団長 田中 健一

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、 観音寺市消防団となる。 ■三豊市消防団組織 令和7年4月1日 現在



N0	分団名	区域	屯所、器具庫等	ポンプ車 (台)	積載車 (台)	可搬ポン プ(台)
1	高瀬方面隊本部分団	 高瀬町内全域	鉄筋コンクリート	2		
2	高瀬方面隊第1分団	高瀬町上高瀬、高瀬町新名	鉄骨造 平屋		1	1
	高瀬方面隊第2分団	高瀬町上勝間、高瀬町下勝間	鉄骨造 平屋		1	1
4	高瀬方面隊第3分団	高瀬町比地中、高瀬町比地	鉄骨造 平屋		1	1
5	高瀬方面隊第4分団	高瀬町佐股、高瀬町羽方	鉄骨造 平屋 鉄骨造 平屋 鉄骨造 平屋	1	2	2
6	高瀬方面隊第5分団	高瀬町上麻、高瀬町下麻、高瀬町上勝間	鉄骨造 平屋 鉄骨造 平屋 鉄骨造 平屋 鉄骨造 平屋	1	3	3
7	山本方面隊本部分団	山本町内全域	鉄骨造 二階	1		
8	山本方面隊第1分団	山本町辻	鉄骨造 平屋		2	2
9	山本方面隊第2分団	山本町河内	コンクリートブロック造 鉄骨造 平屋 木造		3	3
10	山本方面隊第3分団	山本町大野、山本町財田西	コンクリートブロック造 木造 コンクリートブロック造 コンクリートブロック造 鉄骨造 平屋		5	5
11	山本方面隊第4分団	山本町神田	鉄骨造 平屋 コンクリートブロック造 コンクリートブロック造		3	3
	三野方面隊第1分団	三野町大見	鉄骨造 平屋 鉄骨造 二階(久保谷)	1	1	1
	三野方面隊第2分団	三野町下高瀬	鉄骨造 平屋	1		1
14	三野方面隊第3分団	三野町吉津	鉄骨造 平屋	1	1	1
15	豊中方面隊第1分団 -	豊中町桑山	鉄骨造 平屋 鉄筋コンクリート 二階 鉄骨造 平屋	1	2	2
16	豊中方面隊第2分団	豊中町比地大	鉄筋コンクリート 平屋	1		
	豊中方面隊第3分団	豊中町笠田	鉄筋コンクリート 平屋	1		
18	豊中方面隊第4分団	豊中町上高野	鉄骨ブロック 二階	1		
19	豊中方面隊第5分団	豊中町本山	鉄筋コンクリート 二階 鉄骨造 一階	1	1	1
20	詫間方面隊第1分団	詫間町松崎	鉄骨造 平屋	1		
21	詫間方面隊第2分団	詫間町詫間(新的場、池尻、ほか)、詫間町志々島	鉄筋コンクリート 二階 木造 平屋	1		2
22	詫間方面隊第3分団	詫間町詫間(天満、浜田ほか)	木造 平屋	1		
23	詫間方面隊第4分団	詫間町詫間(須田、新浜)、詫間町香田	鉄骨造 平屋	1		
24	詫間方面隊第5分団	詫間町大浜(名部戸ほか)	木造 平屋 鉄骨造 二階	1	1	1
	詫間方面隊第6分団	詫間町大浜(船越、伊砂子)、詫間町積	鉄骨造 平屋 鉄骨造 二階		2	2
	詫間方面隊第7分団	詫間町箱、詫間町生里	木造、鉄骨造 平屋		2	2
	詫間方面隊第8分団 仁尾方面隊第1分団	詫間町粟島(潟、上新田)	木造 二階、木造 平屋 軽量鉄骨 二階		2	2
	1_尾万面隊第1分回 仁尾方面隊第2分団	仁尾町曽保 仁尾町(天王、新開、草木、仁尾浜ほか)	軽重鉄骨 一階 鉄筋コンクリート 二階	1	1	1
30	仁尾方面隊第3分団	仁尾町(峠、片山、千代、宿入、中津賀、境目ほか)	鉄骨造 二階	1	1	1
31	仁尾方面隊第4分団	仁尾町(北山、古江、美浜、家の浦ほか)	鉄骨造 平屋 鉄筋ストレート 平屋	1	1	1
32	財田方面隊第1分団	財田町財田上(昼丹波、別所、黒川、野田原、北地、山才、山王)	木造 平屋 木造 平屋 木造 平屋		3	3
33	財田方面隊第2分団	財田町財田上(正宗、石野、戸川、芋尾、帰来、荒戸)	木造 平屋 木造 平屋		2	2
	財田方面隊第3分団	財田町財田上(雉子尾、久保の下、森、我久)	鉄筋コンクリート 平屋 木造 平屋	1	1	1
35	財田方面隊第4分団	財田町財田中(北野、中元、本篠、山岡、宮尾)	木造 平屋	1		ļ
36	財田方面隊第5分団	財田町財田中(長野、林明、泉平、入樋、吉田、大野地、朝日)	鉄骨造 平屋 木造 平屋		3	3
1 -		合計		23	45	48

三豊市消防団の沿革

平成18年1月1日、香川県三豊郡の高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町の7町が合併し三豊市が誕生した。これに伴い7町の消防団も統合・再編し、旧町の消防体制を残した7方面隊、44分団、定員1,091名の三豊市消防団が発足した。

```
1月 1日 7町合併による三豊市誕生と同時に、旧7町の消防団が統合し三豊市消防団が発足。
平成18年
           初代団長 藤原 俊治
      6月 5日 香川県知事より竿頭綬受賞
平成19年
      2月23日 仁尾方面隊第7分団 消防ポンプ車を更新
平成20年
平成21年 9月17日 高瀬方面隊本部分団消防ポンプ車を更新
平成21年 9月28日 詫間方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
平成21年 10月25日 三野方面隊第1分団(久保谷)小型ポンプ付積載車を更新
平成21年 10月25日 仁尾方面隊第6分団小型ポンプ付積載車を更新
平成22年 2月25日 消防庁長官より消防団等地域活動表彰受賞
平成22年 3月28日 三野方面隊第1分団消防ポンプ車を更新
平成22年 3月31日 消防庁より救助資機材搭載型消防車両無償貸付
平成22年 4月 1日 第2代団長 田中 保志
平成22年 10月 3日 山本方面隊第3分団4部小型ポンプ付積載車を更新
平成22年 10月17日 仁尾方面隊第5分団小型ポンプ付積載車を更新
平成23年 3月24日 詫間方面隊第1分団消防屯所建替
平成23年 10月 8日 詫間方面隊第6分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 10月 8日 詫間方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 10月 8日 詫間方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 10月 8日 高瀬方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 10月23日 山本方面隊第1分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 10月23日 山本方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成23年 11月 3日 山本方面隊第4分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成24年 9月 9日 香川県消防操法大会(ポンプの部)豊中方面隊優勝
平成24年 11月18日 高瀬方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成24年 11月24日 豊中方面隊第3分団消防ポンプ車を更新
平成25年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプの部) 詫間方面隊優勝
平成25年 3月10日 三野方面隊第1分団久保谷消防屯所建替
平成25年 12月 1日 高瀬方面隊第4分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成25年 12月 1日 山本方面隊第3分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成26年 4月 1日 第3代団長 藤川 淳一
平成26年 11月 9日 山本方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成26年 11月 9日 財田方面隊第2分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成27年 3月 1日 詫間方面隊第1分団消防ポンプ車を更新
```

平成27年 9月13日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)財田方面隊優勝 平成27年 12月13日 山本方面隊第2分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

```
平成27年 12月13日 財田方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
平成27年 12月23日 豊中方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
平成27年 12月23日 高瀬方面隊第2分団消防屯所建替
平成28年 9月18日 香川県消防操法大会(ポンプの部)高瀬方面隊準優勝
平成28年 11月11日 仁尾方面隊第2分団消防ポンプ車を更新
平成28年 11月29日 高瀬方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成28年 11月29日 三野方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成28年 12月 7日 三野方面隊第3分団消防屯所建替
平成29年 9月10日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)山本方面隊優勝
平成30年 3月 4日 財田方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成30年 3月 4日 財田方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新
      3月17日 豊中方面隊第2分団消防ポンプ車を更新
平成30年
      4月 1日 第4代団長 鈴木 朝則
平成30年
平成30年 9月16日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)仁尾方面隊優勝
平成31年 1月12日 山本方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
平成31年 3月 8日 消防庁長官より竿頭綬受賞
平成31年 3月16日 仁尾方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
平成31年 3月17日 財田方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和元年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部) 詫間方面隊準優勝
令和元年 11月13日 第24回全国女性消防操法大会で女性部が優良賞(11位)を受賞
令和元年 12月 8日 高瀬方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和元年 12月15日 仁尾方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和2年
      2月19日 消防庁より消防ポンプ自動車無償貸付(高瀬方面隊第4分団に配備)
      3月 7日 高瀬方面隊第5分団に消防ポンプ車を配備
令和2年
令和2年
      3月15日 豊中方面隊第5分団消防ポンプ車を更新
令和2年
      3月29日 仁尾方面隊第4分団消防屯所新築
令和2年
     12月 4日 日本消防協会より教育広報事業防災活動車交付
令和3年
      2月28日 財田方面隊第1分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
      2月28日 財田方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
令和3年
      3月 5日 日本消防協会より表彰旗受賞
令和3年
      4月 4日 三野方面隊第3分団消防ポンプ車を更新
令和3年
      4月 7日 詫間方面隊第2分団消防ポンプ車を更新
令和3年
      4月11日 三野方面隊第2分団消防屯所新築
令和3年
令和3年
     12月19日 財田方面隊第5分団に消防ポンプ車を配備
令和3年
     12月26日 財田町防災センター新築
      3月 4日 日本消防協会より竿頭綬受賞
令和4年
令和4年
      3月20日 詫間方面隊第7分団消防屯所新築
令和4年
      4月 1日 第5代団長 塩田 清勝
      4月 3日 財田方面隊第6分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
令和4年
令和4年
     4月17日 山本方面隊第2分団消防屯所新築
令和4年
     9月11日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)三野方面隊準優勝
```

令和4年 12月18日 詫間方面隊第3分団消防ポンプ車を更新

令和5年 1月15日 山本方面隊第2分団4部小型動力ポンプ付積載車を更新

令和5年 4月 1日 第6代団長 江川 肇

令和5年 4月16日 仁尾方面隊第3分団消防屯所 新築

令和5年 6月 8日 香川県知事より表彰旗 受章

令和5年 6月10日 三野町防災センター 新築

令和5年 12月10日 詫間方面隊第5分団消防ポンプ車を更新

令和5年 12月24日 財田方面隊第5分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

令和6年 6月2日 山本方面隊第4分団消防屯所新築

令和6年 6月2日 詫間方面隊第6分団消防屯所新築

令和6年 12月7日 高瀬方面隊第5分団5部小型動力ポンプ付積載車を更新

令和7年 3月30日 三野方面隊第2分団消防ポンプ車を更新

旧高瀬町消防団の沿革

江戸の「いろは」47組の火消役のはなばなしさは、あまりにも有名であるが、明治以前の高瀬町には、 それらしきものは見当たらない。おそらく1894年(明治24年)の勅令により、消防組規則が公布され、 続いて同年5月、県令によってその細則が定められ、初めて消防組として組織ができたのである。

当時の消防組には、組頭・小頭・消防手の職種があり、腕用ポンプ1台に消防手が約15名程度配置され、以来1939年(昭和14年)3月まで、警察署長の指揮下のもとに義勇消防として、献身的な奉仕活動が続けられている。

同年4月、消防組はしだいに戦争体制化の進む中で、民間防空自治団体である防護団と合併して「警防団」と改め、第2次世界大戦中には大いに活躍した。

大戦後の1947年(昭和22年)消防組織法により、新しい今日の消防体制ができあがった。1955年(昭和30年)3月31日に、旧5ヶ村(上高瀬・勝間・比地二・二の宮・麻)が合併し、ここに高瀬町消防団が誕生したのである。しかしながら、合併後の機構は、旧村の色彩が強いこともあり、1959年(昭和34年)5月、その機構を改め、定員も350名とした。さらに、1964年(昭和39年)4月、定員183名と改正して現在に至っている。

昭和30年 3月31日 初代団長 森 久四郎

昭和34年 5月10日 第2代団長 藤田 角良

昭和35年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。

6月 1日 第3代団長 真鍋 常三郎

10月25日 第4代団長 豊嶋 正則

昭和36年10月30日第5代団長 秋山 喜代矩

昭和38年 9月 4日第6代団長 白井 義雄

昭和46年 2月20日 日本消防協会長より表彰旗を授与される。

6月 4日 第7代団長 中岡 茂喜

昭和48年12月 1日 第8代団長 三好 秀義

昭和53年 9月23日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞

昭和58年 5月26日 香川県知事より竿頭綬を授与される。

9月11日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞

昭和60年 3月 6日 消防庁長官より竿頭綬を授与される。

昭和62年 2月10日 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。

平成 4年 9月20日 香川県消防操法大会出場 優秀章受賞

10月14日 第9代団長 羽野 松夫

平成 8年10月14日 第10代団長 石井 貞男

平成12年10月14日第11代団長 入江 謙次

平成13年 9月 9日 香川県消防操法大会出場 優勝(ポンプ車の部)

平成14年 5月 1日 第12代団長 藤原 俊治

5月31日 香川県知事より竿頭綬を授与される。

平成17年 2月10日 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。

旧山本町消防団の沿革

昭和30年4月1日香川県三豊郡辻村、河内村、財田大野村及び神田村が合併して新たに山本村が設置されるに伴い、旧村毎に置かれていた消防団も合併して、山本村消防団が設立された。

昭和30年 4月 初代団長 田鍋 要 団員350名

昭和31年 5月 5日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞

昭和32年11月 3日 町制施行に伴い山本町消防団と改称

昭和33年 4月 第2代団長 金子 信義 団員323名

昭和34年 5月23日 香川県知事より竿頭綬受賞

昭和35年 3月 8日 国家消防本部より功労章受賞(伊勢湾台風水害防止活動)

昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

昭和39年 6月 5日 団員155名に改正

昭和43年 2月 第3代団長 正田 実 団員155名

昭和45年 3月 3日消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和49年 4月 7日第4代団長 正田 精一 団員155名

昭和50年 2月25日 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和52年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞

昭和53年 9月 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 優勝

10月 第6回全国消防操法大会に出場する。

昭和59年 5月26日 香川県知事より表彰旗受賞

昭和63年 3月 日本消防協会長より特別表彰纒受賞

平成 3年 2月13日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成 7年 4月 1日第5代団長 田渕 恒雄 団員155名

平成10年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞

平成13年 4月 1日 第6代団長 大藤 春雄 団員155名

平成14年 9月15日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 準優勝

旧三野町消防団の沿革

明治27年 公設消防組を設置 消防組を警防団に改める。 昭和14年 昭和22年 大見村消防団、下高瀬村消防団、吉津村消防団が発足 町村合併により三野村消防団が発足 昭和30年 4月 1日 初代団長 藤田 恒芳 香川県消防協会長より竿頭綬受賞 昭和31年 香川県消防操法大会 優勝 四国地区消防操法大会 優勝 昭和33年 第3分団に消防ポンプ自動車を配置 昭和34年 香川県消防協会長より竿頭綬受賞 昭和35年 4月 1日 第2代団長 山下 喜平 昭和36年 4月 1日第3代団長 石井 栄 9月 1日 町制施行に伴い三野町消防団が発足 香川県消防協会長より竿頭綬受賞 昭和37年 昭和38年 4月 1日第4代団長 小野 好春 昭和39年 6月 1日 第5代団長 小浜 貢 昭和40年 日本消防協会長より竿頭綬受賞 第2分団に消防ポンプ自動車を配置 昭和41年 6月 1日 第6代団長 図子 繁太郎 昭和43年 6月 1日 第7代団長 小野 義秋 昭和46年 第1分団に消防ポンプ自動車並びに可搬ポンプ付積載車を配置 昭和47年 6月 1日 第8代団長 松田 邦利 12月 1日 第9代団長 吉田 繁義 香川県消防操法大会 最優秀賞受賞 昭和52年 昭和53年 香川県知事より竿頭綬受賞 6月 1日 第10代団長 芳地 邦雄 香川県消防操法大会 最優秀賞受賞 昭和56年 昭和59年 6月 1日 第11代団長 磯崎 福美 昭和60年 2月 8日 日本消防協会長より表彰旗受賞 昭和61年 3月 5日消防庁長官より竿頭綬受賞 昭和63年 6月 1日 第12代団長 藤田 武徳 平成 元年 香川県消防操法大会 優勝 平成 6年 6月 1日 第13代団長 和泉 保良 平成 7年 2月10日 日本消防協会長表彰 竿頭綬受賞 平成 9年 6月 1日 第14代団長 小林 寿一 平成10年 9月13日 香川県消防操法大会 優秀賞受賞 平成12年 6月 1日 第15代団長 丸岡 功 平成14年 6月 1日 第16代団長 小野

平成16年 3月 4日 消防庁長官より表彰旗受賞

平成17年 6月1日 第17代団長 嶋田 勲

香川県知事より竿頭綬受賞

旧豊中町消防団の沿革

大正 7年 桑山村・笠田村に消防組が創設され、集落ごとにグループを作り水火災に出動し活

躍を始めた。

昭和14年 桑山村・比地大村・笠田村・上高野村・本山村の五ヶ村がそれぞれ消防組から警防

団に改称

昭和26年 昭和22年に笠田村警防団が消防組に改称したのをはじめ、五ヶ村が消防団に改称

昭和29年 5月 7日 香川県消防協会長から第3分団竿頭綬受賞

昭和30年 五ヶ村が合併し、豊中村が誕生。これに伴い同年10月2日に豊中村消防団として発足。

10月 2日 初代団長 合田 始

昭和31年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

昭和32年 1月 1日豊中町消防団に改称

3月 1日消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和35年 2月11日 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和36年 5月25日 香川県消防協会長より第3分団竿頭綬受賞

昭和37年 5月23日 香川県知事より竿頭綬受賞

昭和39年 5月14日 香川県消防協会長より第1分団竿頭綬受賞

昭和41年 5月31日 香川県消防協会長より第4分団竿頭綬受賞

昭和42年 5月10日 香川県消防協会長より第2分団竿頭綬受賞

9月25日 第2代団長 石井 登名八

昭和43年 5月14日 香川県消防協会長より第5分団竿頭綬受賞

昭和50年11月 8日第3代団長 鳥取 武雄

昭和61年 5月24日 香川県消防協会長より第2分団が5ヶ年無火災表彰受賞

昭和62年11月8日第4代団長大江豊

昭和63年 3月 9日日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成 2年 5月22日 香川県消防協会長より第4分団が3ヶ年無火災表彰受賞

平成 3年 3月 6日 消防庁長官より表彰旗受賞

9月20日 第3分団に消防ポンプ自動車を更新配備

11月 8日 第5代団長 則包 晴幸

平成 4年 6月 4日 香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞

平成 5年 3月29日 第4分団に消防ポンプ自動車を更新配備

5月28日 香川県知事より表彰旗受賞

11月15日 第2分団に消防ポンプ自動車を更新配備

平成 7年 6月 6日 香川県知事より竿頭綬受賞

11月13日 第5分団に消防ポンプ自動車を更新配備

平成 9年 9月20日 第3分団に小型動力ポンプ付積載車を更新配備

平成12年 4月 1日 第6代団長 横田 尚和

平成14年 5月31日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成16年 2月13日 日本消防協会長より表彰旗受賞

平成17年 4月 1日 第7代団長 平尾 武勇

9月18日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝

旧詫間町消防団の沿革

江戸時代は、村内に火災が発生した場合、寺の鐘を乱打して一般に警報するのを慣例とし、一般の人は、 鳶口・とうぐわなどを持って消火にあたった。明治20年消防組が発足し、集落ごとに自衛的に小型ポンプ 1台を中心にグループを作り、水火災に出動した。大正のはじめそれを統合し、第1・2・3・4の分団に分 けて消防組織がととのった。

昭和 3年 消防力の向上充実を図るため、公設消防組を改組し、昭和22年それを消防団と改称した。

昭和22年11月 1日消防組を消防団と改称した。

昭和25年 25馬力のガソリンポンプ1台が初めて配備される。

昭和26年 5月28日 香川県消防協会長より第8分団が3ヶ年無火災表彰受賞

昭和27年 5月20日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞

昭和30年 4月 1日 町村合併と同時に詫間町・荘内村・粟島村の消防団が統合し詫間町消防団として発足。

初代団長 安藤 清誉

5月 1日 第2代団長 吉田 栄吉

5月22日 詫間町消防団条例が施行される。定数338名

昭和32年 5月12日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞

香川県消防協会長より第8分団が4ヶ年無火災表彰受賞

昭和33年 6月 4日 香川県消防協会長より第9分団が10ヶ年無火災表彰受賞

昭和34年 9月26日 台風15号により町内の港湾護岸に大被害を受ける。

昭和35年 3月30日 建設大臣より水防の功績により表彰される。

6月 3日 香川県消防協会長より第2分団が竿頭綬受賞

昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

昭和38年10月 1日 第3代団長 三田 定一

昭和40年 4月 1日 第4代団長 横山 永由

昭和41年 4月 1日 詫間町消防団条例が改正される。本部分団以下9分団となり定数200名となった。

昭和43年 5月14日 香川県知事より竿頭綬受賞

昭和51年 6月 1日 第5代団長 渡辺 幸男

9月10日 台風17号により荘内半島全域に被害を受ける。

昭和52年 9月24日 防災行政無線電話を設置

昭和54年 2月10日 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和55年 2月 2日 名部戸地区山林火災発生

昭和57年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和61年 3月 8日 紫雲出山より出火、12.5ヘクタール焼失

昭和63年 6月 1日 第6代団長 村沢 隆

9月18日 香川県消防操法大会において第3分団ポンプ車の部で準優勝

12月27日 大浜地区で本町戦後最大の山林火災が発生、105ヘクタール焼失

平成 2年 3月 8日 消防庁長官より表彰旗受賞

平成 4年 2月13日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成 6年 5月26日 香川県消防協会長より第5分団が3ヶ年無火災表彰受賞

香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞

平成 8年 6月 1日 第7代団長 真鍋 時敏

11月28日 大倉工業(株)詫間工場で工場火災発生

平成10年 5月31日 香川県消防協会長より第9分団が3ヶ年無火災表彰受賞

9月16日 名部戸地区林野火災発生、24ヘクタール焼失

平成12年 6月 1日 第8代団長 田中 保志

6月 7日 香川県消防協会長より第9分団が5ヶ年無火災表彰受賞 香川県消防協会長より第1分団が3ヶ年無火災表彰受賞

平成13年 6月 5日 香川県知事より竿頭綬受賞

平成14年 5月31日 香川県消防協会長より第6分団が3ヶ年無火災表彰受賞

12月14日 粟島紫谷山林野火災発生、17ヘクタール焼失

平成15年 6月 3日 香川県知事より表彰旗受賞

平成16年 6月 1日 香川県消防協会長より第6分団が5ヶ年無火災表彰受賞

旧仁尾町消防団の沿革

```
明治17年10月 1日 仁尾村消防組(私設)
明治27年 2月 1日 仁尾村消防組(公設)
大正13年 4月 1日 仁尾町消防組(町制施行)
昭和 3年11月28日 観音寺警察部長表彰
昭和 6年12月28日 初代団長 塩田 要
昭和 9年 3月 香川県警察部長表彰
昭和14年 4月 1日 仁尾町警防団と改組
昭和22年 3月 7日 仁尾町消防団と改組
昭和25年 10月10日 消防ポンプ自動車トヨタ1951年式配備
     10月28日 第2代団長 森 清義
昭和26年 1月17日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
昭和31年 3月31日 消防ポンプ自動車ニッサンA級配備
      5月 5日 香川県消防操法大会四輪自動車部優勝
昭和32年 5月12日 香川県消防操法大会四輪自動車部準優勝
      5月12日 香川県知事表彰
昭和33年 2月11日 日本消防協会より表彰旗受賞
      9月28日 第1回四国消防操法大会優勝
昭和34年 2月 8日 第3代団長 中橋 正希
昭和35年 10月30日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備
昭和37年 3月 7日消防庁長官より竿頭綬受賞
昭和43年 12月23日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備
昭和44年 12月25日 積載車ミニエース配備
昭和45年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞
     10月15日 第2回全国消防操法大会出場
昭和50年 1月 1日 第4代団長 曽根 将夫
      6月 5日 積載車ダイハツデルタ配備
      9月10日 三豐郡消防操法大会優秀賞
     10月11日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
     10月30日 消防ポンプ自動車トヨタSF-56配備
昭和51年 5月 5日 積載車ニッサンサニーキャブトラック配備
     11月10日 香川県知事感謝状受賞
昭和52年 6月 8日 全国防災協会長表彰
昭和53年 1月 1日 第5代団長 曽根 建夫
昭和54年 9月23日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭綬)
昭和55年 1月 1日 第6代団長 中井 正勝
昭和59年 1月 1日 第7代団長 浪越 利幸
     11月18日 消防ポンプ自動車CD-1型配備
昭和61年 2月 4日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
昭和61年 9月13日 積載車マツダボンゴワイドロー配備
昭和61年 9月14日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭綬)
昭和63年 4月 1日 第8代団長 真鍋 啓三
      5月25日 香川県知事より表彰旗受賞
平成 2年 5月22日 香川県知事より竿頭綬受賞
平成 3年10月31日 消防ポンプ自動車BD-1型配備
平成 4年 1月 1日 第9代団長 藤田 安
平成 7年 1月 1日 第10代団長 西山 義夫
      9月17日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
     12月26日 消防ポンプ自動車CD-1型配備
平成 8年 3月19日 積載車トヨタハイエース配備
平成12年 4月 1日 第11代団長 楠本 久雄
      7月31日 仁尾町防災センター 落成
平成14年 2月 8日 日本消防協会より表彰旗受賞
平成16年 9月12日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭綬)
```

平成17年 2月10日 日本消防協会長より竿頭綬受賞

旧財田町消防団の沿革

警防団令により消防組の名称を警防団と改称 昭和14年 昭和22年 8月 1日 初代団長 大矢 訶吉 8月 9日 消防団発足 団員250名 腕用手押ポンプ10台 昭和27年 可搬動力ポンプを第3分団へ配属 可搬動力ポンプを第4・8分団へ配属 昭和28年 昭和29年 4月 1日第2代団長 滝頭 春雄 可搬動力ポンプを第2分団へ配属 昭和33年 4月 1日第3代団長 久保 一実 4月 可搬動力ポンプを第1分団へ配属 可搬動力ポンプを第5分団へ配属 6月 9月 可搬動力ポンプを第6分団へ配属 昭和35年 2月 可搬動力ポンプを第7分団へ配属 昭和36年 10月 可搬動力ポンプを第6分団へ配属 昭和37年 4月 1日 第4代団長 岡崎 政廣 可搬動力ポンプを第1分団へ配属 昭和39年 10月 昭和43年 3月 7日日本消防協会長より竿頭綬受賞 昭和47年12月 1日第5代団長 松本 勝 昭和51年 7月 1日 第6代団長 行成 利徳 消防積載車を第6分団へ配属 昭和53年 5月26日 香川県知事より竿頭綬受賞 消防積載車を第1・2・3分団へ配属 消防ポンプ車を本部分団へ配属 昭和54年 消防積載車を第4・5・7・8分団へ配属 昭和55年 5月17日 香川県知事より表彰旗受賞 消防積載車を第1・6分団へ配属 昭和58年 3月 2日 消防庁長官より竿頭綬受賞 平成 元年 2月10日 日本消防協会長より表彰旗受賞 平成 4年 4月 1日 第7代団長 角岡 昌 8月 本部分団 消防ポンプ車を更新 平成 5年 2月16日 日本消防協会長より竿頭綬受賞 平成 6年 5月26日 香川県知事より竿頭綬受賞 11月 4日 小型ポンプ積載車を第1分団1部及び第2分団へ配属 平成 7年10月22日 小型ポンプ積載車を第3分団及び第4分団へ配属 平成 8年10月26日 小型ポンプ積載車を第5・7・8分団へ配属 平成 9年 1月12日 三豊地区消防連合会会長より竿頭緩(1年間無火災)受賞 10月24日 小型動力ポンプ積載車を第1分団2部及び第6分団2部へ配属 平成11年 1月10日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞 3月 5日 消防庁長官より表彰旗受賞 平成12年 9月10日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝 平成13年 1月14日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞 平成16年 1月11日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬(1年間無火災)受賞 4月 1日 第8代団長 谷川 利行

平成17年 3月 6日 本部分団 消防ポンプ車を更新

組合規約



三観広域行政組合徽章

三觀広域行政組合規約

(昭和46年 3月20日 香川県知事許可)

変更(昭和47年 3月14日 香川県知事許可) (昭和49年 3月 1日 香川県知事許可) (昭和49年 3月28日 香川県知事許可) (昭和53年 3月28日 香川県知事許可) (昭和54年 2月27日 香川県知事許可) (昭和55年 2月28日 香川県知事許可) (昭和58年11月14日 香川県知事許可) (昭和61年 4月 1日 香川県知事許可) (平成 元年11月24日 香川県知事許可) (平成 4年 1月30日 香川県知事許可) (平成 5年 2月12日 香川県知事許可) (平成 7年 3月 2日 香川県知事許可) (平成 7年11月20日 香川県知事許可) (平成 8年 4月24日 香川県知事許可) (平成 8年12月13日 香川県知事許可) (平成 9年11月10日 香川県知事許可) (平成10年 8月11日 香川県知事許可) (平成11年 4月 1日 香川県知事許可) (平成12年 2月28日 香川県知事許可) (平成12年 4月 1日 香川県知事許可) (平成13年 4月 1日 香川県知事許可) (平成14年 4月 1日 香川県知事許可) (平成15年 1月21日 規約第1号) (平成15年12月22日 規約第2号) (平成16年 7月23日 香川県知事許可) (平成16年 4月 1日 香川県知事許可) (平成18年 3月23日 香川県知事許可) (平成19年 3月28日 香川県知事許可) (平成20年 3月31日 規約第1号) (平成21年 1月15日 香川県知事許可) (平成21年10月 9日 香川県知事許可) (平成22年 3月15日 香川県知事許可) (平成24年 3月30日 香川県知事許可) (平成25年 3月19日 香川県知事許可) (平成27年 2月 3日 香川県知事許可) (平成27年10月20日 香川県知事許可) (平成30年 1月19日 香川県知事許可)

(名称)

第1条 この組合は、三観広域行政組合(以下「組合」という。)という。 (構成市)

第2条 組合は、観音寺市及び三豊市(以下「関係市」という。)をもって組織する。

(共同処理する事務)

- 第3条 組合は、次の各号に定める事務を共同処理する。
- (1) 関係市より移管された、関係市における滞納市税等の整理に関する事務。
- (2) 消防組織法(昭和22年法律第226号)及び消防法(昭和23年法律第186号)に定める消防 事務(水利施設の設置及び管理並びに非常備消防に関する事務を除く。)
- (3) ガス事業法(昭和29年法律第51号。以下この号において「法」という。)に基づく事務のうち、 次に掲げる事務。
 - ア 法第46条第1項の規定による報告徴収
 - イ 法第47条第1項の規定による立入検査
 - ウ 法第47条の2第1項の規定による命令
- (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号。以下この 号において「法」という。)に基づく事務のうち、次に掲げる事務。
 - ア 法第16条の2第2項の規定による命令(イの届出に係るものに限る。)
 - イ 法第38条の3の規定による届出の受理

- ウ 法第82条第1項の規定による報告徴収
- エ 法第83条第1項の規定による立入検査等
- オ 法第83条第3項の規定による立入検査等(イの届出に係るものに限る。)
- カ 法第83条の2第1項の規定による命令
- (5) 在宅当番医制事業の委託に関する事務。
- (6) 病院群輪番制病院事業の補助金に関する事務。
- (7) 小児救急医療支援事業の補助金に関する事務。
- (8) 救急勤務医支援事業の補助金に関する事務。
- (9) 電子計算センターの設置及び運営管理に関する事務。
- (10) 戸籍事務に係る電子情報処理組織の管理に関する事務。
- (11) ごみ処理施設の設置及び運営管理に関する事務。
- (12) 圏域内における地域情報化の推進及びこれに関する事務。
- (13) 介護保険法(平成9年法律第123号)に基づく事務のうち、介護認定審査会における要介護認定 及び要支援認定並びに生活保護法(昭和25年法律第144号)に基づく介護扶助のための要介護状態等の審査判定業務に関する事務。
- (14) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)に基づく事務のうち、介護給付費等の支給に係る審査判定業務に関する事務。
- (15) 市町広域連携事業に関する事務。

(事務所の位置)

第4条 組合の事務所は、観音寺市坂本町一丁目1番7号に置く。

(組合の議会)

第5条 組合の議会の議員(以下「組合議員」という。)の定数は16人とし、その選出区分は次のとおりとする。

観音寺市 8人

三 豊 市 8人

- 2 前項の組合議員は、関係市議会において、その議会の議員のうちから選挙する。
- 3 組合議員に欠員を生じたときは、その組合議員を選挙した関係市議会は、直ちに補欠選挙を行わなければならない。

(組合議員の任期)

第6条 組合議員の任期は、関係市の議員としての任期による。

(管理者及び副管理者)

- 第7条 組合に、管理者及び副管理者1人を置く。
- 2 管理者及び副管理者は、関係市長において、関係市の長のうちから選挙する。
- 3 管理者及び副管理者の任期は、それぞれ関係市の長としての任期による。

(会計管理者)

- 第8条 組合に、会計管理者を置く。
- 2 会計管理者は、関係市の会計管理者のうちから管理者が任命する。

(監査委員)

- 第9条 組合に、監査委員2人を置く。
- 2 監査委員は、管理者が組合議会の同意を得て、識見を有する者及び組合議員のうちから各 1 人を選任 する。

3 監査委員の任期は、識見を有する者にあっては4年とし、組合議員のうちから選任された者にあって は、当該組合議員としての任期による。

(事務局)

第10条 組合に事務局を置く。

(職員)

- 第11条 組合に、事務局長その他の必要な職員を置く。
- 2 前項の職員は、法令に特別の定めのある者のほか、管理者が任免する。

(組合の経費の支弁方法)

- 第12条 組合の経費は、関係市の負担金、組合財産及び事業より生ずる収入、法令により組合に属する収入、その他の収入をもってあてる。
- 2 前項に規定する関係市の負担金の負担割合は、別表に定めるところによる。
- 3 前項の規定にかかわらず特別の事情があるときは、関係市の負担金の負担割合の全部又は一部について、組合議会の議決を経て定める方法により、関係市に分賦することができる。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、第3条第4号及び第5号の規定については、昭和46年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、第3条第6号の規定は、昭和47年 4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

1 この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、改正後の規約第3条第7号中「養護老人ホームの運営管理に関する事務」及び別表中「養護老人ホームの運営管理費」の規定は、三豊老人ホーム事務組合の解散の日の翌日から施行する。

(建設費の特例)

2 改正後の規約第3条第7号により設置される養護老人ホームの建設費については、別表の規定にかかわらず、設置初年度建設計画(100床)に係る当該建設費の負担割合は、次のとおりとする。

74. 100. #	建築関係費	100床建築関係費中50床分については、全額観音寺市が負担し、残り50床分については、関係市町が人口割により分担する。
建築費	用地関係費	200床建築用地関係費中50床分については、全額観音寺市が 負担し、残りの用地関係費については、関係市町が人口割により分 担する。

附 則

この規約は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。ただし、改正後の規約中、視聴覚ライブラリーに関する規定は、昭和53年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、昭和53年度の事業から適用する。

附則

この規約は、昭和55年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、昭和58年度の事業から適用する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、平成5年4月1日から施行する。ただし、改正後の規約中特別養護老人ホーム、老人短期 入所事業に係る施設、老人デイサービスセンター及び在宅介護支援センターの運営管理費の規定の施行期 日は規則で定める。

附則

この規約は、平成7年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった目から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附即

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この規約は、公布の目から施行し、平成14年12月9日から適用する。

附則

この規約は、公布の日から施行する。

附則

この規約は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった目から施行する。

附則

この規約は、平成18年4月1日から施行する。

附則

(施行期日)

1 この規約は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規約の施行の際現に在職する収入役は、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。この場合においては、変更後の第8条の規定は、適用しない。

好 目

この規約は、公布の日から施行し、平成20年2月1日から適用する。

附則

この規約は、平成21年4月1日から施行する。

附目

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、平成21年4月1日から適用する。 附 則

この規約は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

関係市が負担する負担割合

		区					分					割	合
										均	等	割	2,000,000円
										滞納	整	理済額	頁割 20%
	12 24		/-/	<i>(</i>)	,	· ttr	ν ь	→ /.					均等割、滞納整理済額割、
市	税		等	の	{	帯	納	整	理	ı	_	生山	その他の収入をもってし
			人口割	割	ても、なお歳出に不足する								
													額
		消	Í				防			地方	交	付税σ)消防費基準財政需要額割
ガ	ス	事	業	法	に	基	づく	事	務	処理	!件	数割	
液	化石	油カ	i ス	の保	安の	つ確し	呆及て	が取引	H の	処理	件	数割	
適	正化	に	関う	する	法 征	津に	基づ	く事	事 務				
組	合が記	譲渡	した	養護	老人	、ホー	-ムの	建替	え又	均	等	割	
は	改修(こ要	する	る経り	費の	補助	に関っ	する	事務				
在	宅		当	番	[医	制	事	業	均	等	割	
病	院	群	輪	ì 番	: 朱	小 病	院	事	業	均	等	割	
小	児	救	急	、医		支	援	事	業	均	等	割	
救	急	勤	h	務	医	支	援	事	業	均	等	割	
							建	設	費	全額	į	観音き	宇市
電	子	計	算	セ:	ンク	7 —	海沿	管理	费	人口	割。	。たた	どし、いずれかの市のみの仕様に
							连声	日生	: 貝	係る	費	用にあ	あっては当該市の負担。
戸	築 事	終	iz k	至 ス	雷	子 信	報 処	理 紅	3 織	人口	割。	。たた	ごし、いずれかの市のみの仕様に
	↑日 →	477	(C)	√IV '∂J	PL	1 IH	+10 /2	土水	1 //FPX	係る	費	用にあ	あっては当該市の負担。
							運営	管理	費	実	績	割	
<u>_</u> "	み	久	几	理	施	設	施設	閉鎖	にに	人	口	割	
							伴	う費月	刊				
介	護 認	定和	審 査	及で	ブ介	護扶	助の	ため	5 の	3 0	% -	均等害	前、70%人口割(65歳以上)
要	介	護	状	態	等	Ø :	審査	判	定	5 0	/0 -	-7 -4 -D	
介	護 給	付	費 等	のう	支 給	に保	る審	查半	り定	3 0	%:	均等害	削、70%審査件数割
そ	\mathcal{O}	他	組	合	Ø	運	営管	理	費	均	等	割	

備考 人口割に用いる人口は、当該予算の属する会計年度の地方交付税の算定に用いる人口による。

消防年報

(令和6年度)

編集 三觀広域行政組合消防本部総務課

発行 三観広域行政組合消防本部

住所 香川県観音寺市坂本町一丁目1番7号

電話 0875(24)0119

ホームページ https://fdsankan.jp メールアドレス soumu@fdsankan.jp